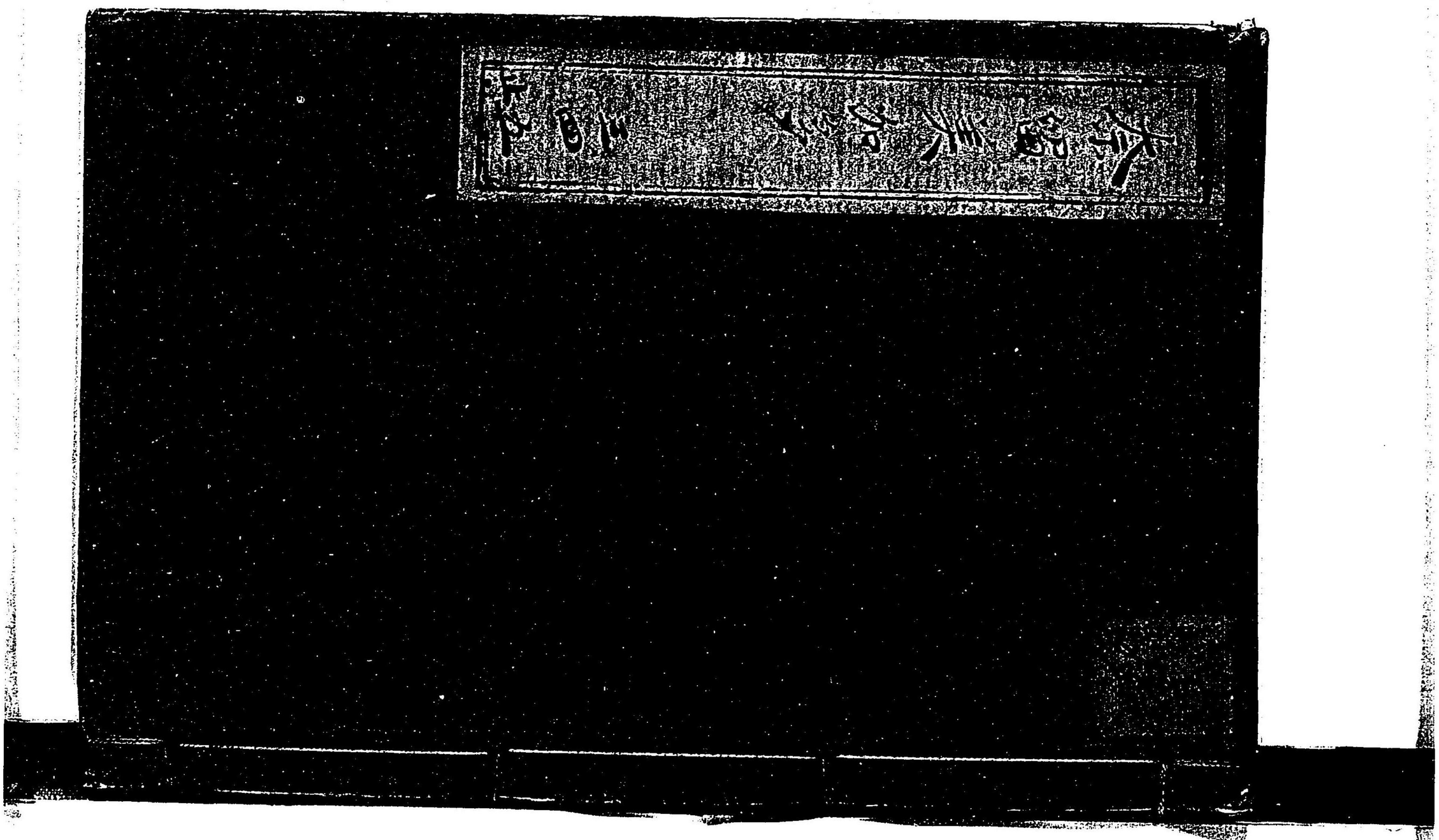
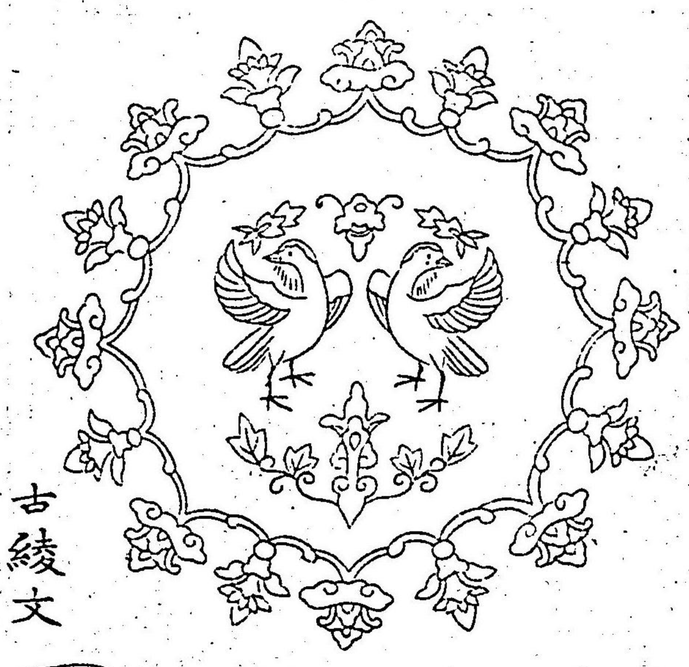


東京圖書館
類　一
屬　西
五　五
架　
一　六
號　
五　
冊

歐美名家小說
三

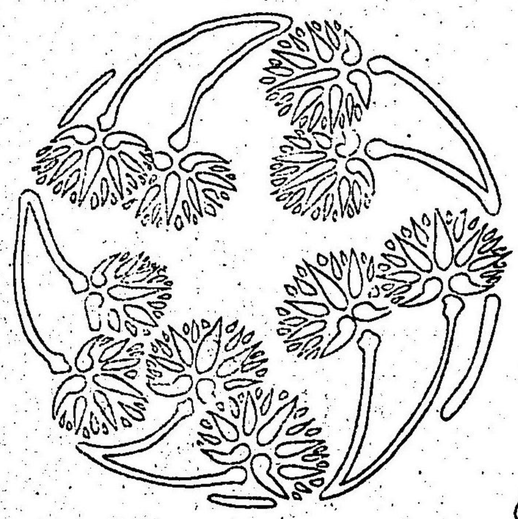
同上

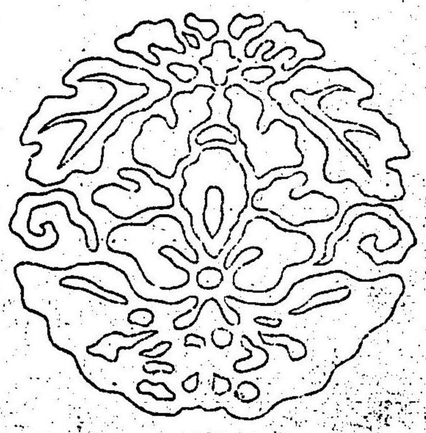
東大寺三ツ倉
八葉鏡筥内張綾文



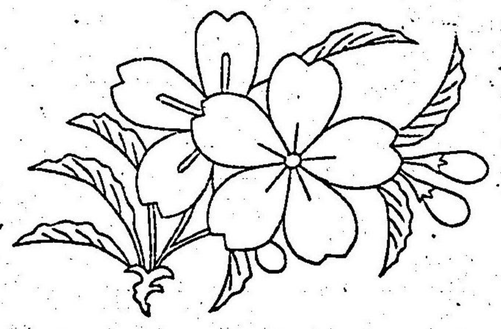
古綾文

照念院藏
御袍ノ文

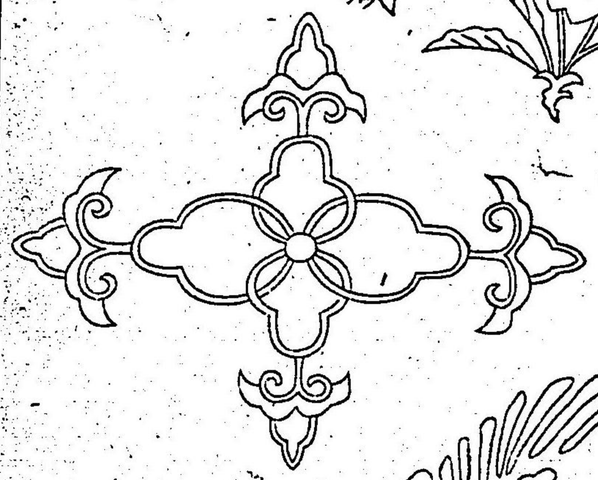




嚴島神社神宝
高倉
天皇
御筆
蒔繪

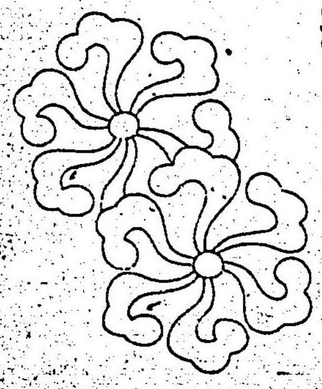


高野山赤松院藏
赤松圓心木像
袴ノ文



鴛鴦丸
鸞繪

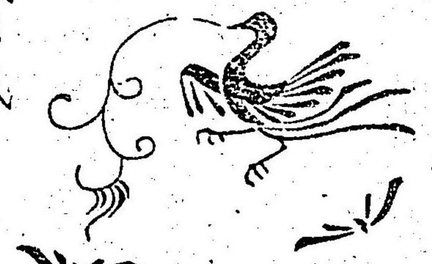
鐵線ノ



伊勢国前山鏡ノ宮
神宝古鏡背面
花鳥

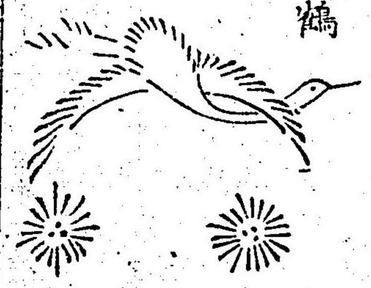
信濃國洗馬驛
従土中堀出古鏡背面

紀伊國伊都郡妙井村
隅田八幡宮神宝
神功皇后三韓得給ノ内ノ
古鏡背面人物模様



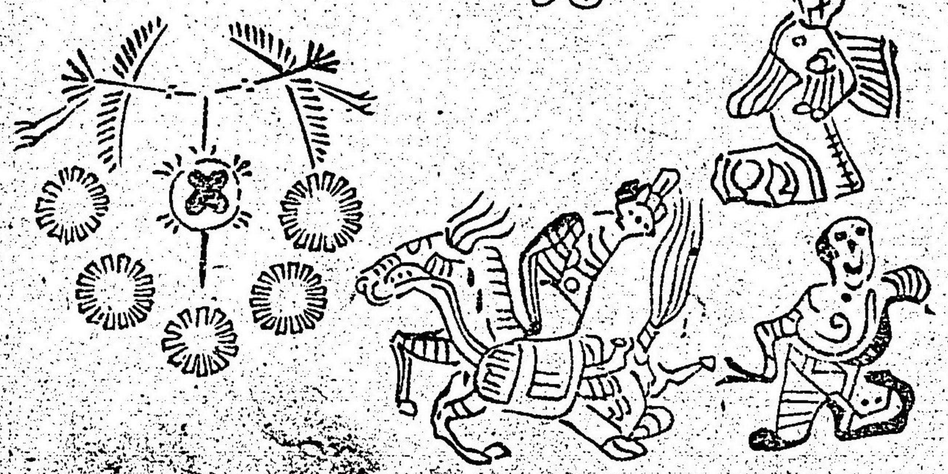
吽載集古十種山城國古知谷
阿弥陀寺藏古鏡背面鳥形

或家藏
古鏡背面鵲



下總國印幡郡大佐倉村
常盛山什古鏡
背面花鳥

和州堀出古鏡文



法隆寺藏
周尺摸様

東大寺三ツ倉御物

琵琶蒔繪

東大寺三ツ倉御物
琵琶蒔繪ノ二

唐招提寺
克ノ紋

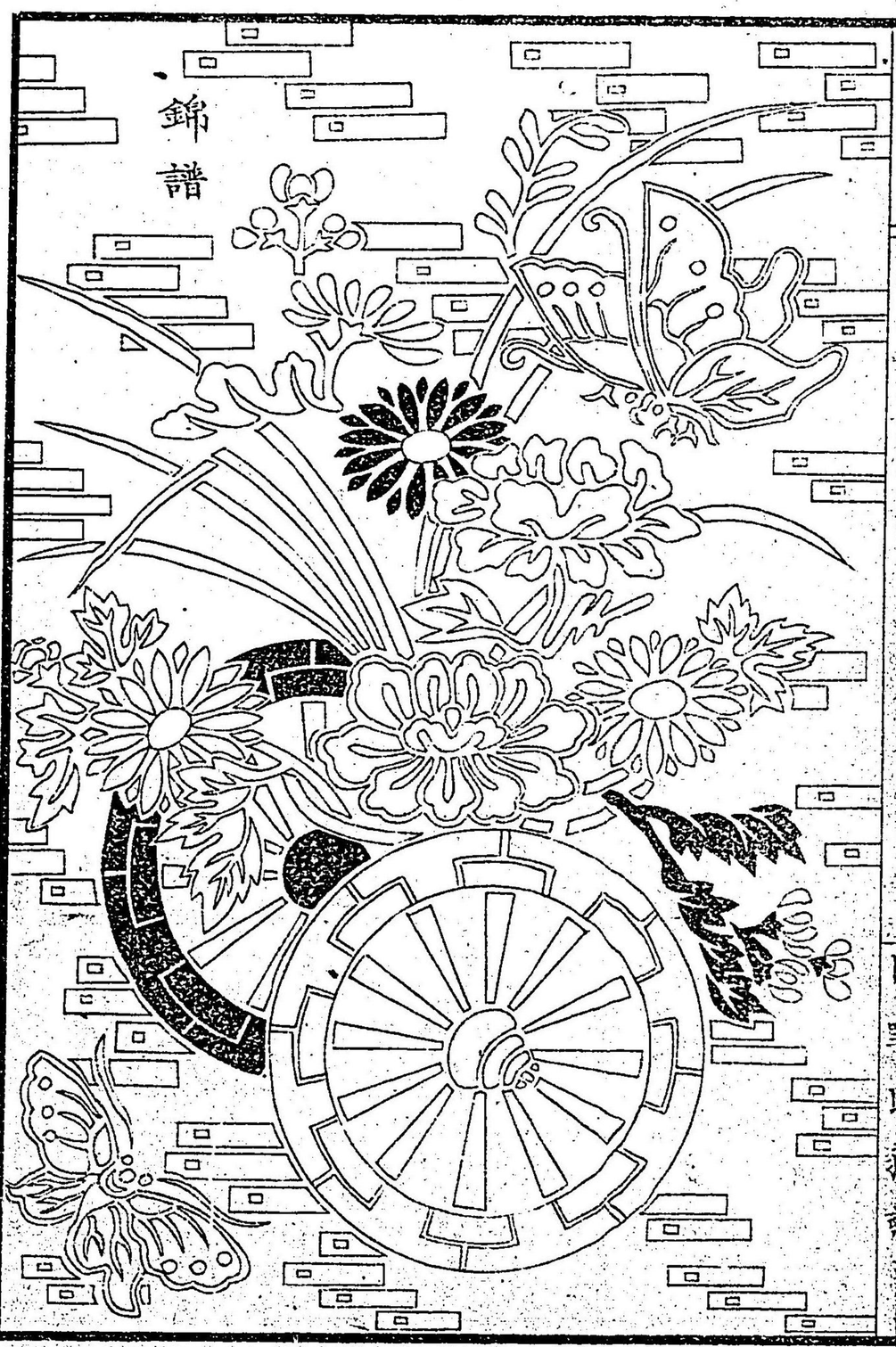
春日験記
女房文

嚴島神社神庫
木地螺鈿劔文

高野山泰雲院
什物
佐々木高綱
画像文

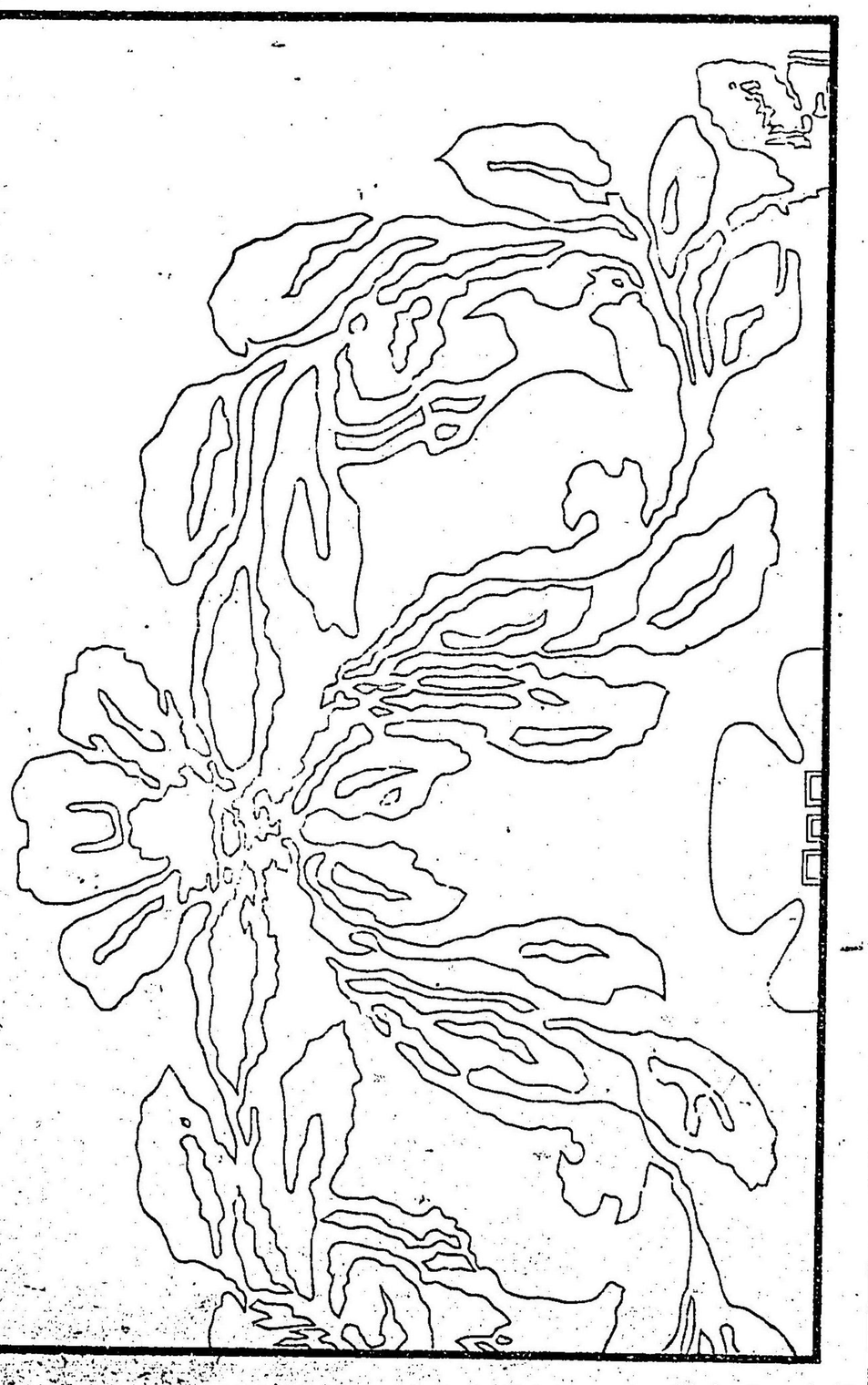
讃岐国山田郡春日村
上村某藏
義政將軍像
文

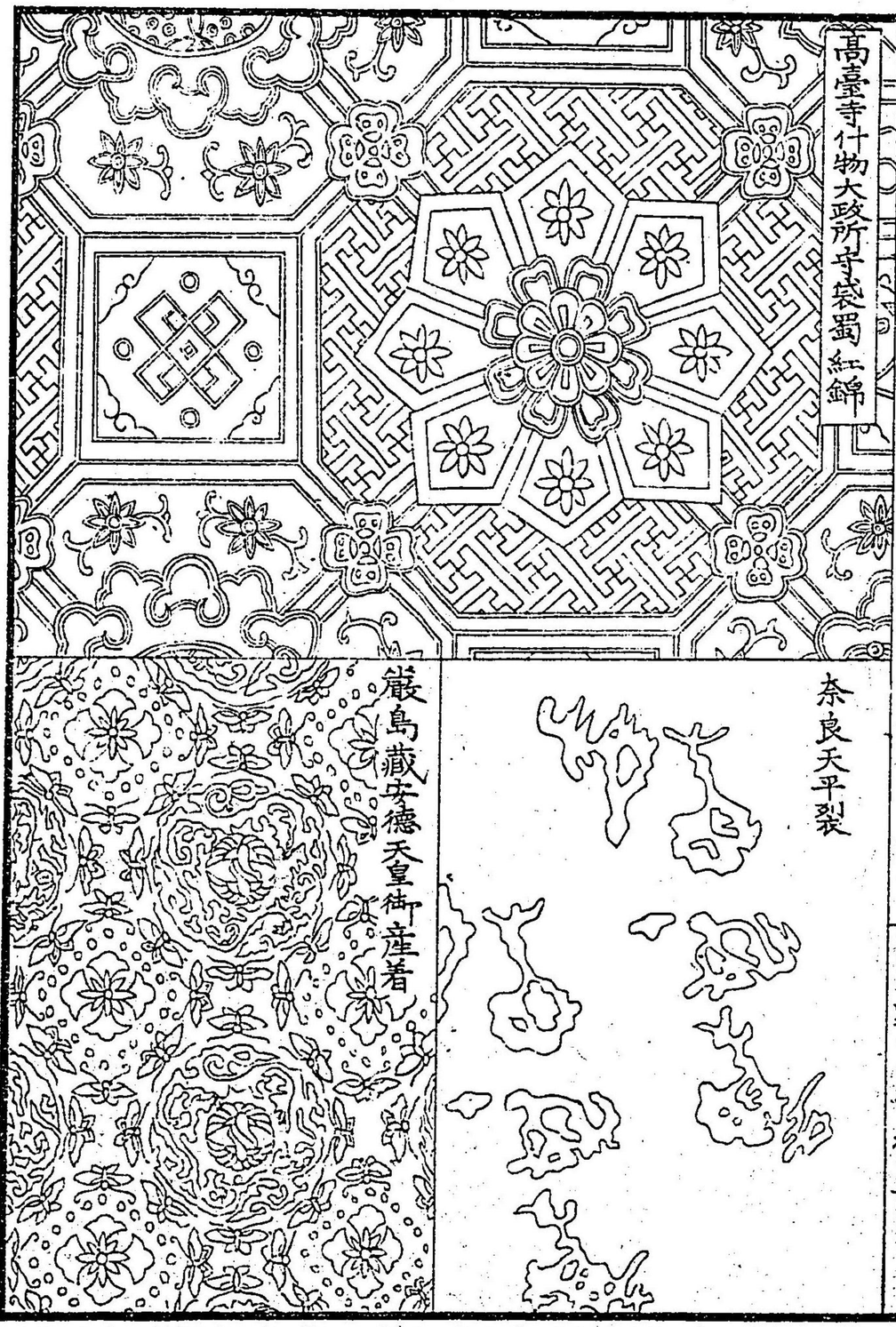
奈良天平裂涂摸様



龍膽錦

御帳裂地ノ文





高臺寺什物大政所寸袋蜀紅錦

嚴島藏安德天皇御產着

奈良天平裂

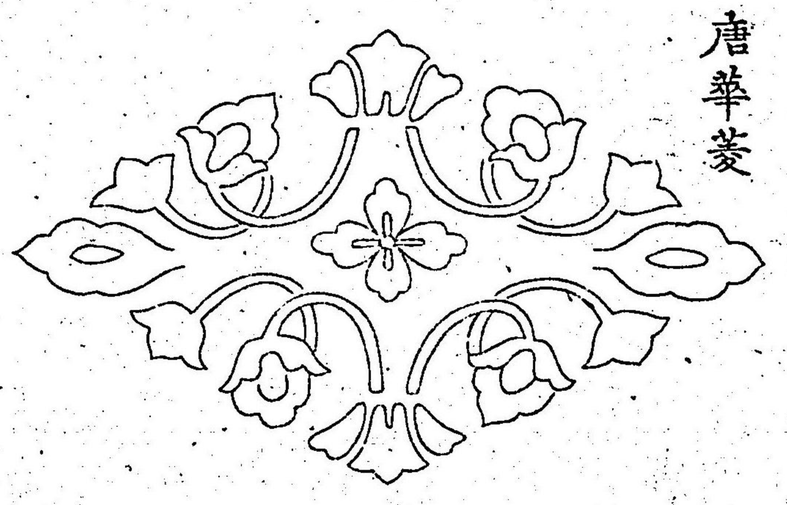
嚴島平家納經表紙文

鶴菱

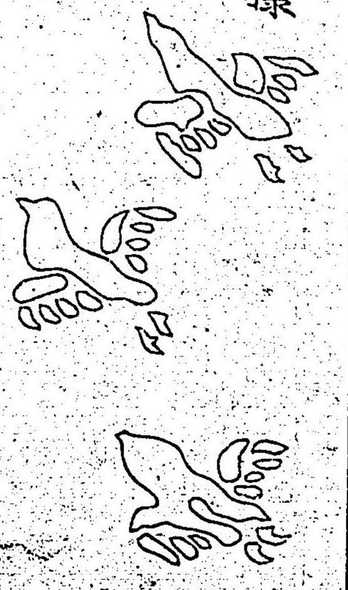
中殿四季御屏風裏形

東大寺舞人
兩襠ノ文

唐華菱

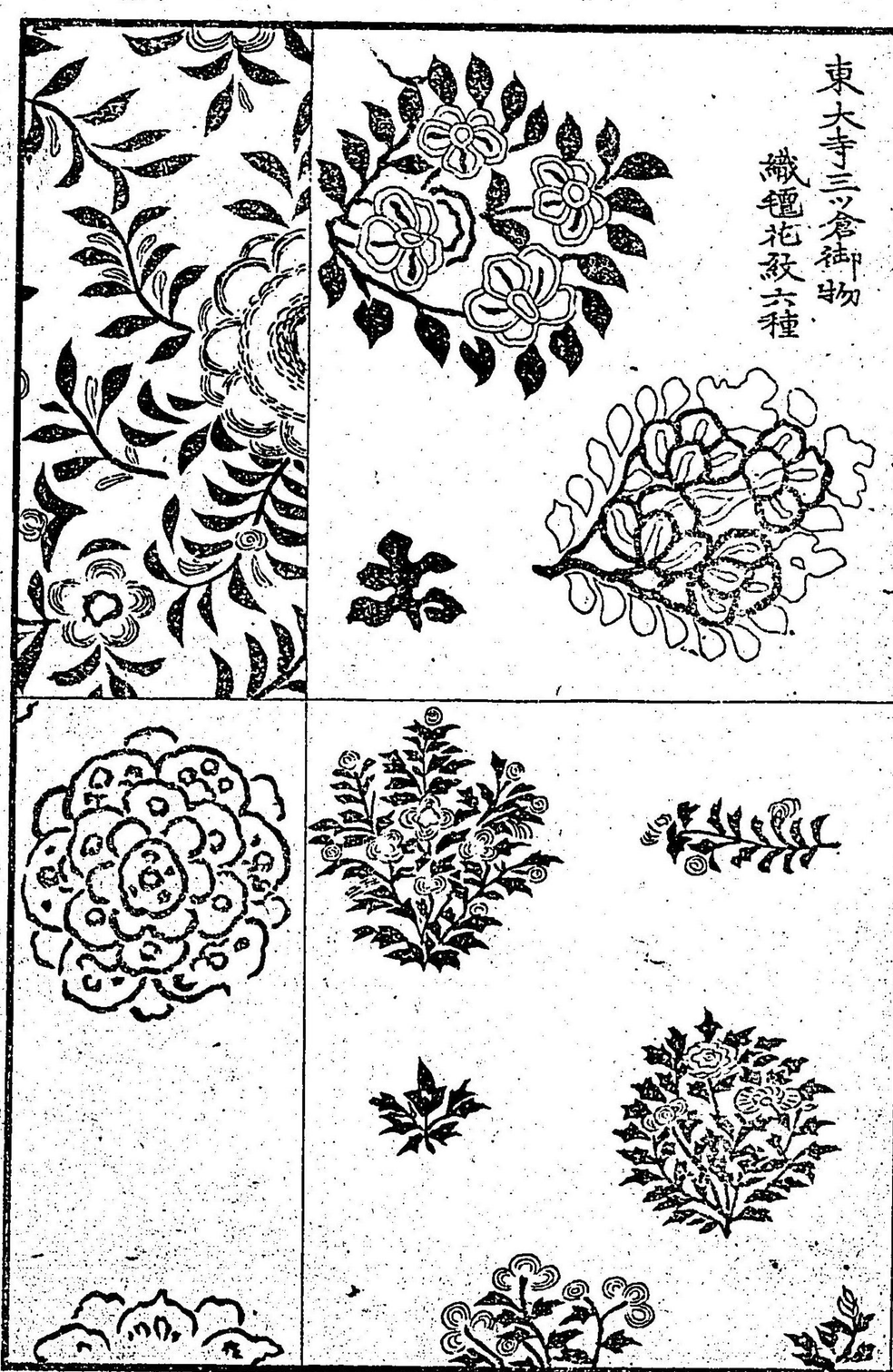


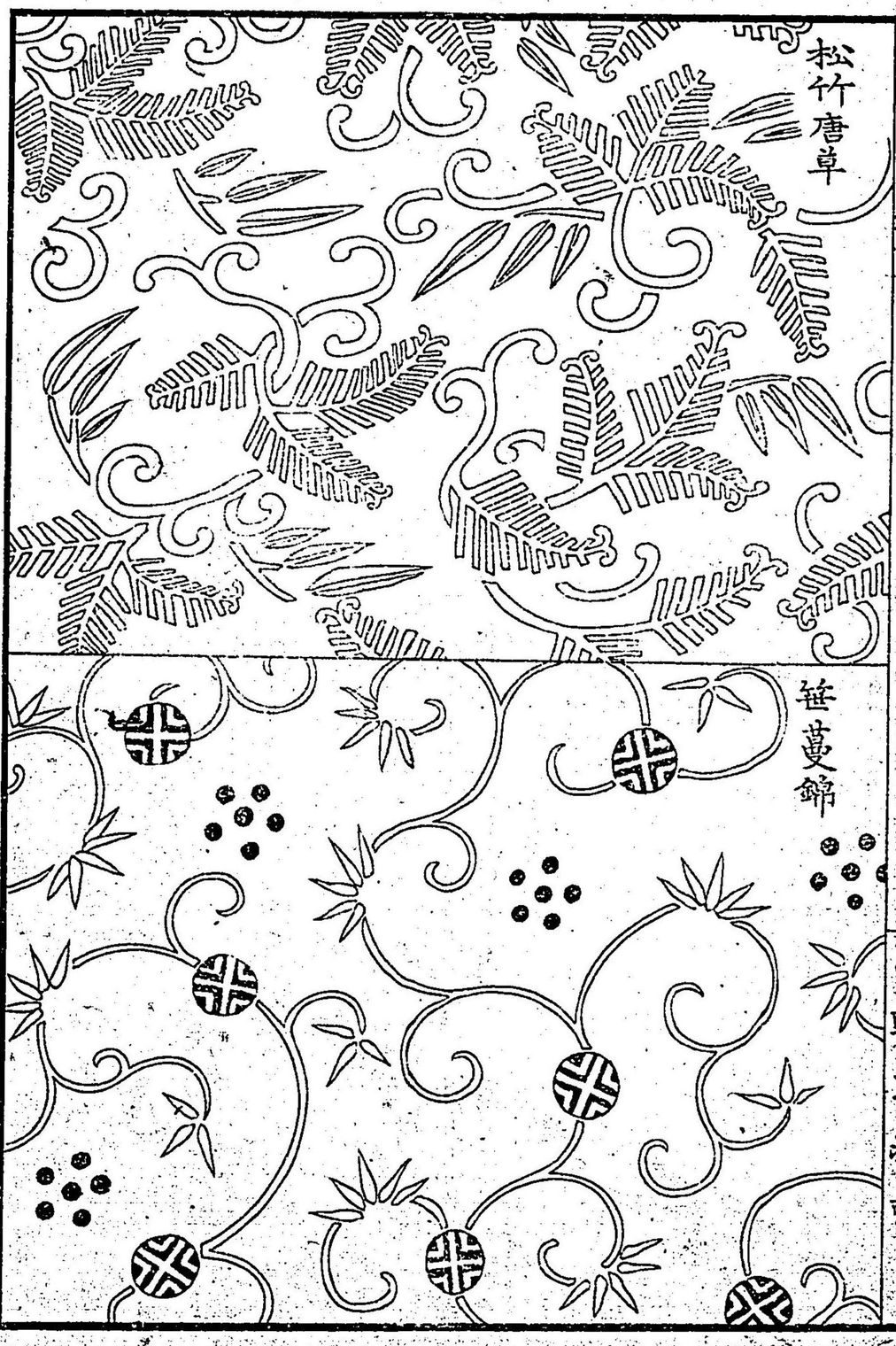
平絹染模樣
千鳥



手向山神社田樂法師着用水干
文樫垣蔓草

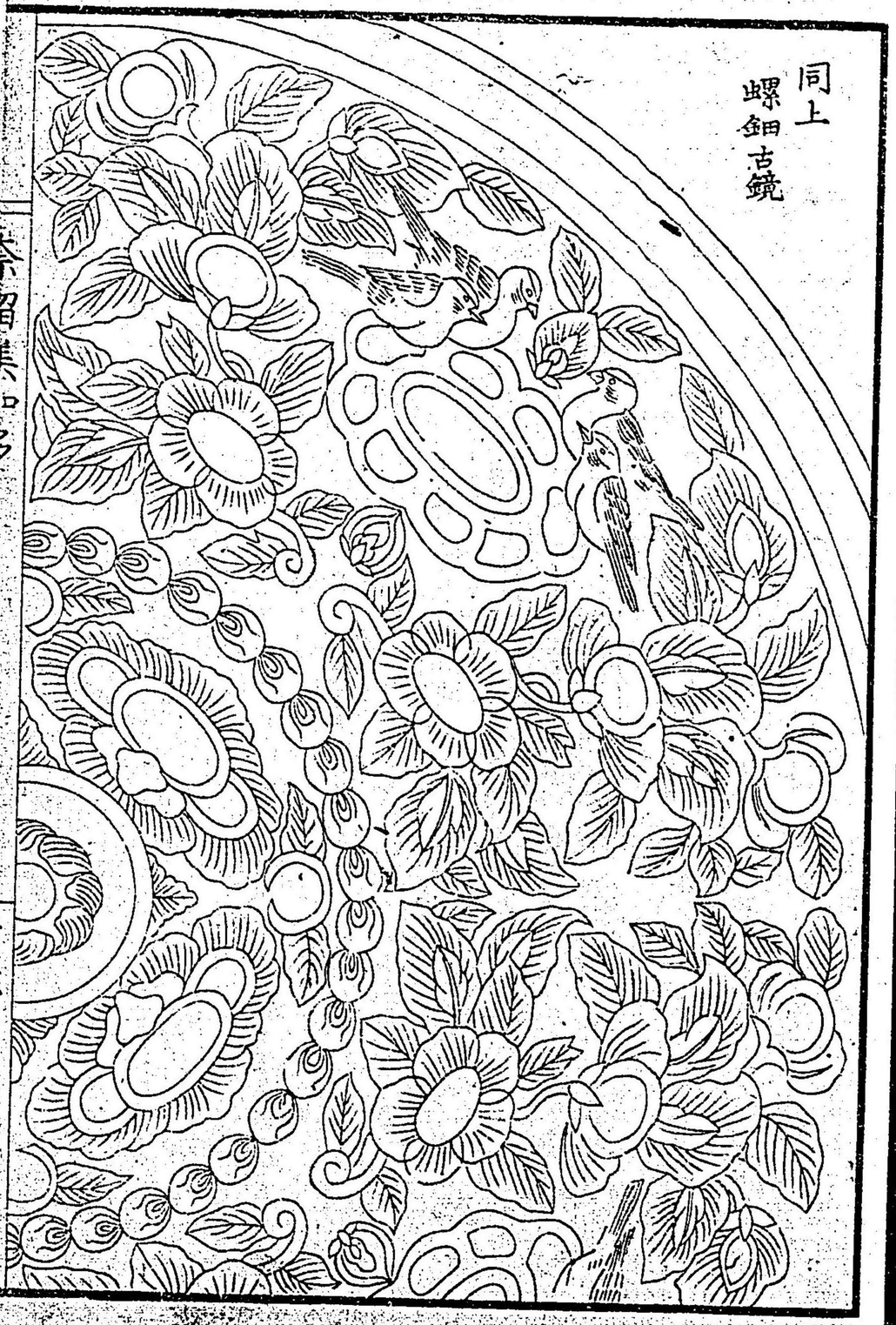
東大寺三ツ倉御物
織毬花紋六種



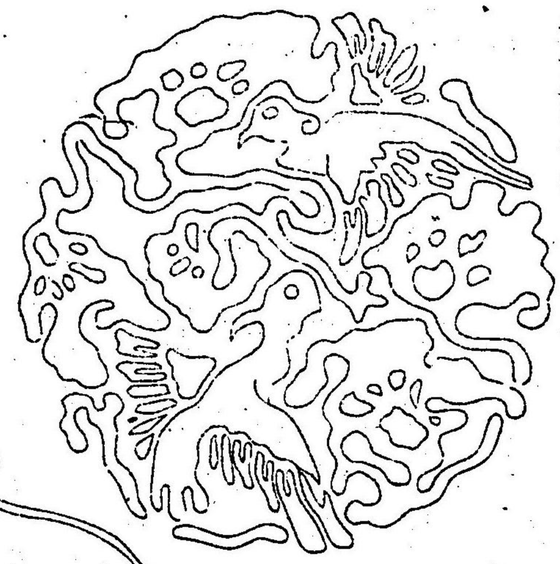

松竹唐草
蝙蝠錦

舞樂裝束鳥兎金襴
孔雀錦

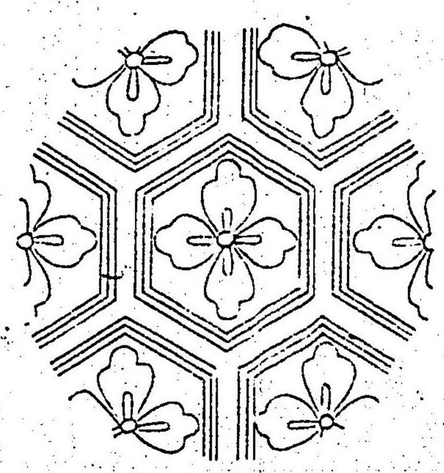
同上
螺鈿古鏡



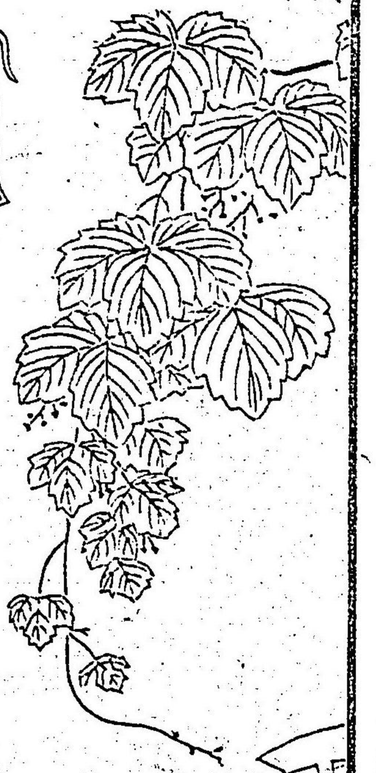
古綾文



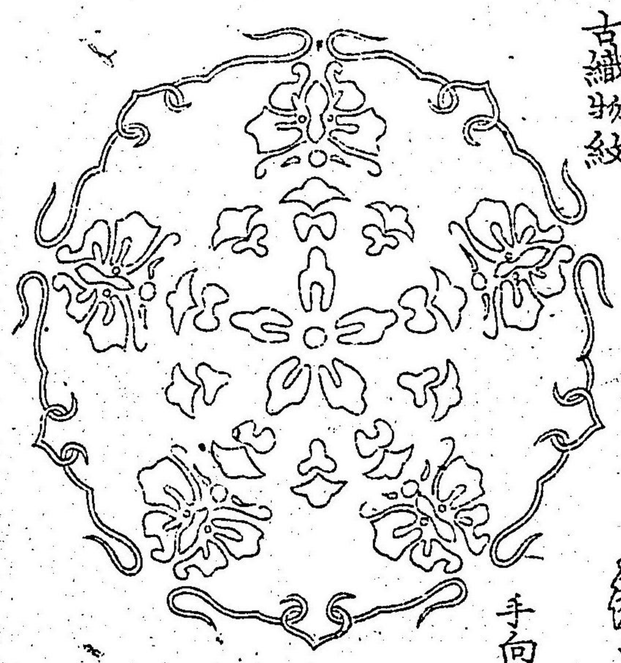
春日驗記
画中



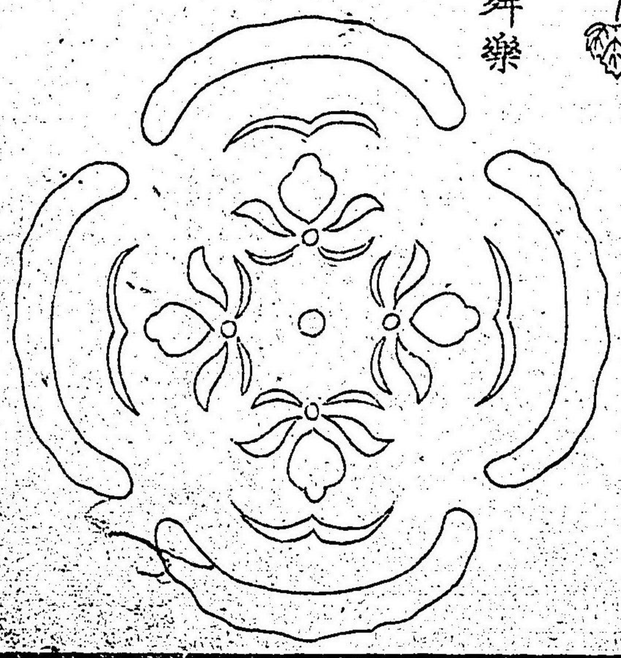
法隆寺文画紋
片輪車螺鈿



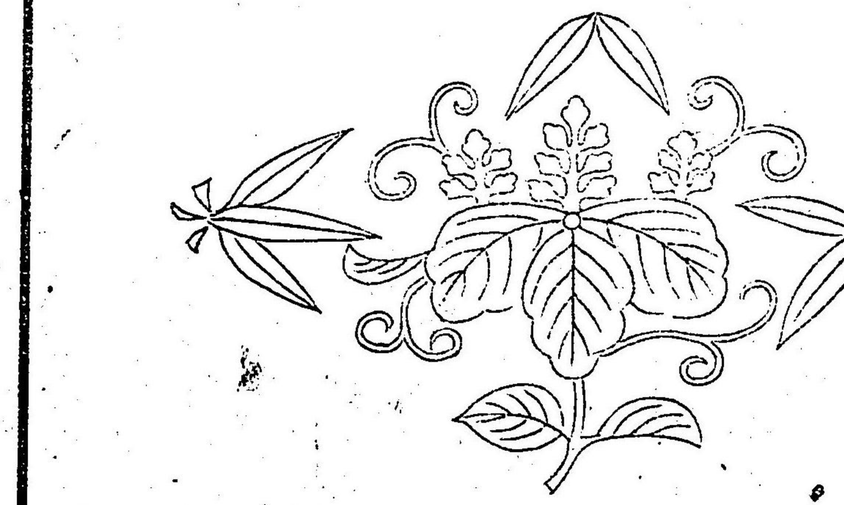
古織物紋



手向山神社舞樂
狛鉾袍



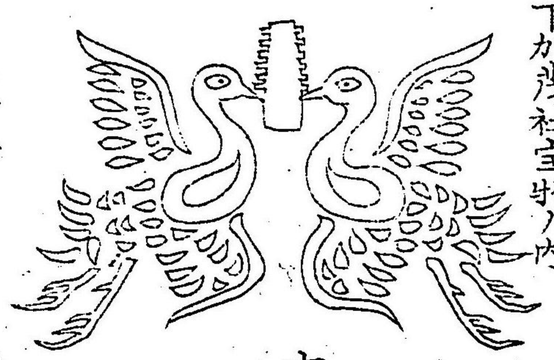
舞樂半臂文



源氏繪女房ノ文

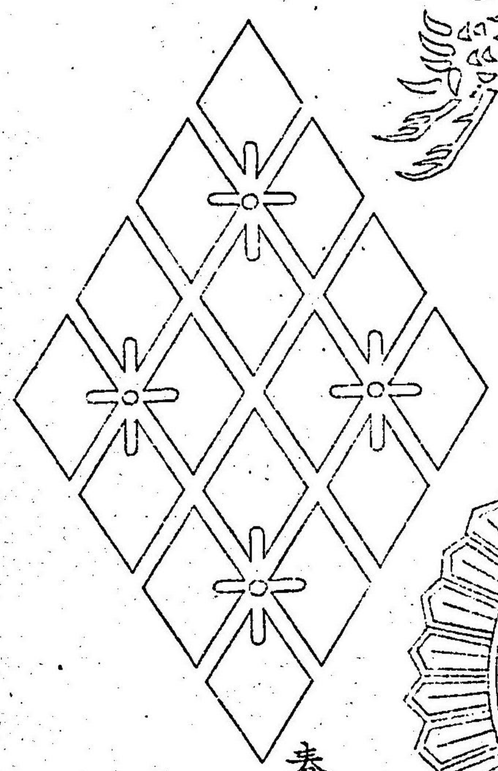
紀伊国那賀郡調月村
大日堂ノ古尾

下加茂社宝物ノ内

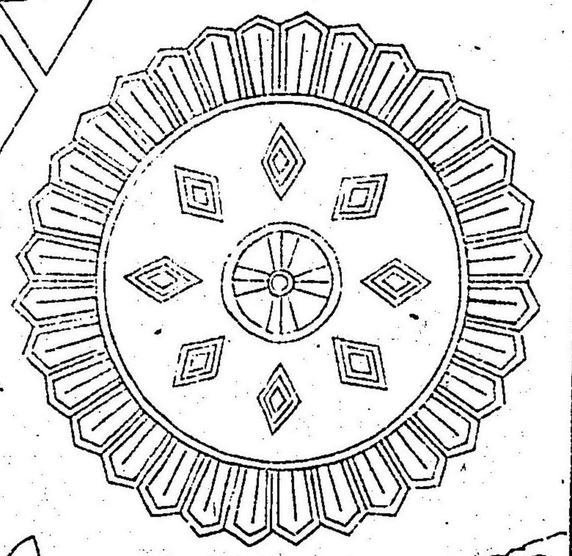


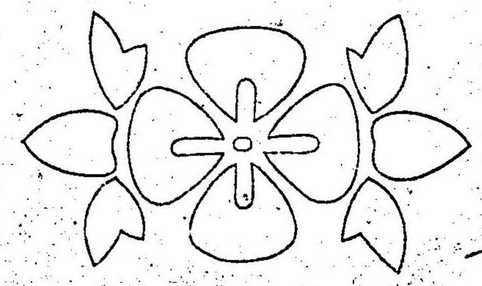
古錦文

古綾文



春日神社
神宝文

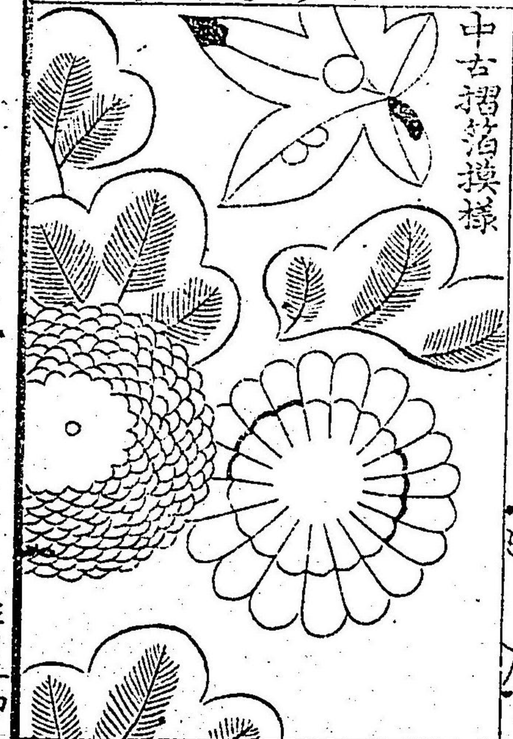




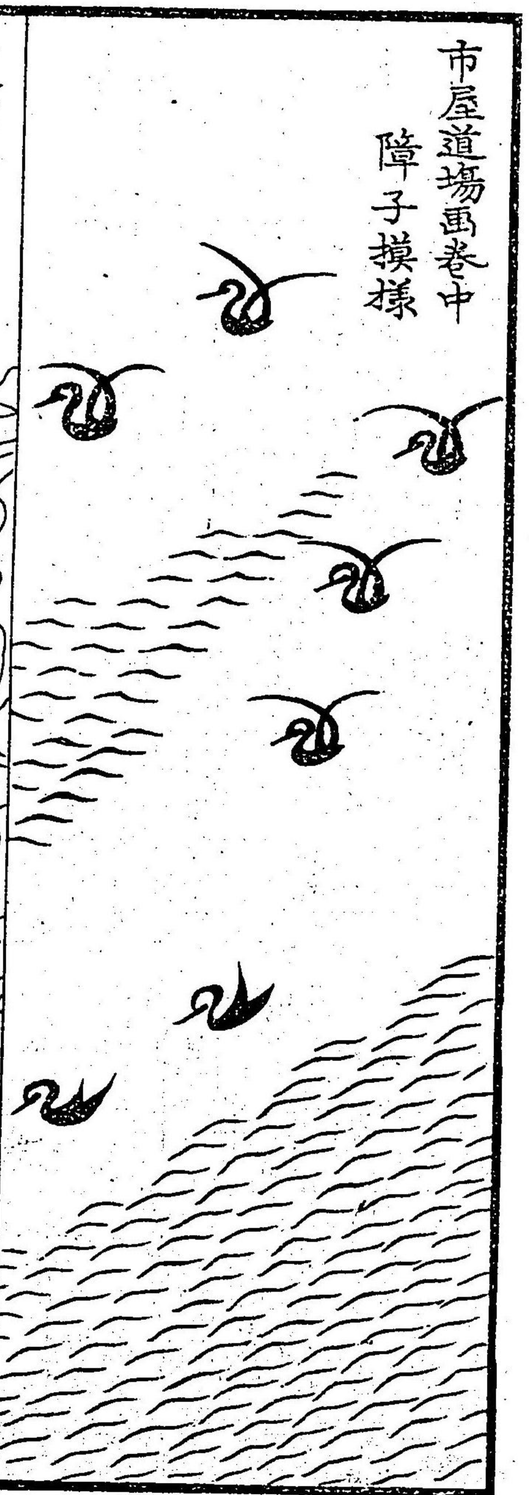
嚴島神社藏
野立屏風裏形

京都本圀寺靈宝綴錦

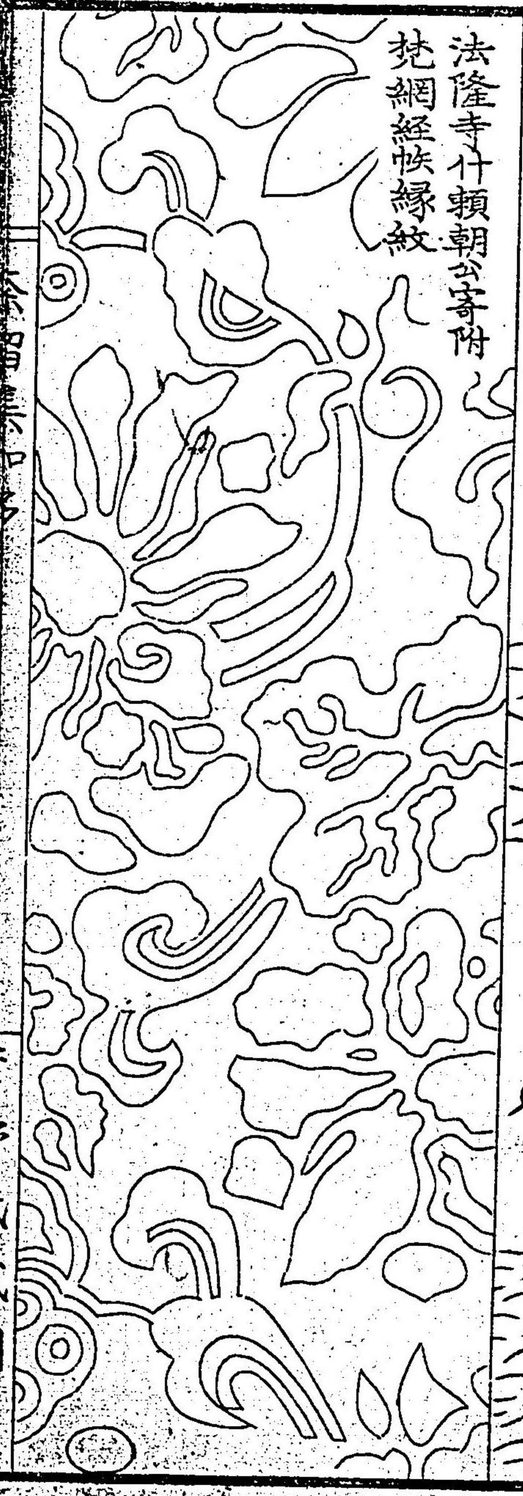
中古摺箔摸様



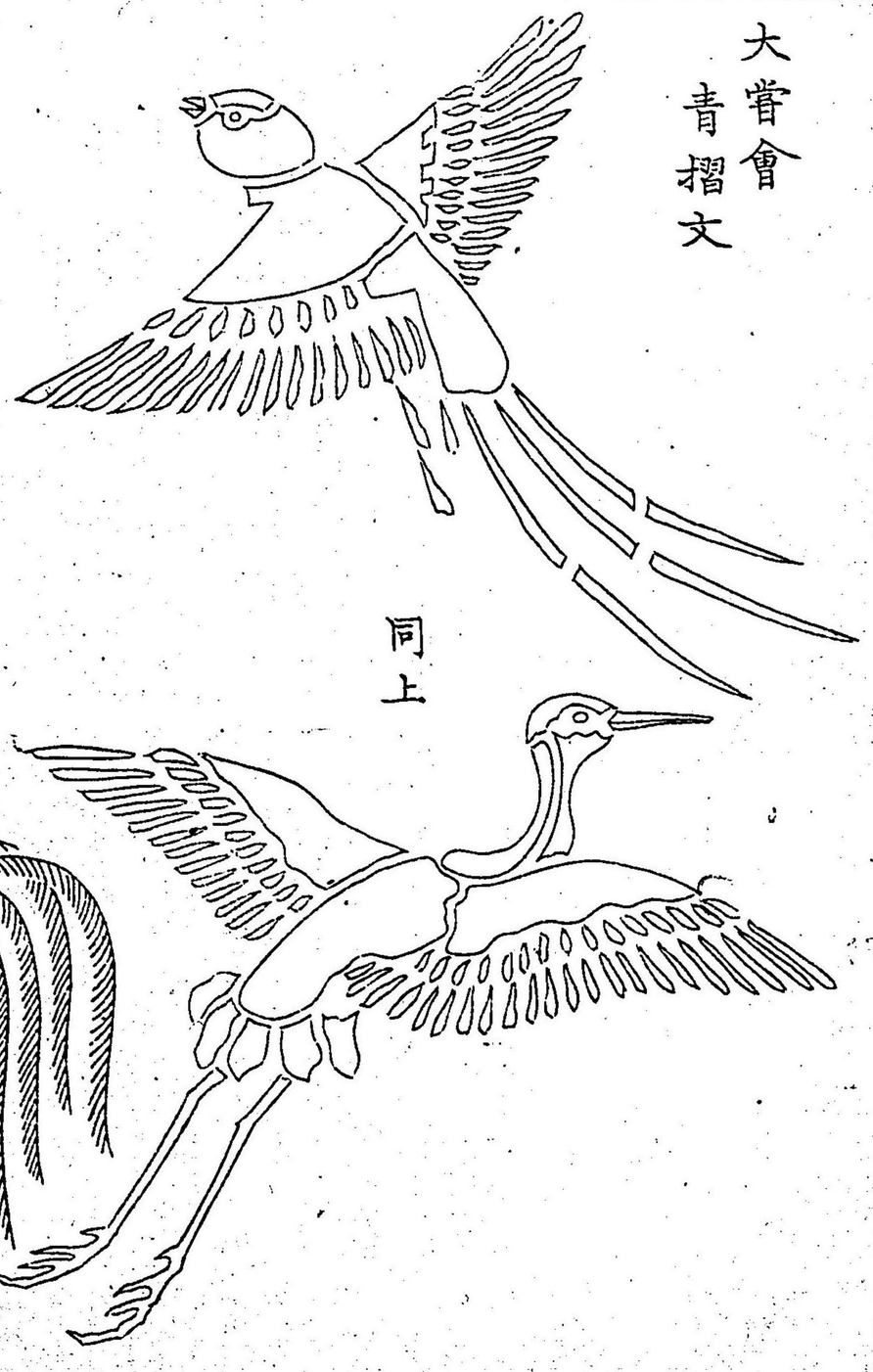
市屋道場曲卷中
障子摸様



法隆寺什頼朝公寄附
梵網經帙緣紋



大嘗會
青摺文



同上

手向山神社
轉害會
田樂法師
着用水干
鳳形繡文

背ノ中

右ノ袖外

左ノ袖外

正倉院御物中

古繪卷物

古画源氏繪

褥文

古綾文

春日験記

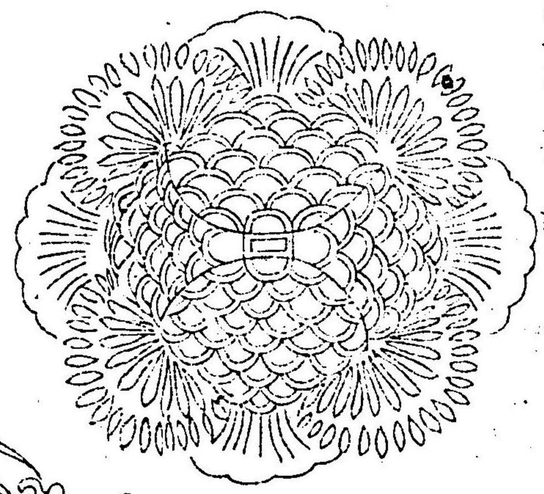
童子衣紋

石清水神宝文

古色紙形

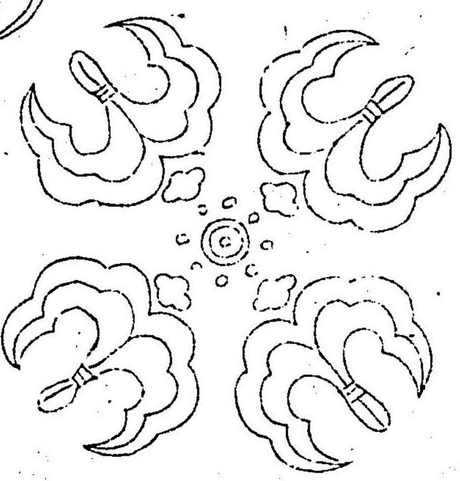
下画

法隆寺刀子笘紋

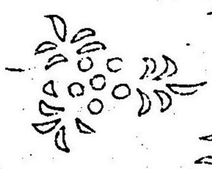


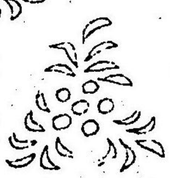
古綾文

執金剛神畫卷中

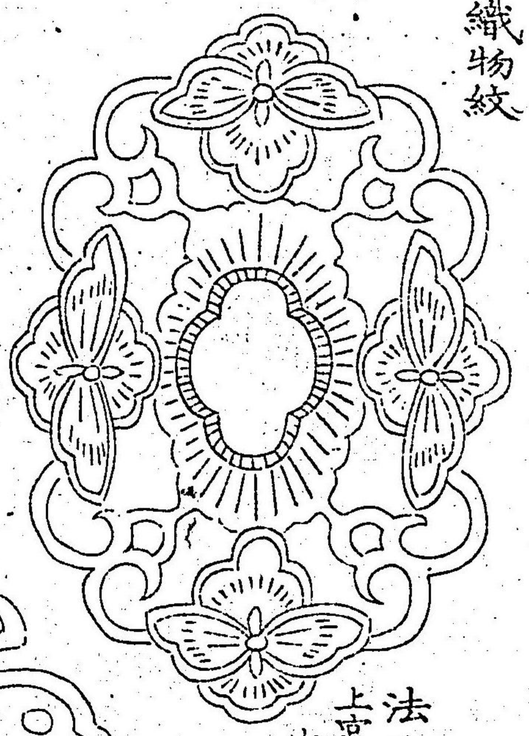


道成寺緣起安珠衣文

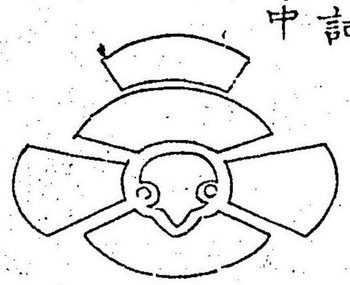




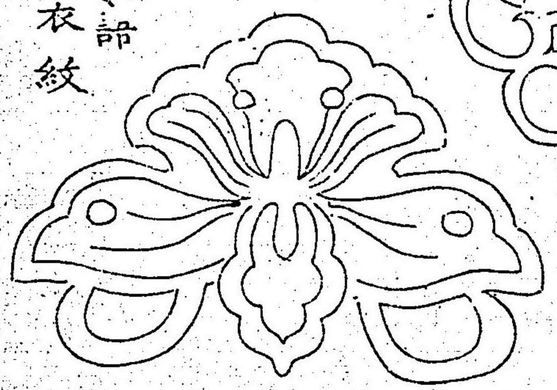
古織物紋



春日驗記卷中



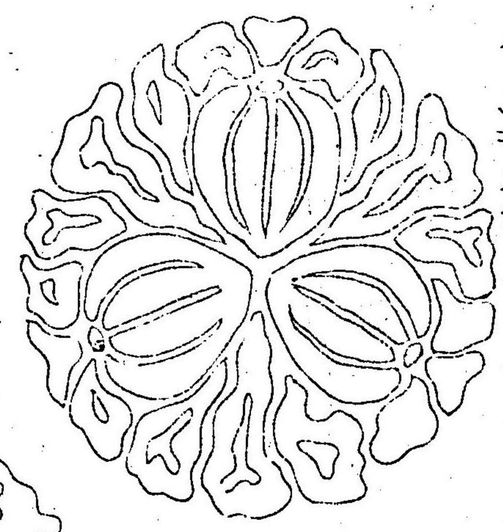
靜物語衣紋



法隆寺上宮太子御物小圓鏡背文

下總國印幡郡大佐倉村勝滝寺什黃藥瓶子文

古織物

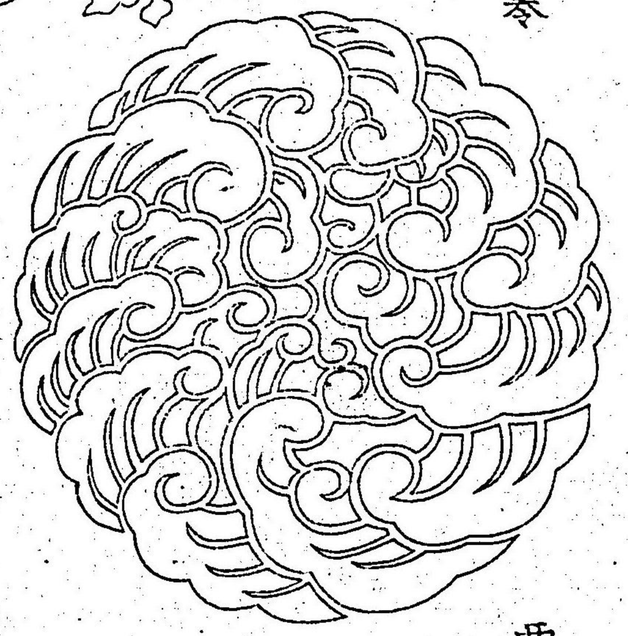


法隆寺什寶
水瓶摸樣

本国寺什宝
鴛鴦裂文

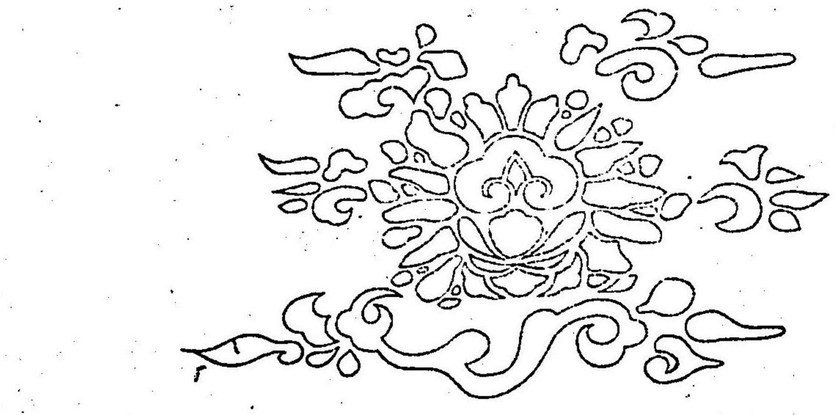
綾文

年中行事繪巻
画中



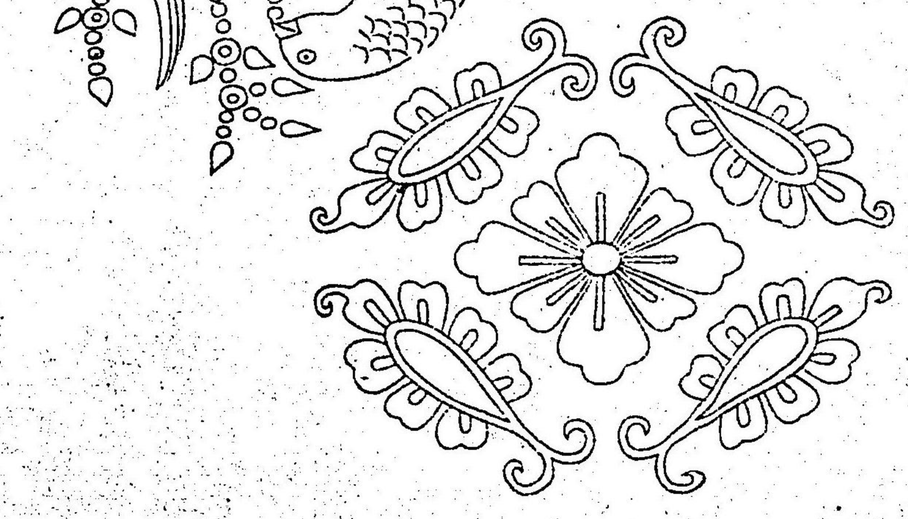
西大寺愛染堂前
獅子

唐錦



正倉院御物中

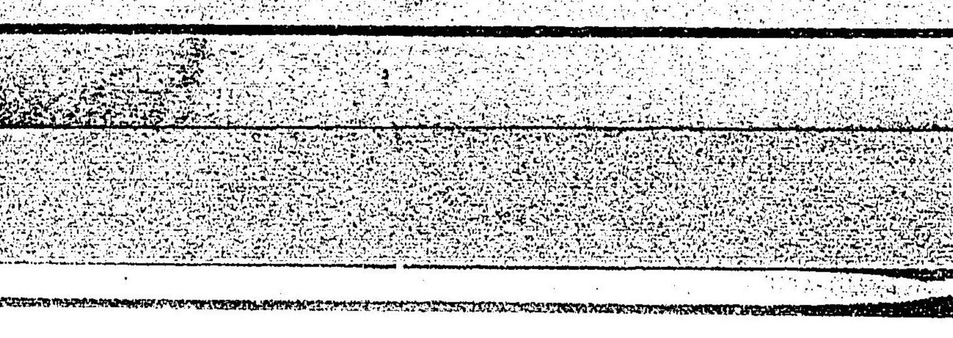
織文小葵



小葵異文

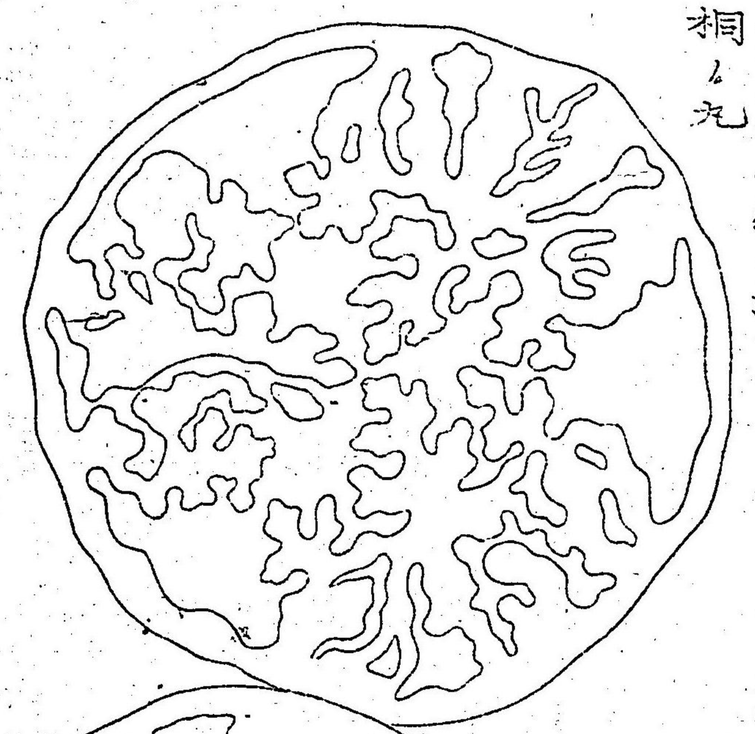
若松唐草

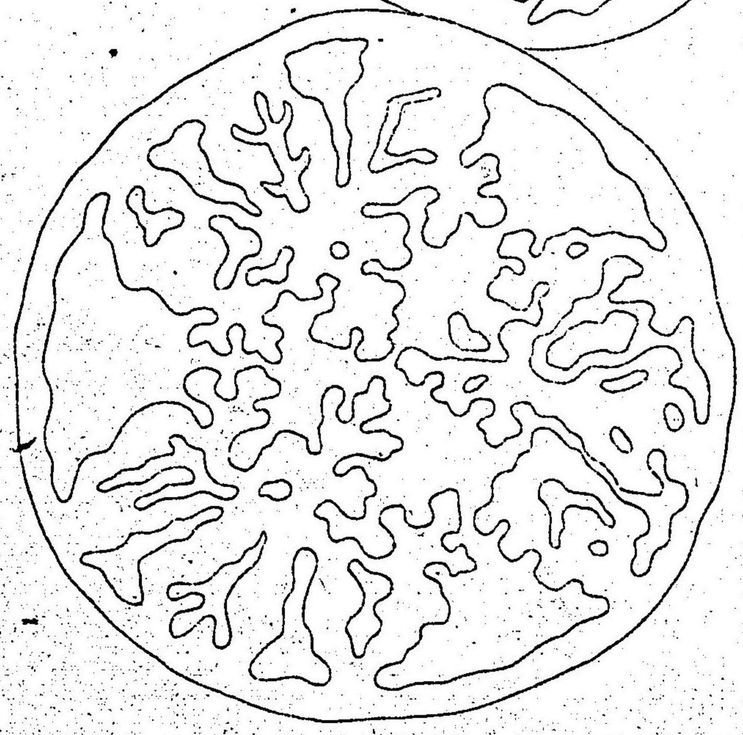
古綾文



東大寺什物ノ紋

桐ノ丸

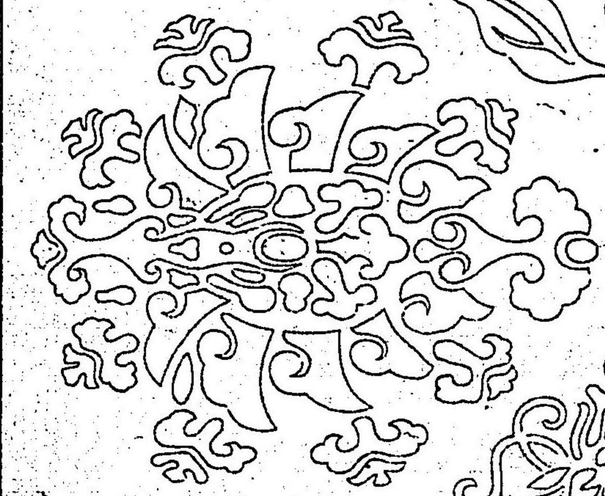


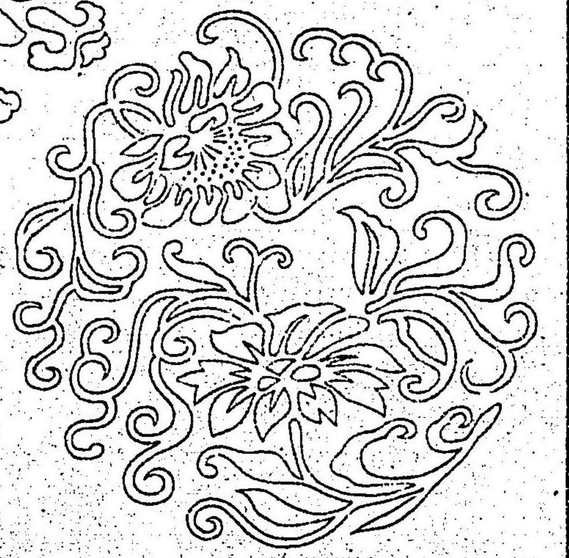


大德寺什宝大燈国師三衣文

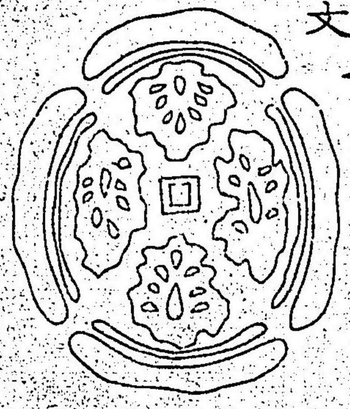
古色紙下繪

古織物紋

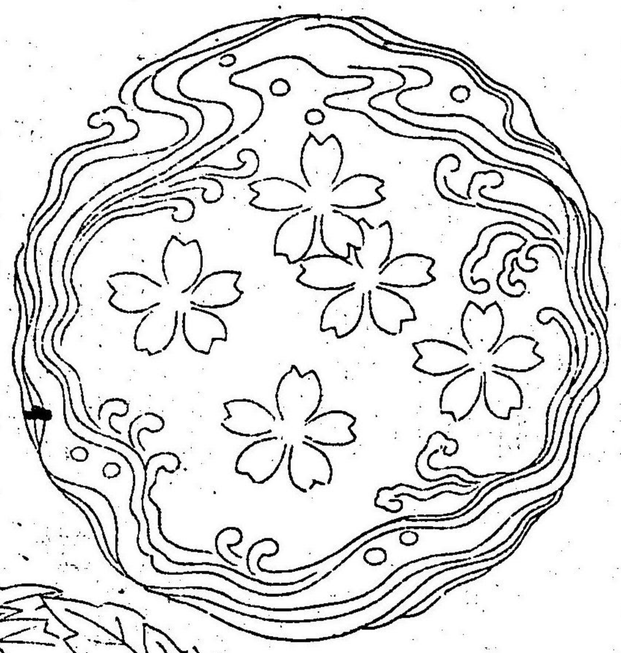




寶異文



法然上人繪傳中

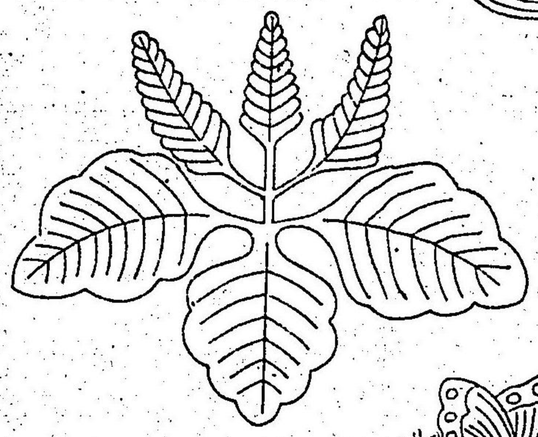


古染革紋

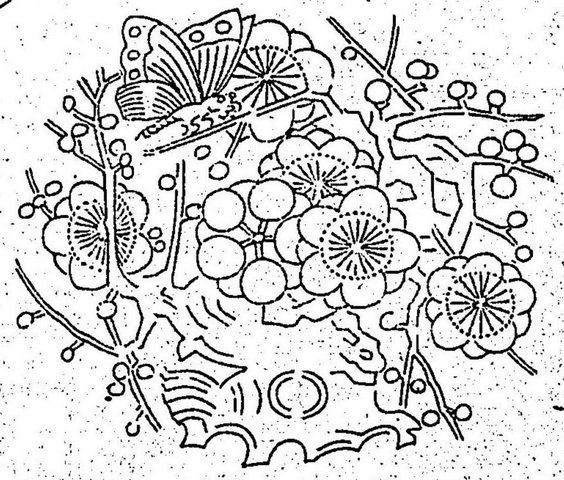
法隆寺什
革皆紋

信貴山什
楠公甲金物

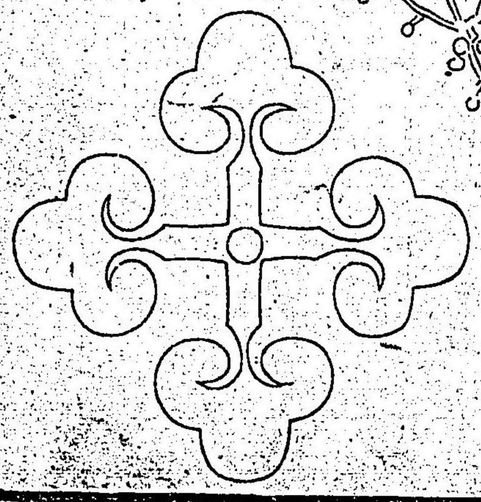
東寺華鬘金物



春日赤藏
古鎧袴金物

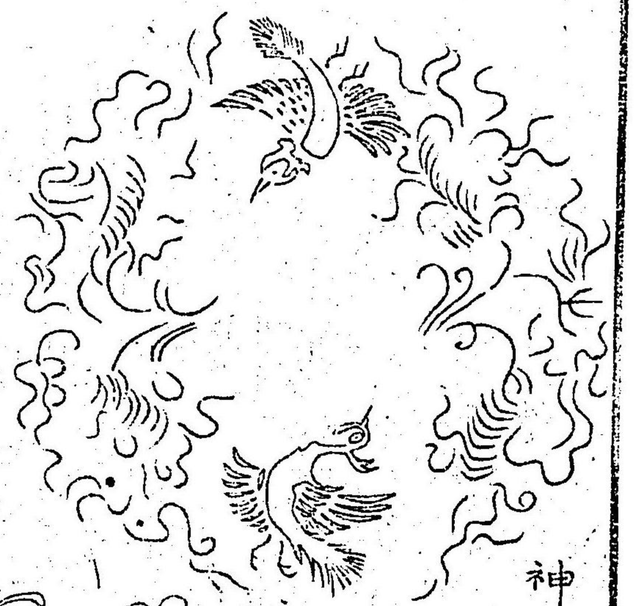


池田家
棋紋



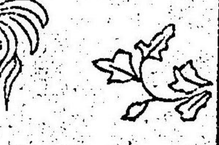
花鳥ノ編

伊勢国多度神社



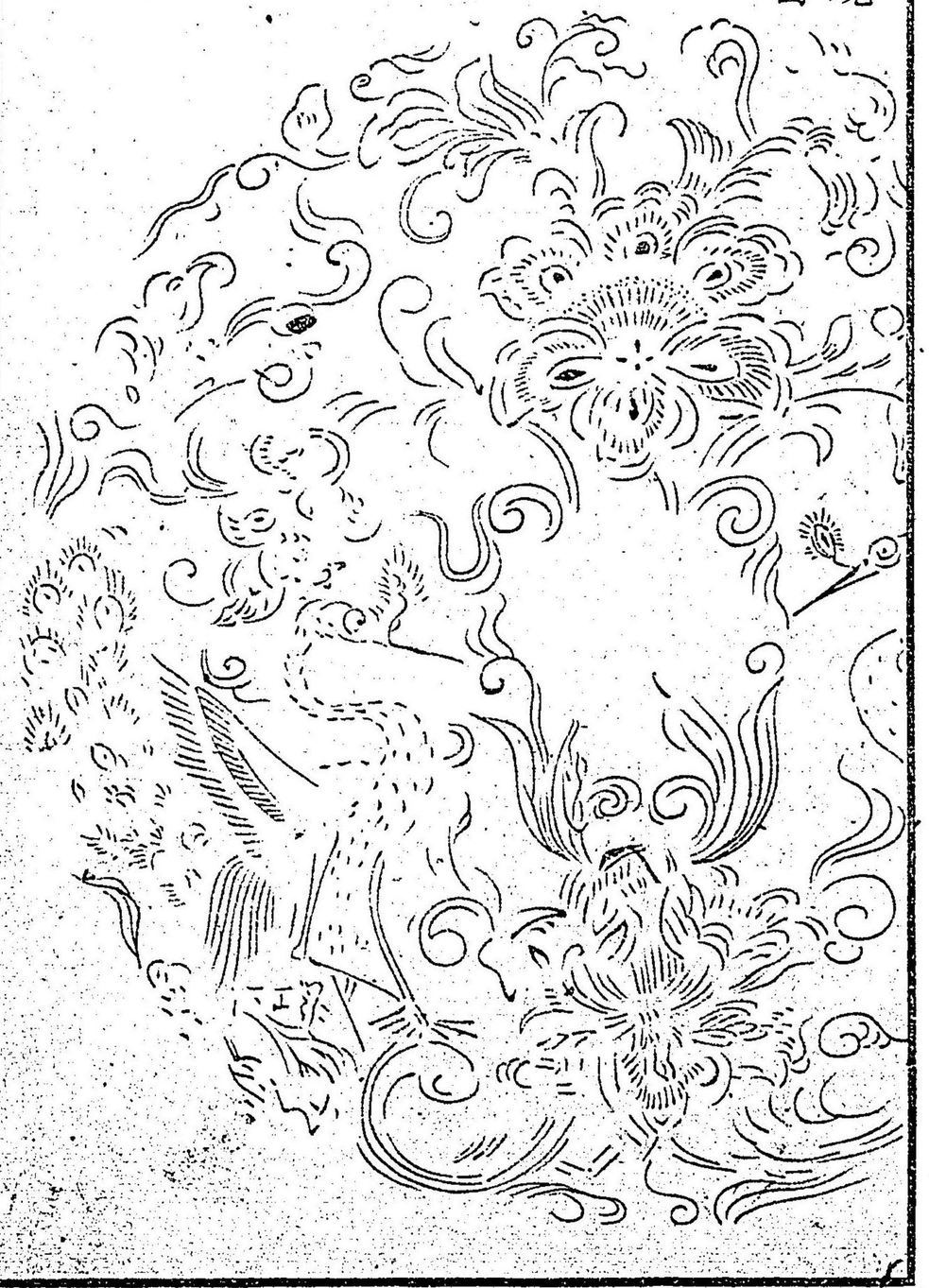
神宝古鏡背面

六種



其二

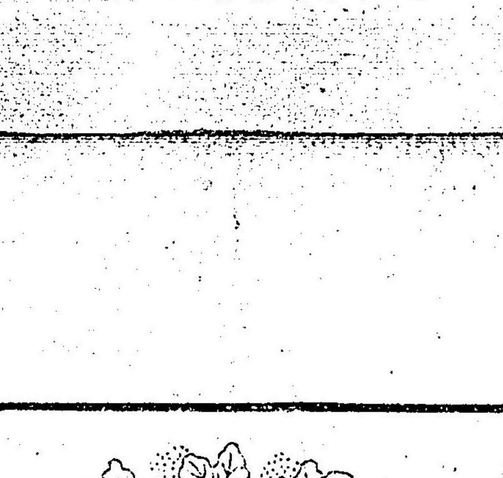
多度神社
神鏡背面
六種



共三

或家藏古鏡背面二種
所載集古十種

備前國岡山
商家河本氏
所藏



附言

○好古日録ニ法隆寺流記ヲ引テ毛氈織氈ハ染タルフトキ木綿絲ヲ以テ織テ厚シ織氈ハ染タル獣毛ヲ以テ織ル余ガ見ル所厚一分五厘許強堅木板ノ如シト見エタリ先年予ガ南都東大寺ニテ見シ織氈ノ形状目録ニ記セル所ニ違ハズ此寺ニ傳ハレルハ九曲尺七八尺四方ノ物ニテ花紋モ一尺ホドヅヽ有リ中ニ就テ六種ヲ摸シ来リシカバ悉皆此巻中ニ載タリ千百餘年ノ古物ニテ大ニ風致アル紋様ナリ其中花紋ヲ布置セシ中央ニ童子アリテ手ニ鞠ヲサヽゲ玉ヲ打体アルハ打毬ノ圖ト見エ醍齋ガ骨董集ノ打毬ノ事ヲ云ヘル條ニ萬葉集古注ヲ引テ神亀四年正月數ノ王子及諸臣ノ子等春日野ニ集テ打毬ノ樂ヲ作セリ云云トアリ神亀ハ聖武天皇ノ年號ナリ古キヲ想フベシト書キ又事物紀

原ニ宋朝會要ヲ引テ云毬杖ハ古キニ非ズ蓋シ唐ノ代之レヲ尚ニデ以テ玩樂ヲ資クトカヽレバ唐ノ時盛ンナリ聖武天皇ノ御時ハ唐ノ玄宗ノ時ニ當レバ打毬ノ行ハレヲ和漢同時ト言ベシトアリ織禮ノ紋ニサヘ打毬ノ圖ヲ付ルヲ見レバ當時盛ニ行ナハレシ事必セリ世ニ打毬ノ古圖モ有レド奈良ノ御代ヨリ見ル時ハ皆後世ノ物ナルヲ今其御代ノ遊戯ノ体ヲ織禮ノ紋様ニ觀ル事ハ實ニ古ヘノ風俗ヲ想像スルニ足レリ

○綾ノ文ニ小葵ト云文アリ是ハ葵ニ大小有リテ共ニ花モ葉モ同ヒク五月頃花咲ク罌粟ノ花ニ似タリ大ナル花ハ徑曲尺ニ寸裡ア リ小キ花ハ徑七八分ホドモアリ是小葵ナリ俗ニ錢葵ト云大サ錢ホド有ル故ナリト貞丈雜記ニイヘリ此紋様ハ異邦ニテ織タル者ナレト云説アレ共然ラズ西土ノ金段ニアリ俗ニヤケギレト云又一種小葵ノ異紋ト称スルアリ是又元亨頃ノ物ナリト同書ニ見ユ今此巻ニハ両種共ニ出セリ

○嚴島神社ノ神庫ニ藏マヘル器物ハ安徳天皇ノ御産衣ヲ始メ其餘紋様アルモノヲ巻中呵ゝニ出シヽガ平相國ノ信仰有シ御神ナレバヌクハ其頃奉納ノ物ナリ予先年此社ヘ詣セシ時校倉ノ神宝ヲモ拝セシガ其結構實ニ眼ヲ驚カセリ之レヲ以テコレヲ視レバ平家ノ世ノ盛ンナリシ一事ニテモ明證スルニ足ル

○鏡ハ日本ニ神代ヨリ有来シ證ハ國常立尊ノ御子ニ天鏡尊ト云フ御名有リ是鏡ト云物有バコソカヽル御名モ出デ來シナラン其外伊弉諾尊左ノ御手ニ白銅鏡ヲ持玉ヒシ時ニナリ出玉ヒシ御神ヲ大日靈尊即チ天照皇大神ノ御事ナリト神代巻ニ見エタリ唐鏡ハ堯ノ時始テ鏡ヲ鑄タル由事物紀原ニ詳ナリ今社寺ニ傳ヘテ宝物トナルル古鏡ハ唐物或ハ韓人ノ手ニ出シト見エル物多シ往昔ハ船ノ便リイト能カリシ故ニ方ノ調度モ大方ハ唐物ヲ用ヒシナラン蓋千年以上ノ和鏡ハ唐鏡ニ紛シ安ク具眼ナラザレバ鑑定シガタシ東大寺ヲ始

諸寺諸社ニ傳フル所ノ菱花鏡方鏡柄鏡ヲ論ゼズ背面ノ花鳥ナド古代ノ物ハ何トナク風韻多ク見所アリサレバ今古代ノ紋様ニ取交ヘテ得ルガマニク寫シ出シ參考ノ便ニ備フ然レドモ集古十種ヨリ摸寫セシ物少ナカラズ歴世女裝考ニ北向観譚ヲ引テ云尾張国名古屋ノ入口前津ト云所ノ人ニ白翁トイヘルガ古鏡ヲ藏スル内ニ神代ノ鏡モ有リテ蠟墨ニ摺タルヲ見タリト云トアリ神代ノ鏡ト鑑定シタルハヨシアルベケレド其形狀モ言ハズ圖モ載ザルハ遺憾ナリト見エタリ因ニ云此白翁ト云フ人詳ナラズト雖モ信長公ノ菩提ノ為ニ建立セシ總見寺ト云梵刹アリテ其堂内ニ安土城ノ扁額ノ寫シヲ掲グ共記文ノ末ニ元禄元歳云々勅住法山當寺第六世白翁トアリ此寺名古屋市中ノ大地ナレバ恐ラクハ此人ナラン歟

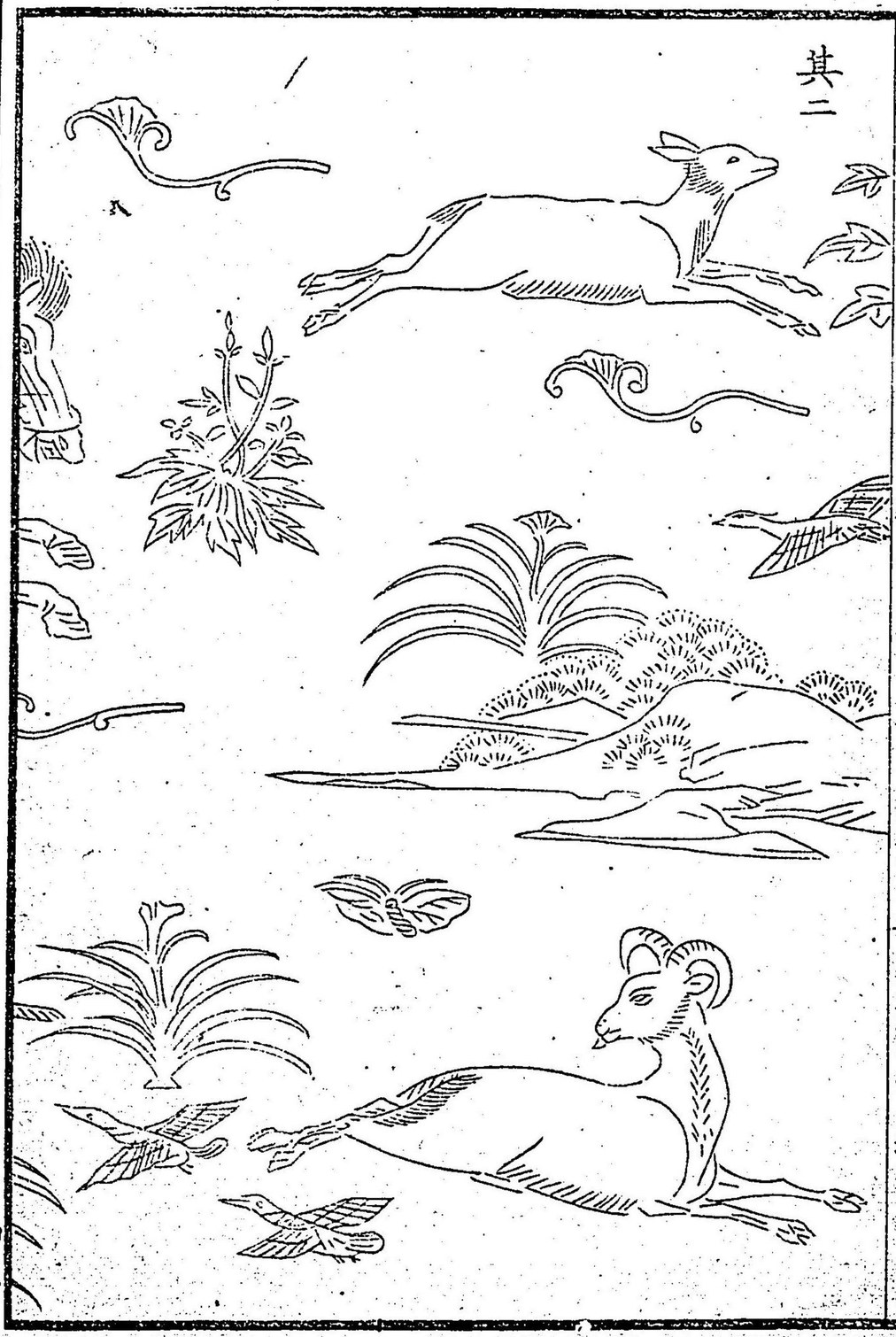
嗚海賀大

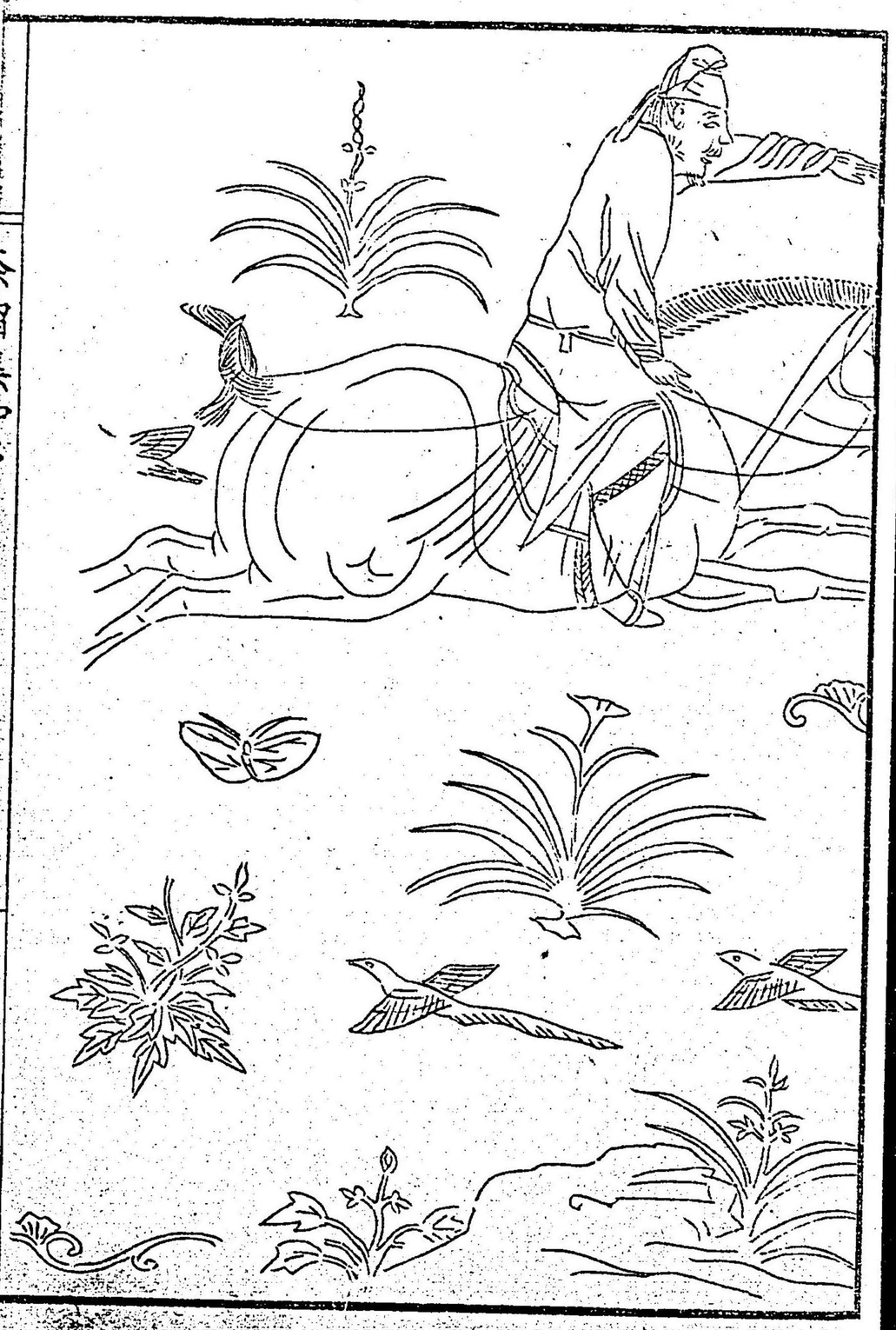
東京圖書館

類	函	架	號	冊
屬	一	五	八五	五

此ハ予ガ東大寺ニシテ現ニ其實物ヲ觀テ摸シタル圖ナリ次ニ出ス銀壺ノ摸様ハ或人ノ寫ヲ得テ後ニ摸寫ス共ニ大サ如圖大小ノ差違有リト雖モ獸類ノ形勢面貌ノ位置相似タル事往昔奈良ノ朝同工ノ手ニ出ルカト疑ハル爰ヲ以テ是ヲ視レバ新古其時々ノ画風ハ一脈ノ中ニ儼然タルモノ歟

東大寺三ツ倉御物
抜萃
大サ如圖 但位置不同





鎌倉報國寺藏
古鏡背面文

或家藏鏡
位置不同

大坂商家
加島屋藏鏡

舶來陶器模樣
異草類聚

東大寺大佛殿
南大門狛犬

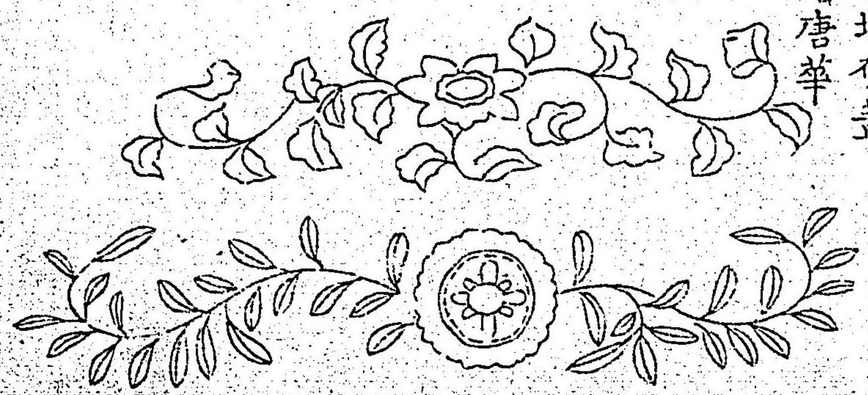
尾張德川家藏

尾張德川家藏
東坡硯箱蓋蒔繪

沈箱蒔繪

公沈箱盖蒔繪

公東坡硯蓋
蒔繪唐草



奈良興福寺
舞樂

太鼓之巴

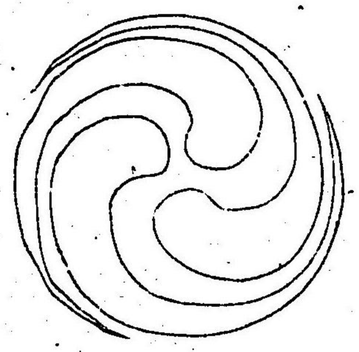
西大寺
古瓦

尤方

平等院
古瓦

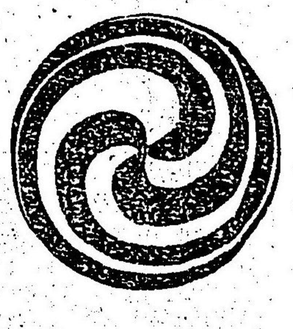
右方

橘寺
古瓦

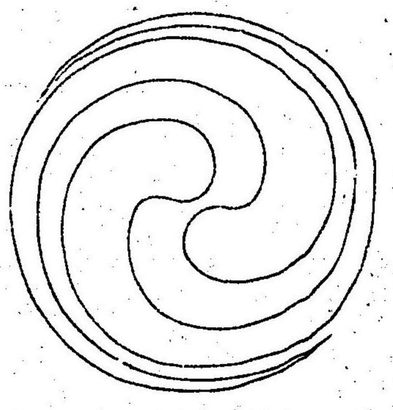


何項ノ製ニモ
近體ニ屬ス

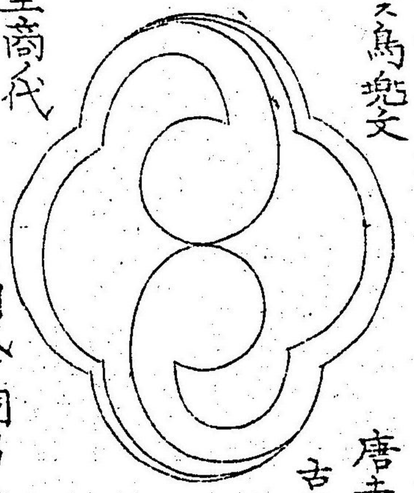
秋篠寺古瓦



古代甎繪并漢土異體類聚

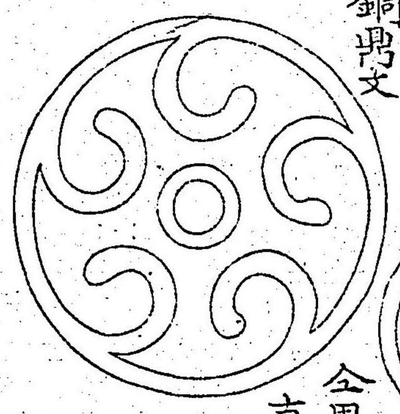


舞樂平舞襲裝束ノ用フル
着ス烏兜文

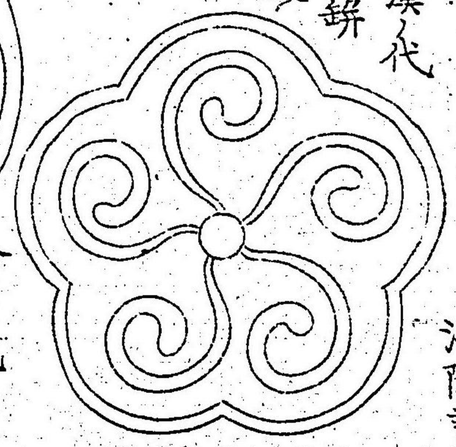


唐土商代
古銅鼎
文

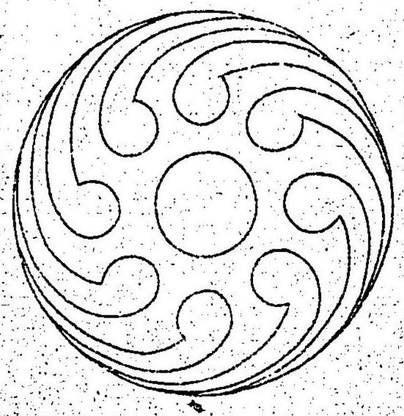
同代古銅鼎文



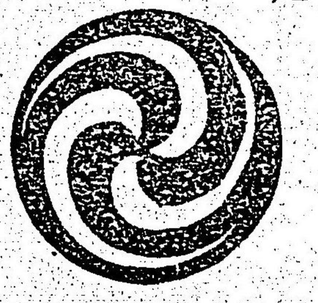
唐土漢代
古玉琊
文



今周代
古玉器
紋

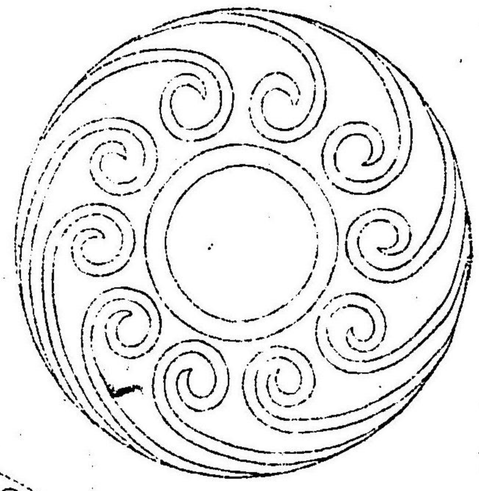


法隆寺古尾

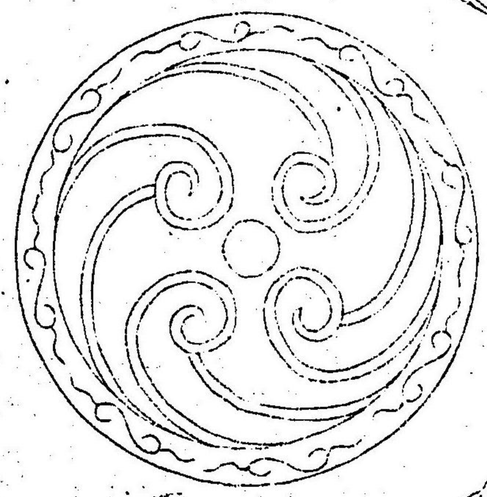


周代古銅磬文

共二

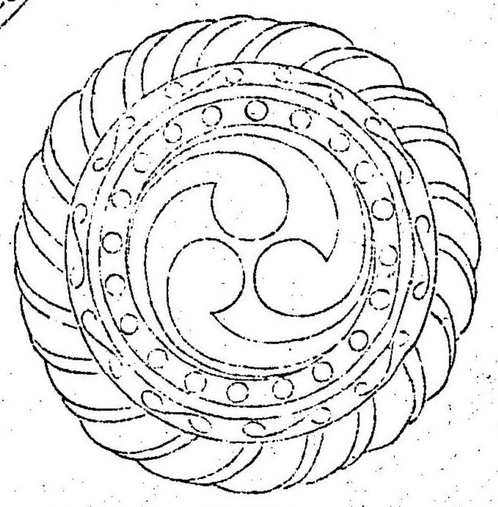


年中行事繪巻
獅子舞太鼓故

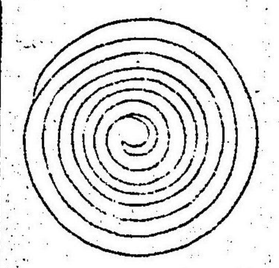


周代古銅鐏文

仝鐏ノ紋

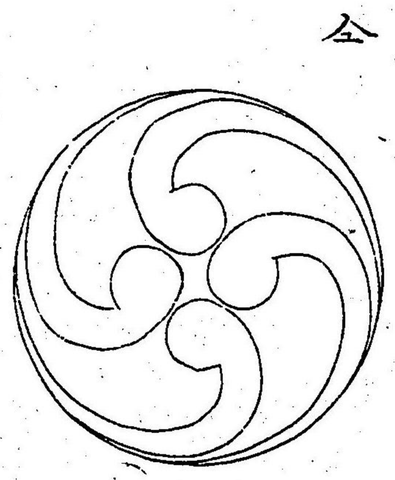


蠻異衣服
繡文

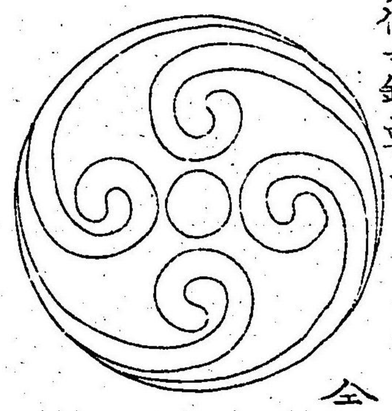


周代古銅墨文

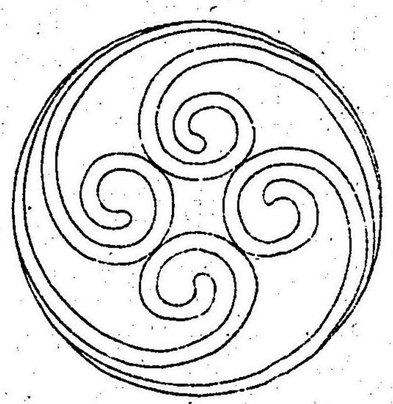
仝

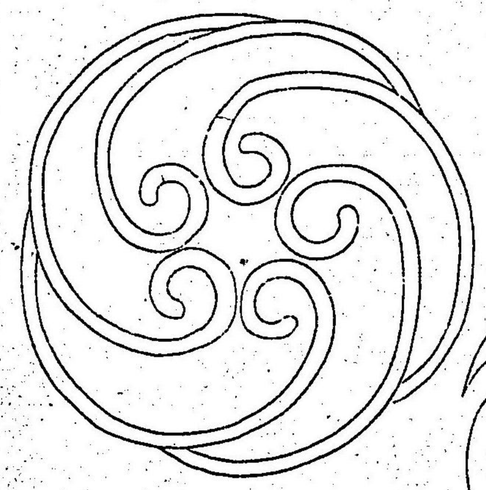


仝

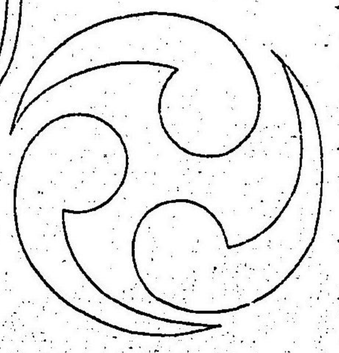


仝



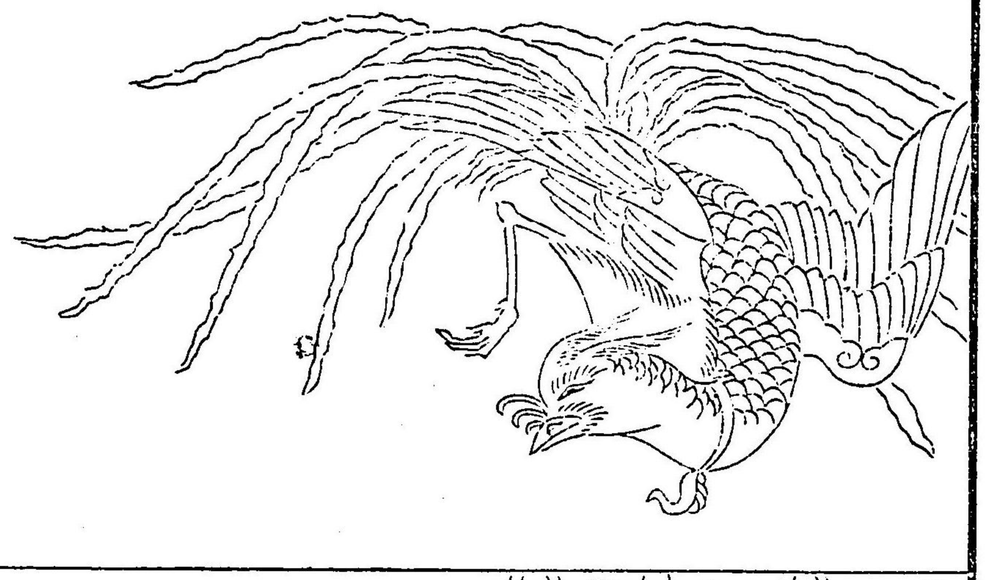


弘安年中
日蓮大士肖像帷幕紋

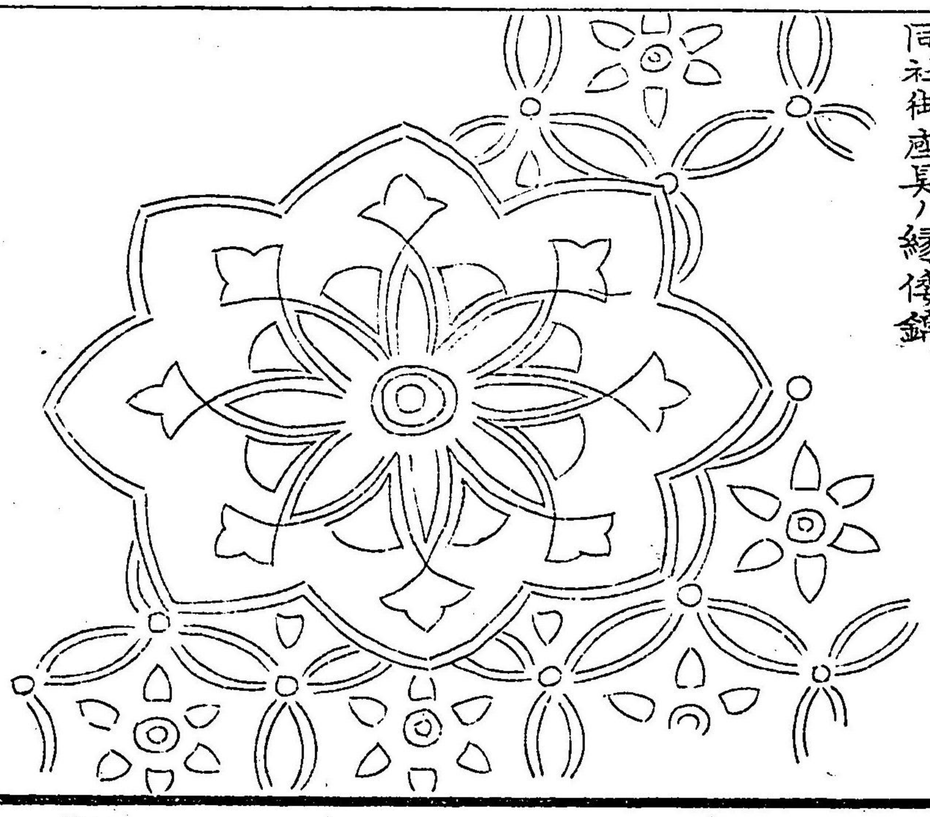


姫路家蔵笹龍尾錦文
藤原實房卿製下云

京都本圀寺藏
簫紋鵁鶄鳳凰



同社御座具ノ緣倭錦

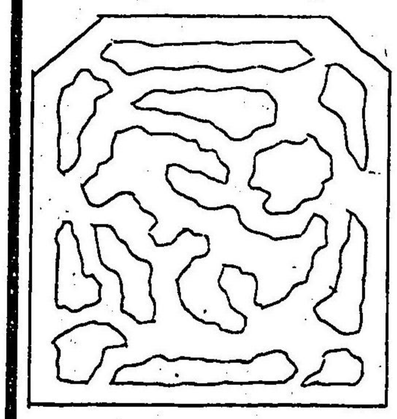


男山八幡宮神宝
御装束
御戸帳
紅金襴

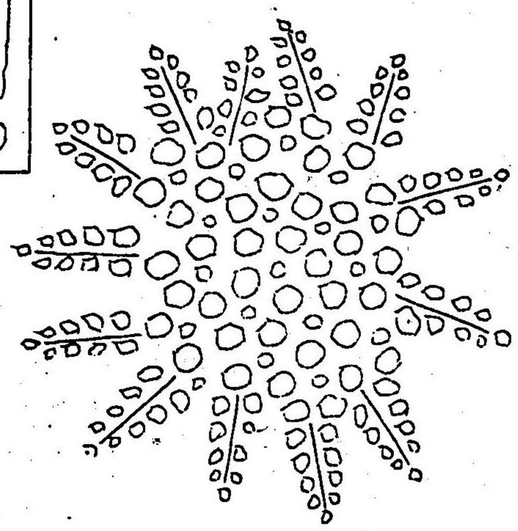
全

法隆寺藏孝謙天皇御褥文

古綾文

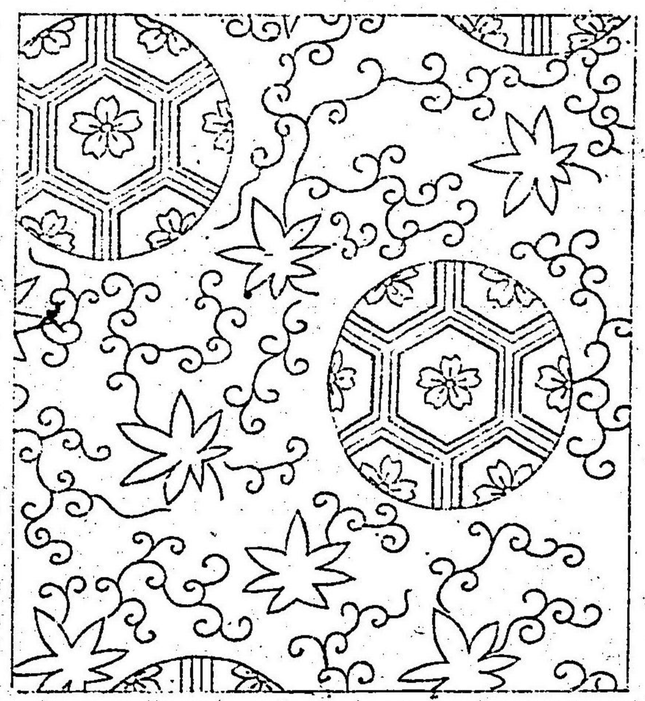


春日驗記
衣文



東寺藏
建治帝御懷紙下繪
烏落葉金泥
波白泥

古錦文



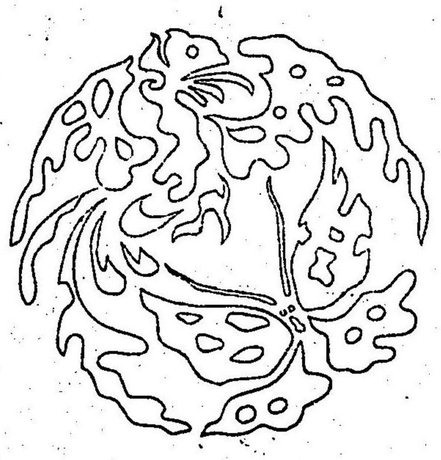
加賀国多太八幡社宝庫

齋藤實盛
着用赤地錦
直垂ノ紋

摂津國小橋村慈眼菴藏古鏡背面文

蝶鳥

古綾文

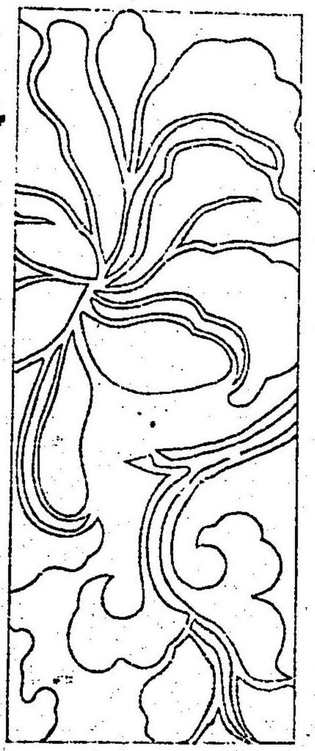


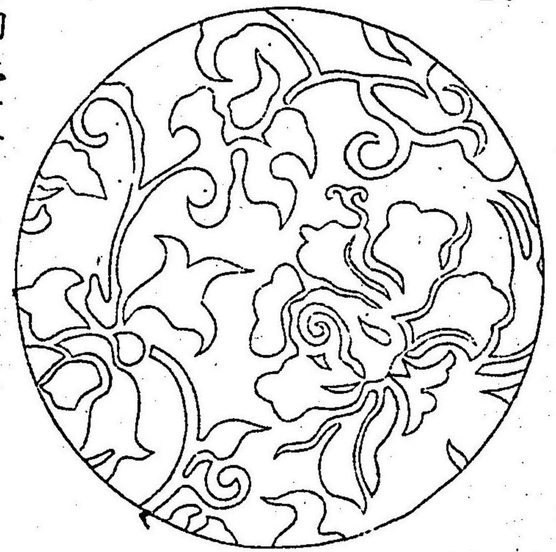
古色紙文

中牡丹

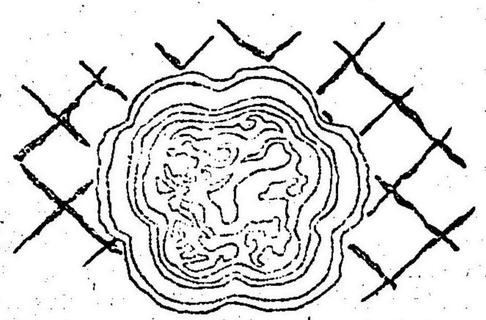
全

高
堂
寺
裂



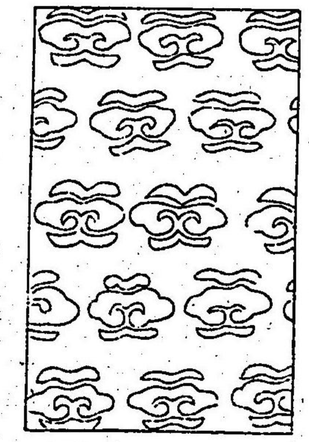


筒井

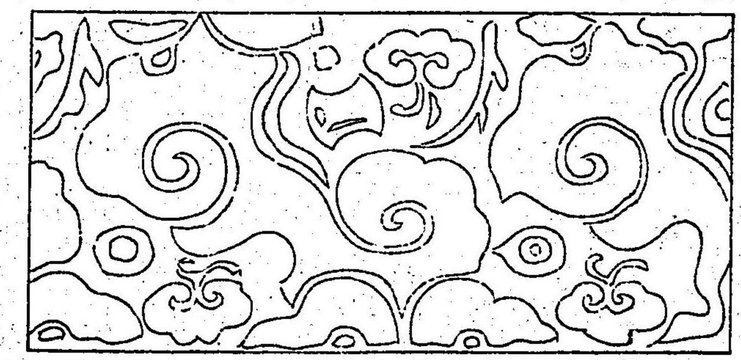


全

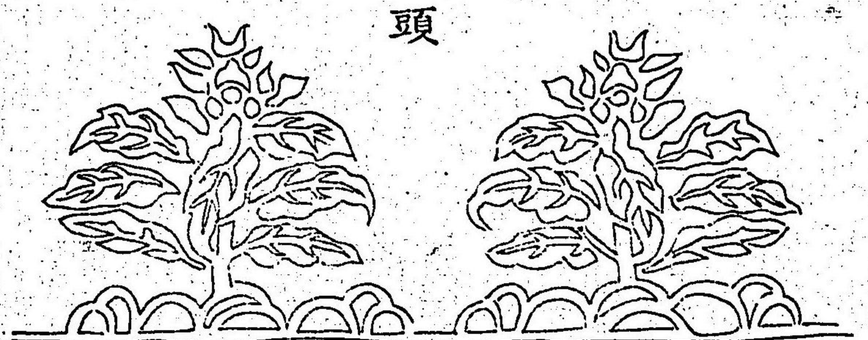
大燈



嵯峨裂

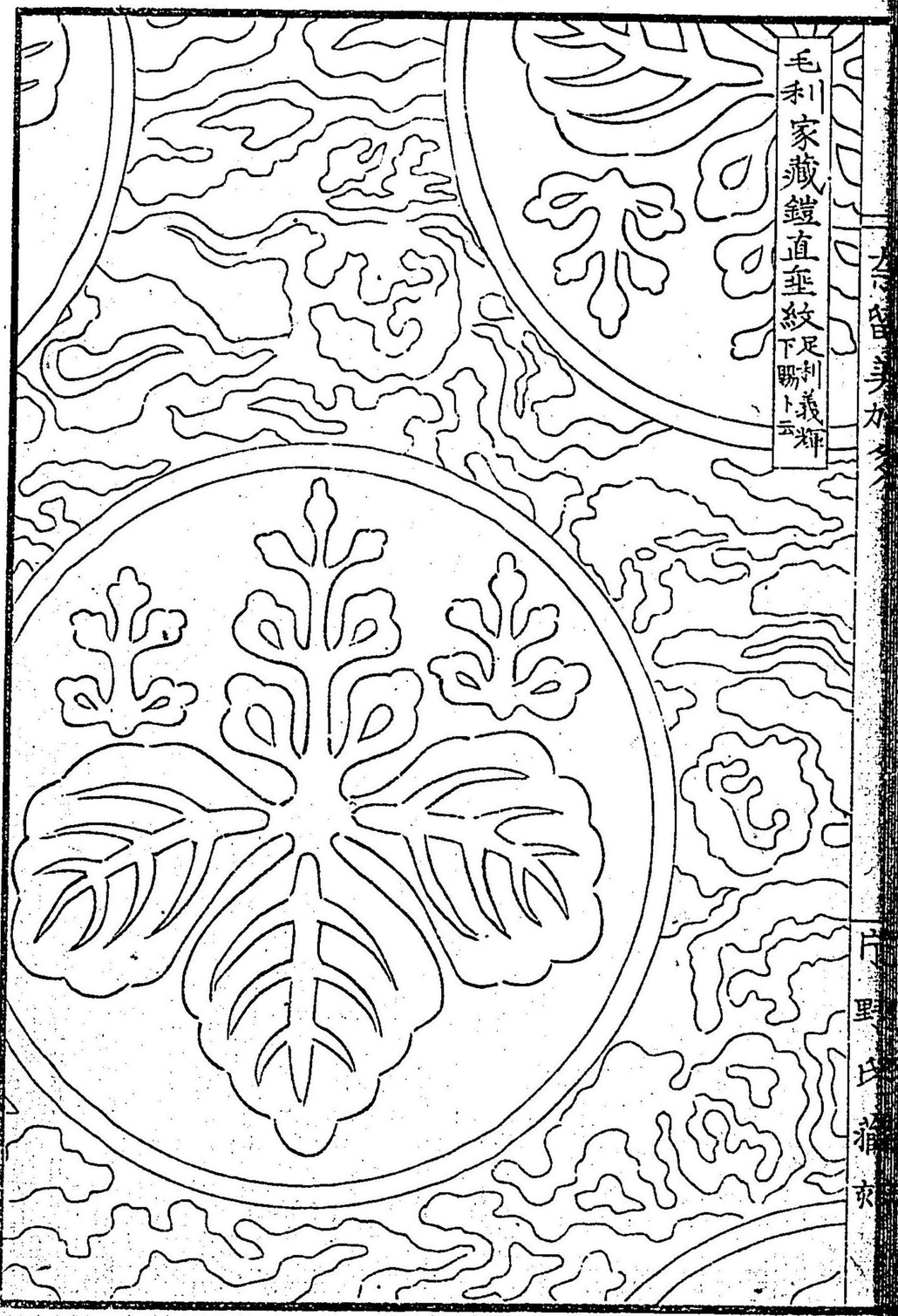


雞頭

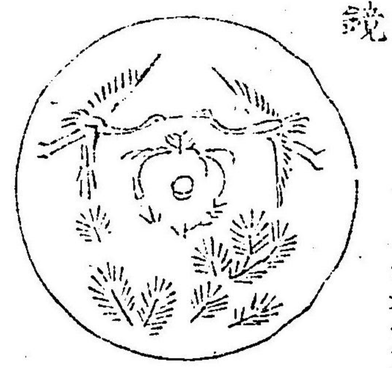


毛利家藏鎧直垂紋

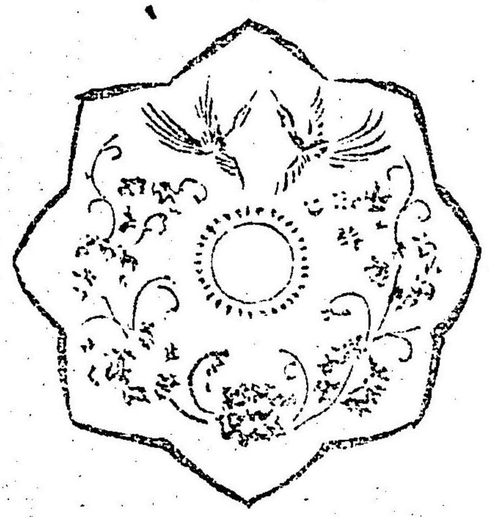
足利義輝下賜ト云



伊豆國君澤郡鮎坂村所堀出
古鏡



三河国
鳳来寺
鏡堂藏

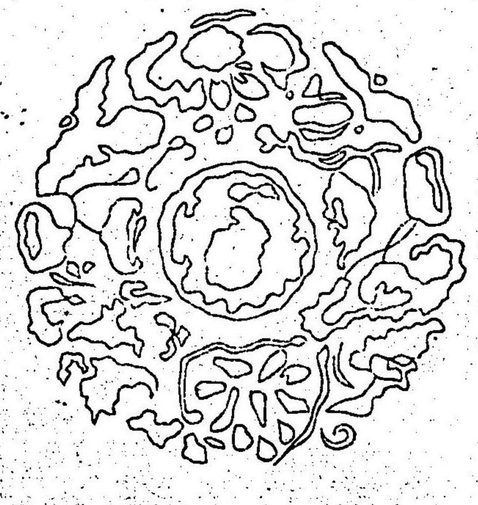


同国田方郡
益山寺所堀出
古鏡

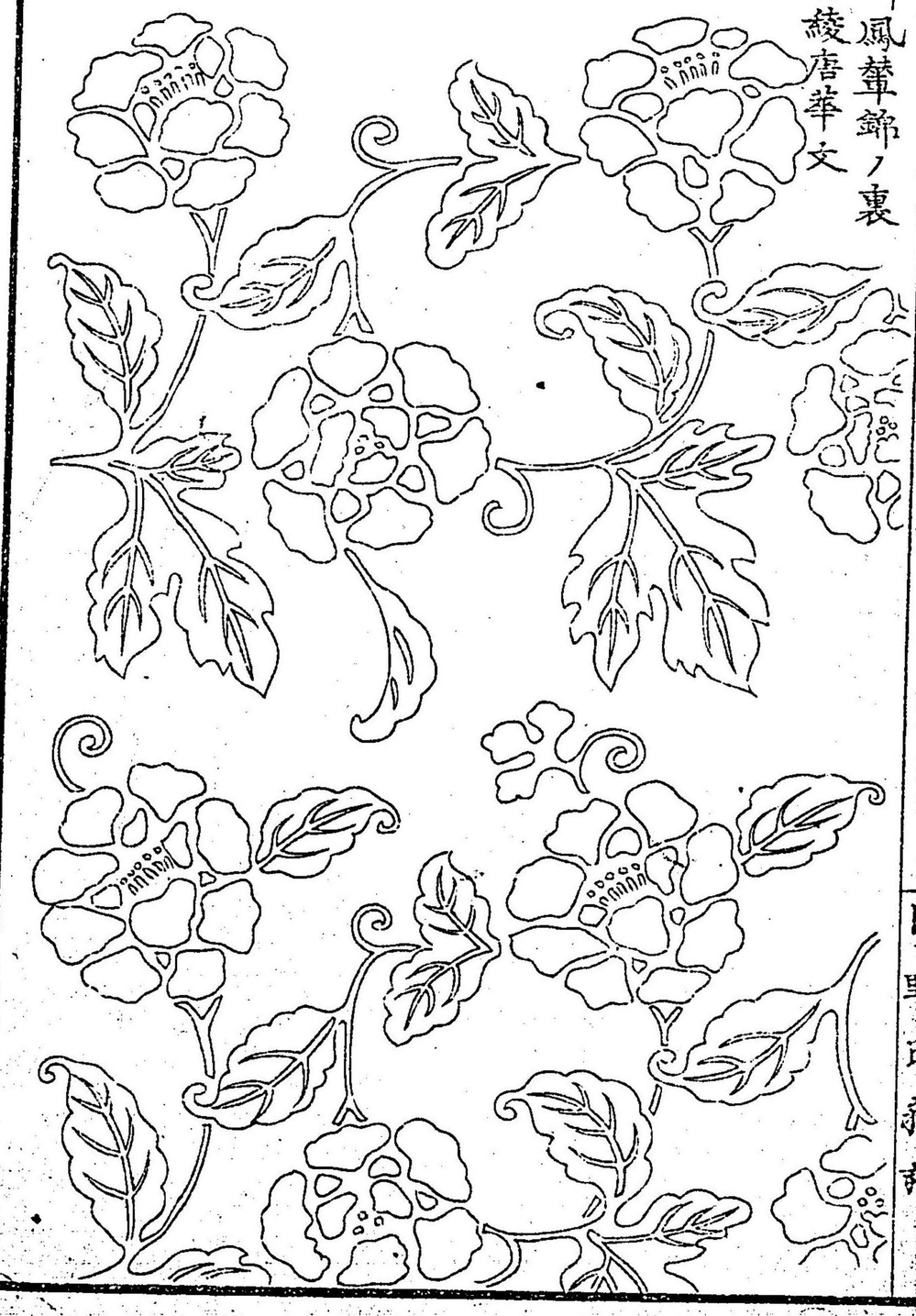
多度神社神宝古鏡

朽木家藏
古鏡背文
位置不同

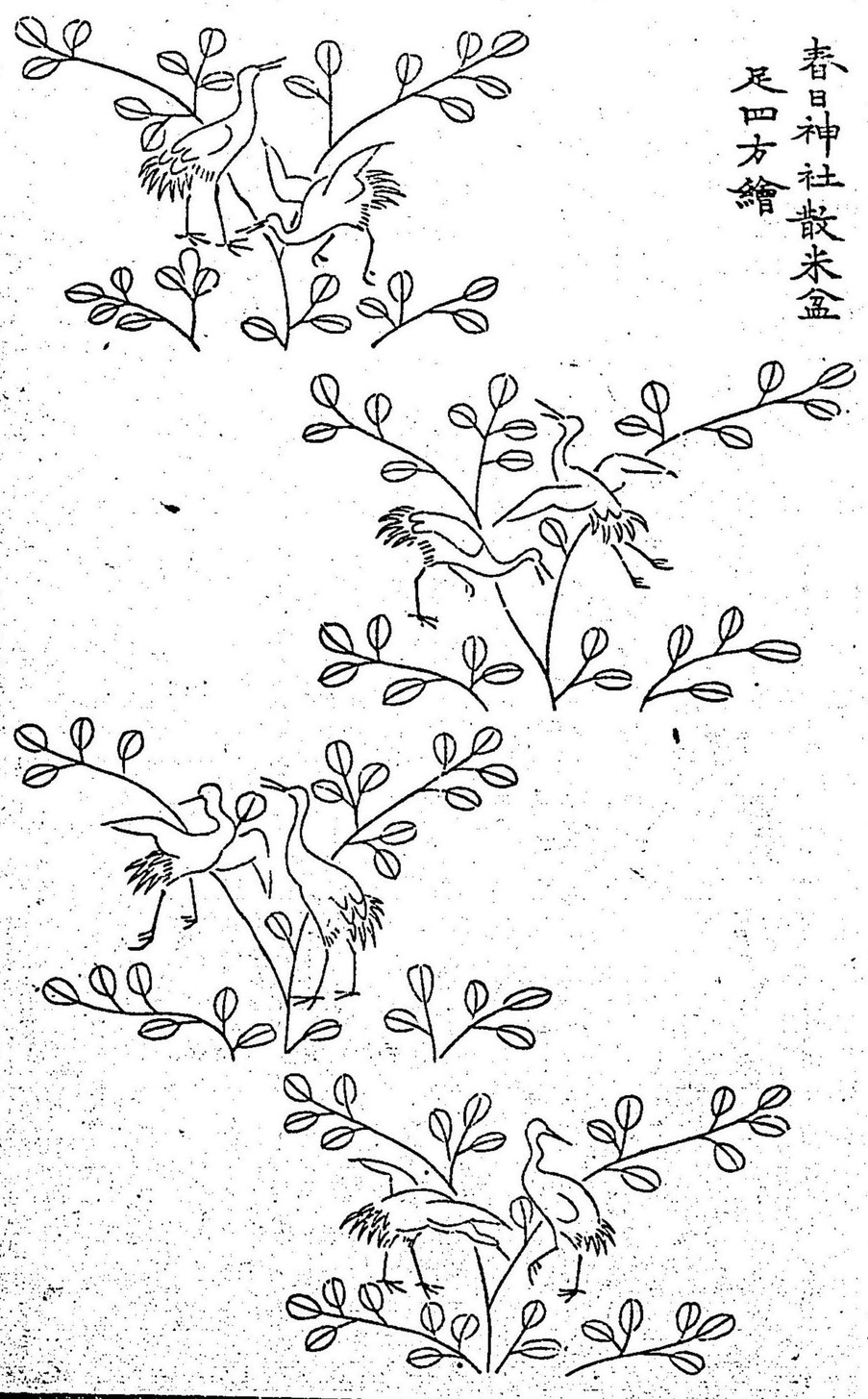
讃岐國陶村
岡田氏所藏
古鏡



御鳳輦錦ノ裏
白綾唐華文



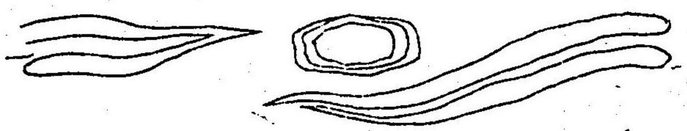
春日神社散米盒
足四方繪



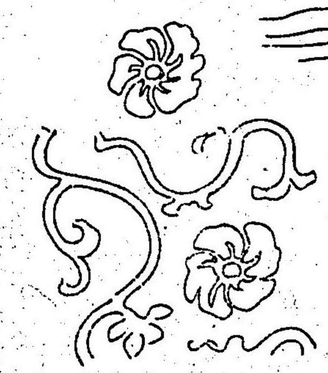
下妻裂

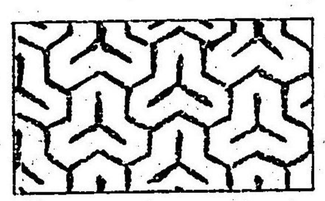
小牡丹

虎裂



定家

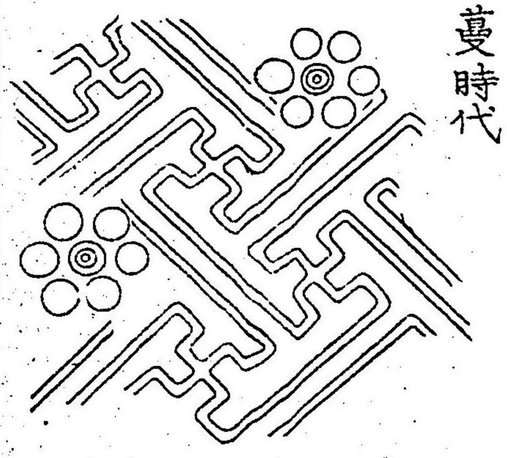




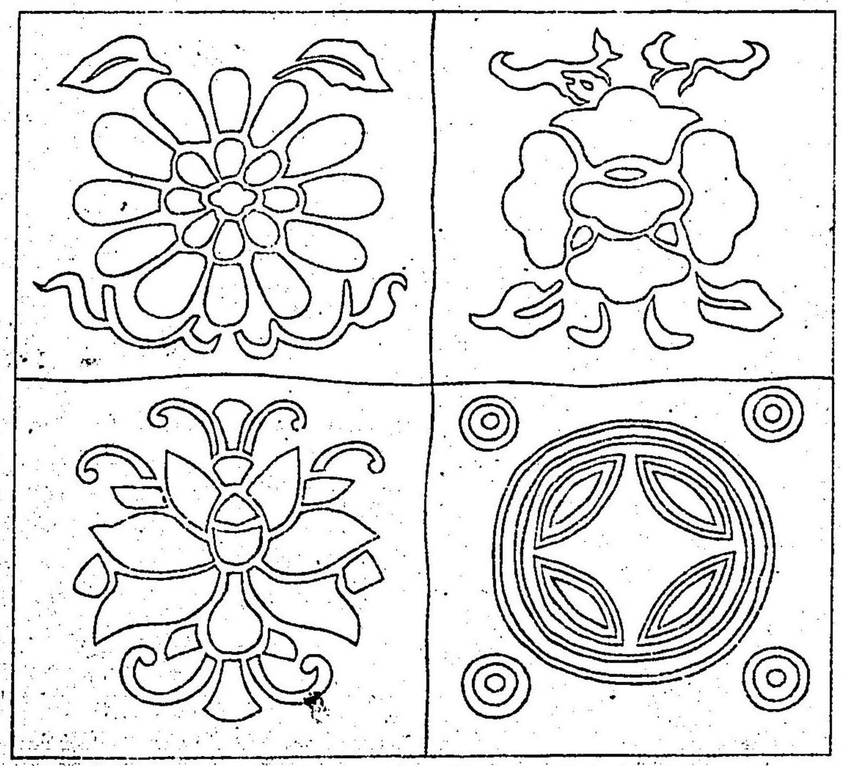
斂光

本能寺裂

笹蔓時代

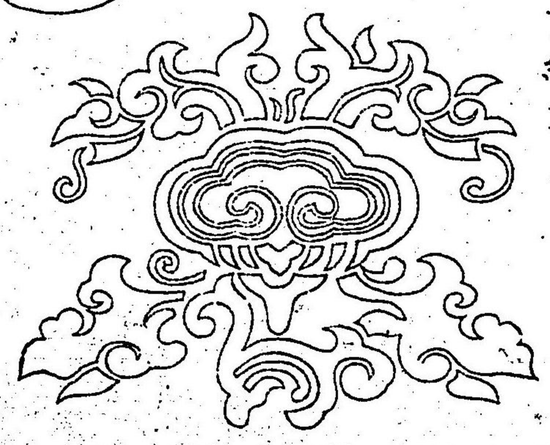


遠州好緞子 世ニ遠州ト称ス

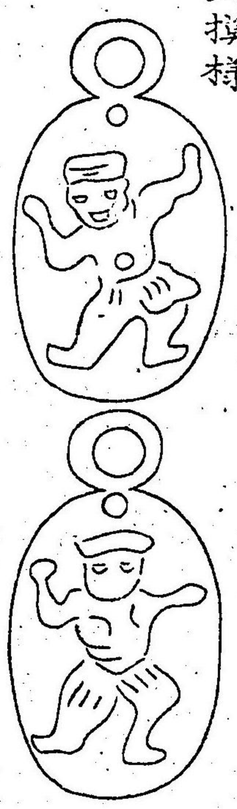


高野山宝積院藏
金滅金水瓶文

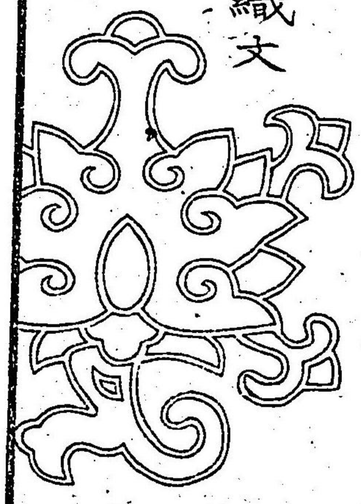
古綾文



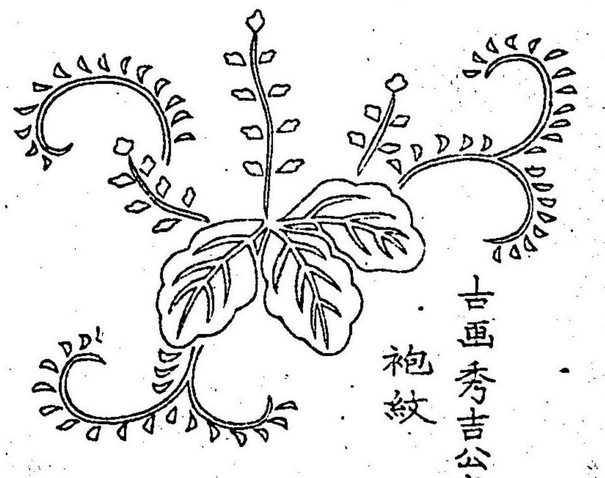
河内国交野郡渚村
所堀出鈴摸様
人物二個



唐織文



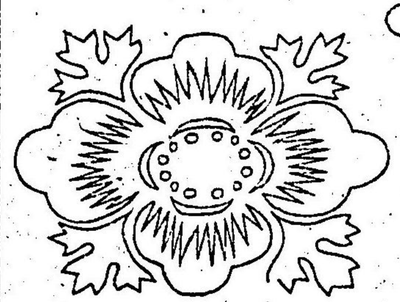
吉画秀吉公肖像
袍紋

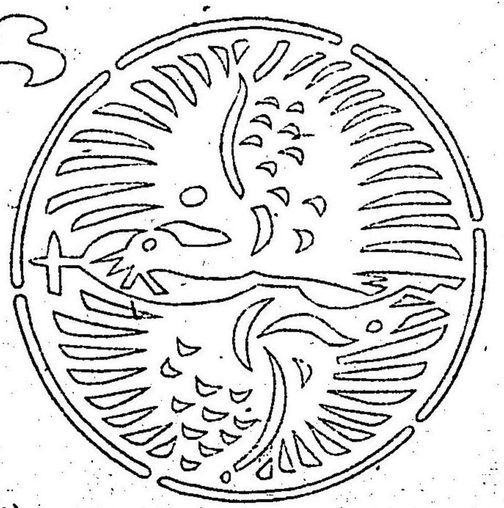


法隆寺藏
犀風裏形ノ
花

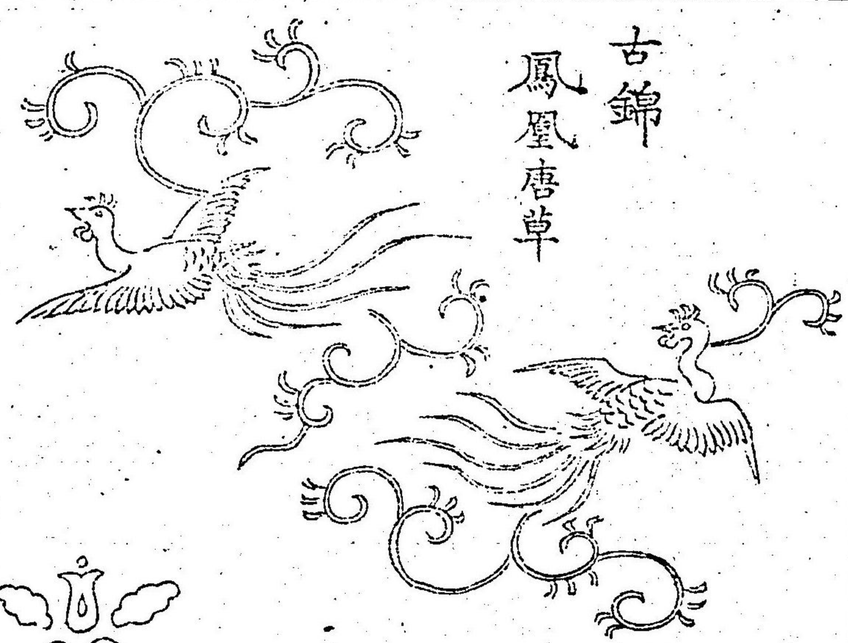
東寺文書嚢
摸様全形

古錦文ノ

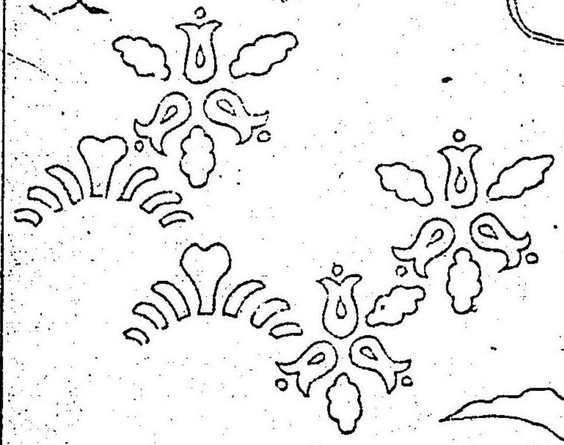




古錦
鳳凰唐草



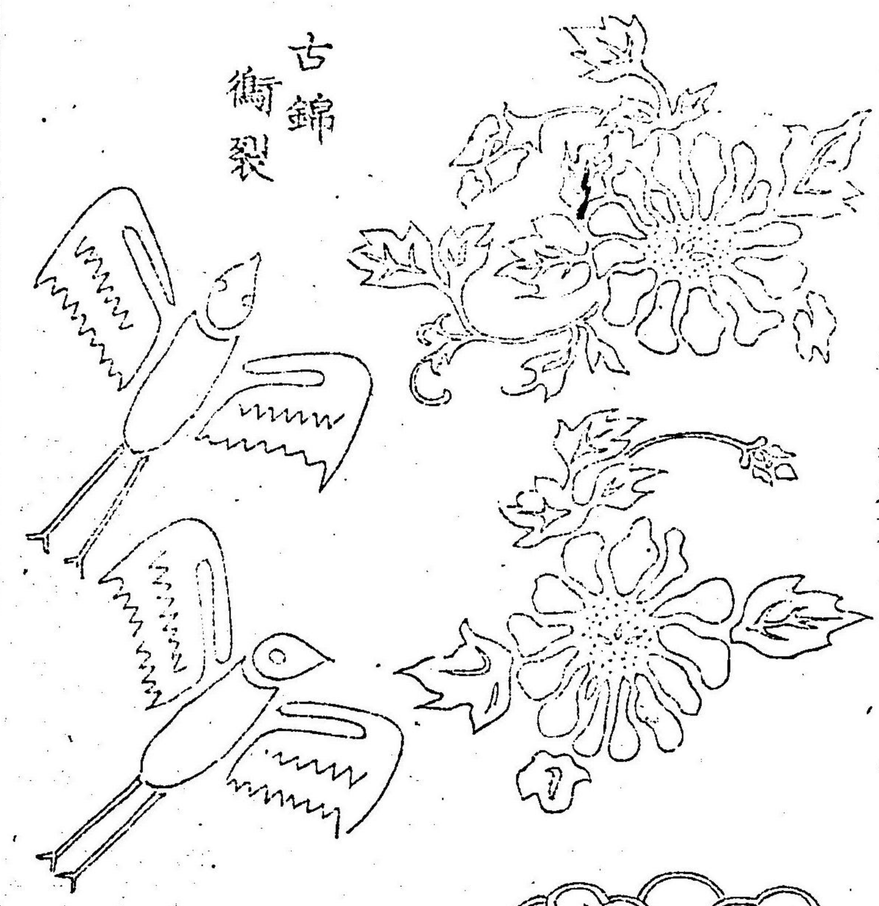
古綾文ノ

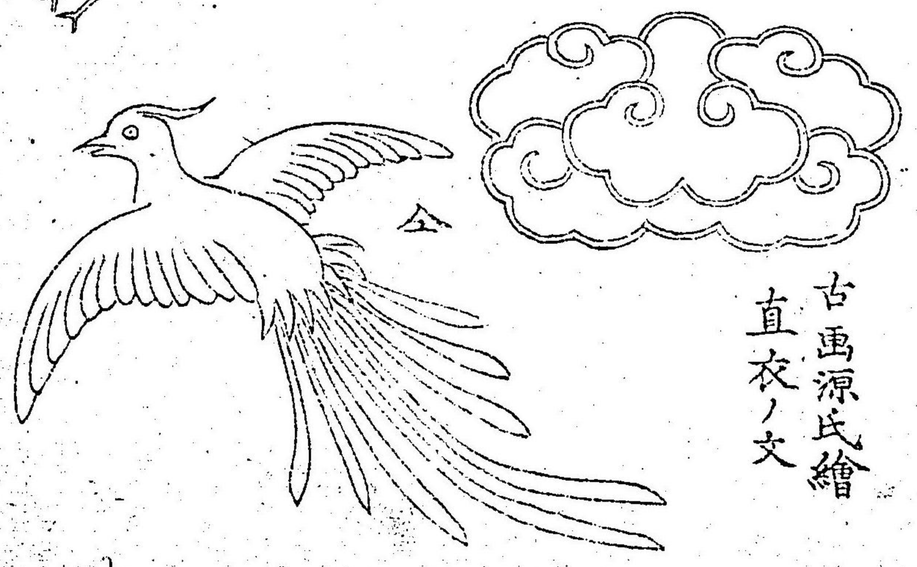


或寺藏文庫
古代蒔繪

石清水神宝ノ裏松家狩衣ノ文ト云

古錦
衝裂

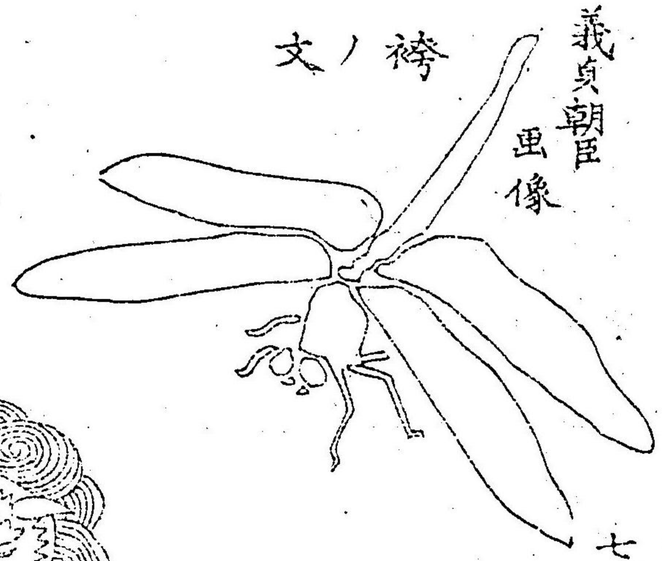




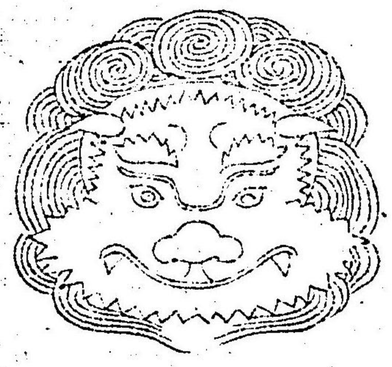
古画源氏繪
直衣ノ文

義貞朝臣
画像

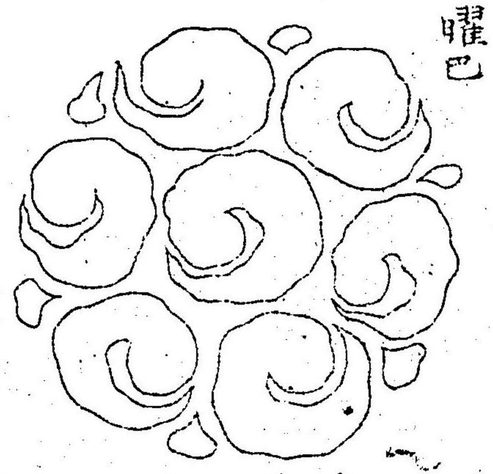
袴ノ文



美濃國某寺什
鬼面

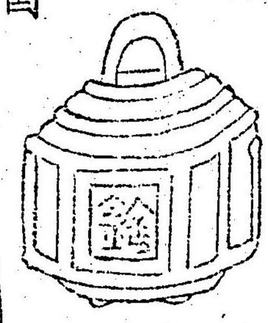


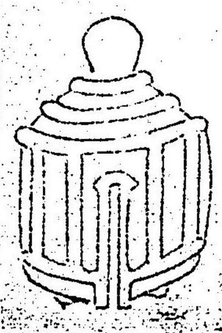
七曜巴



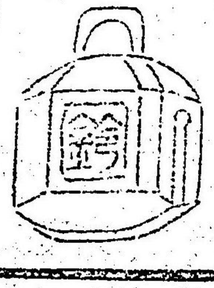
驛路鈴

讃岐国
北村氏藏



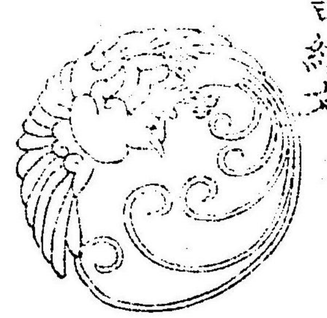


隠岐国
若玉酢神社藏

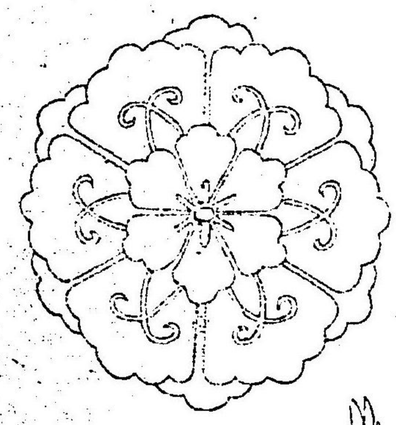


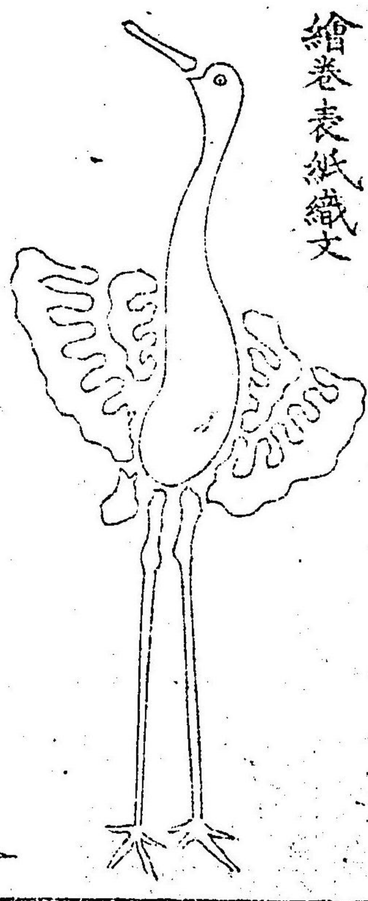
能樂師
觀世氏藏
義政公
塲面相時
繪千鳥

古綾文



古織物文　照念院裝束紗



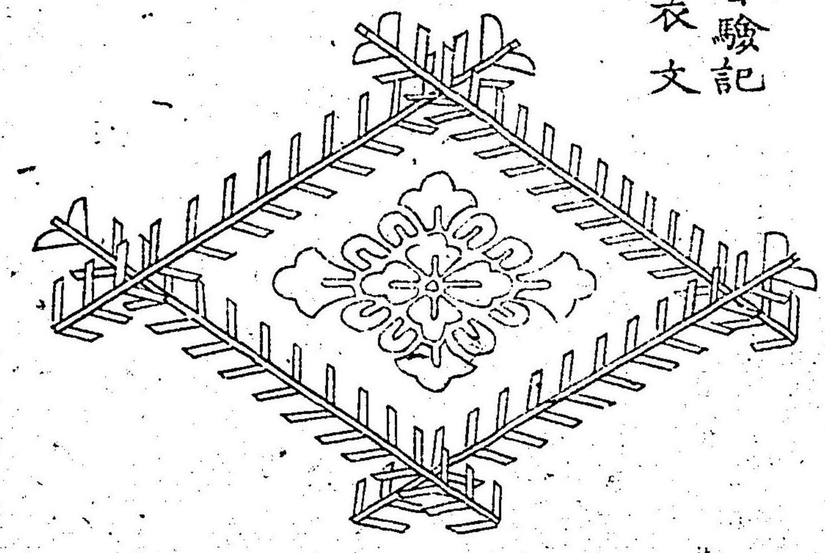


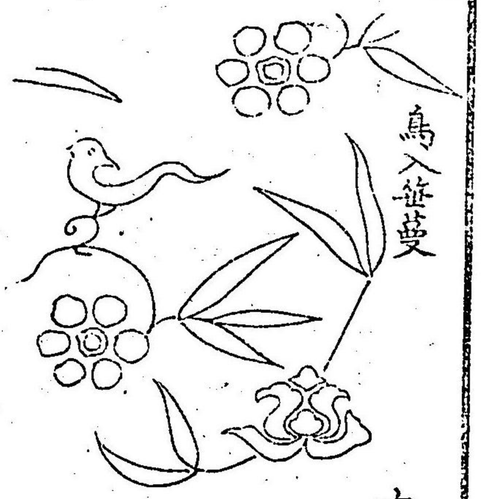
繪卷表紙織文

舶来陶器紋様五種

法隆寺宝物

春日験記
衣文





鳥入笹蔓

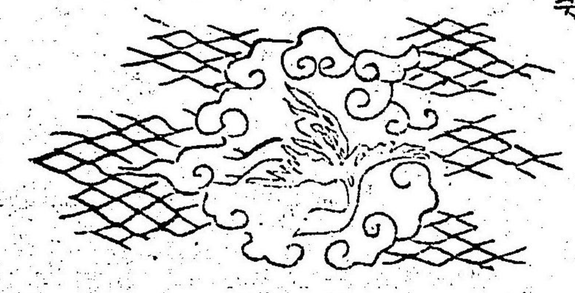
名物裂類聚

雲珠

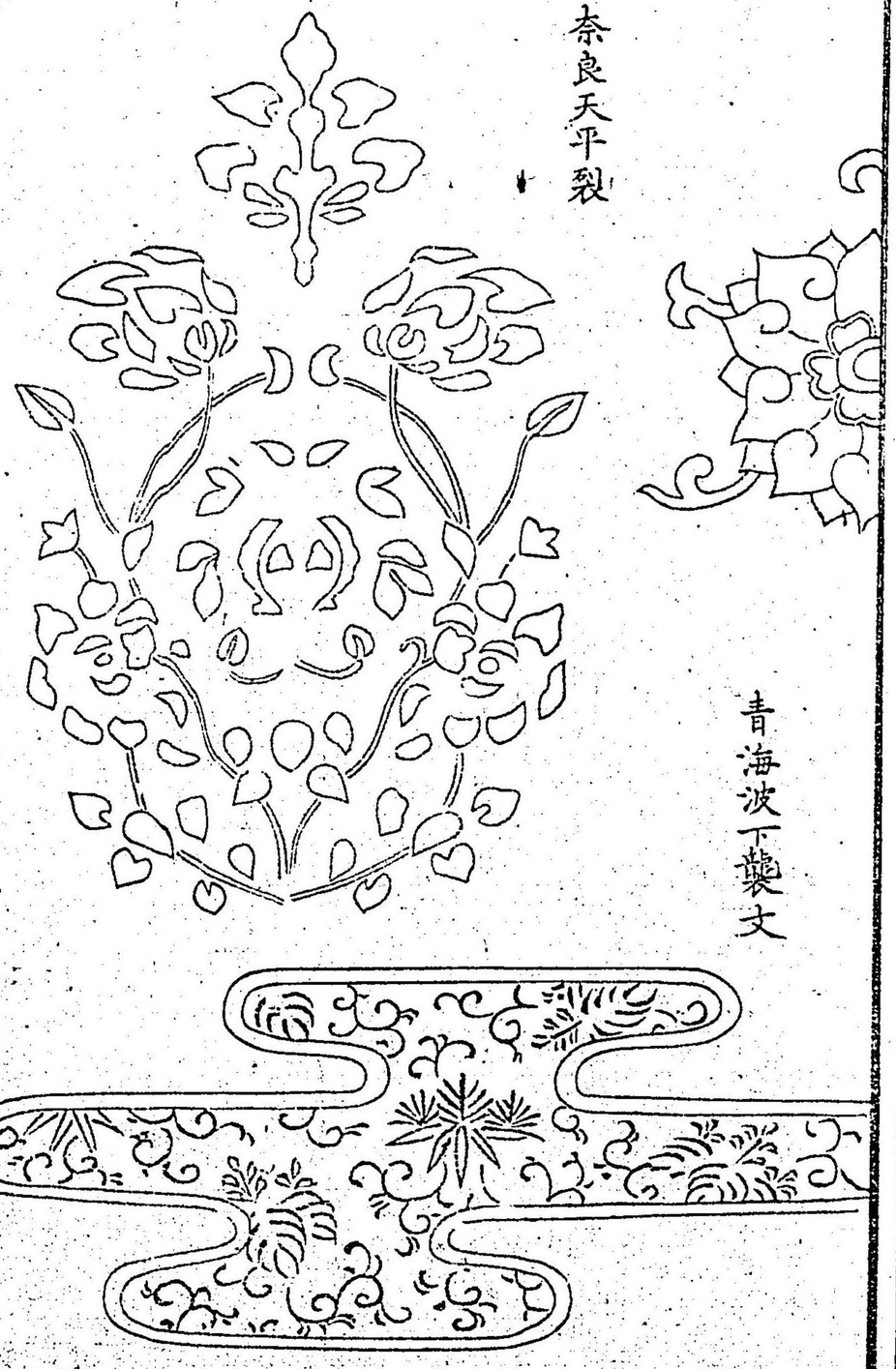
亡羊

宗薫

有樂



奈良天平裂



青海波下襲文

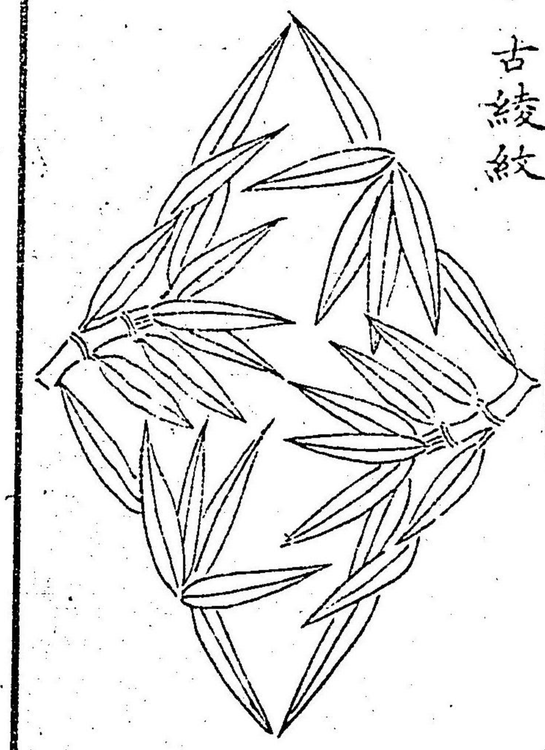
東寺什物

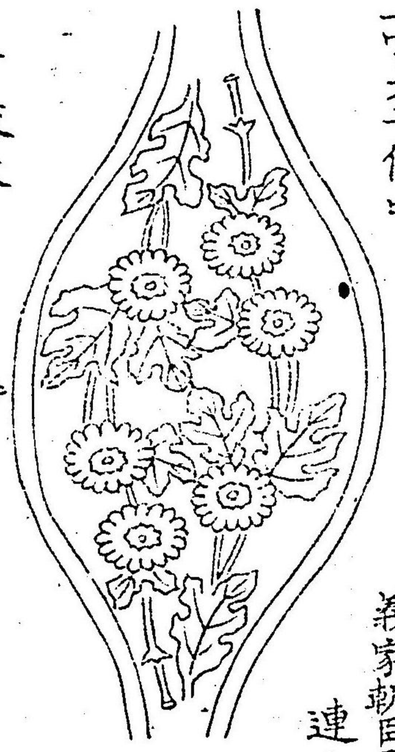
唐錦文

古綾紋

錦文

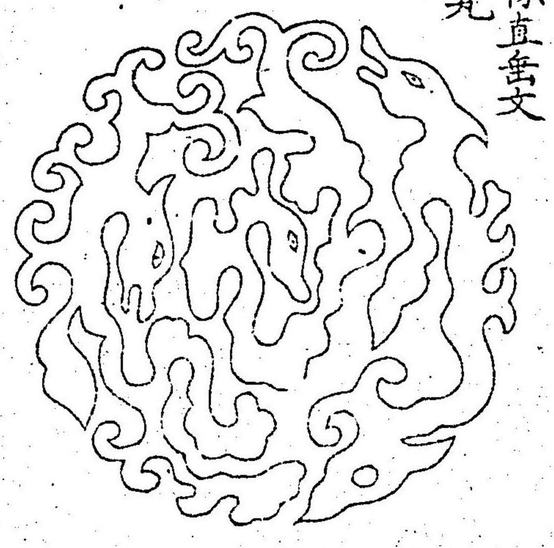
古綾紋





義家朝臣画像直垂文

連竜丸

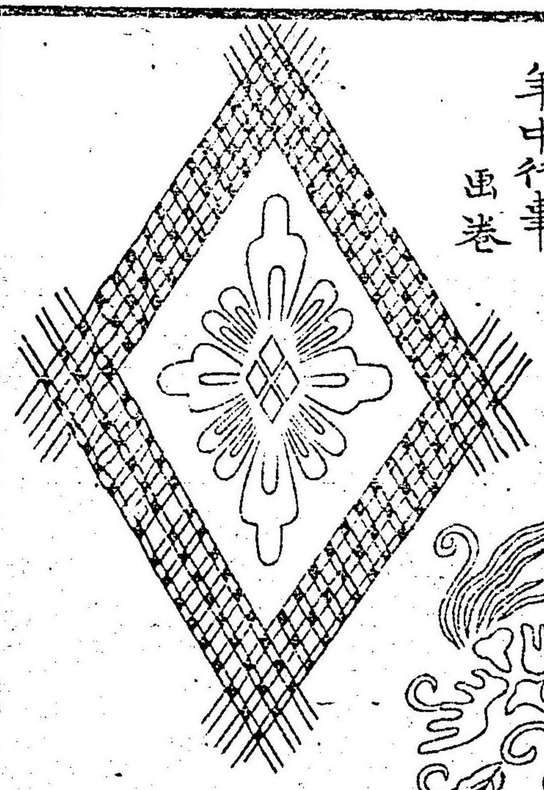


伴大納言繪巻中

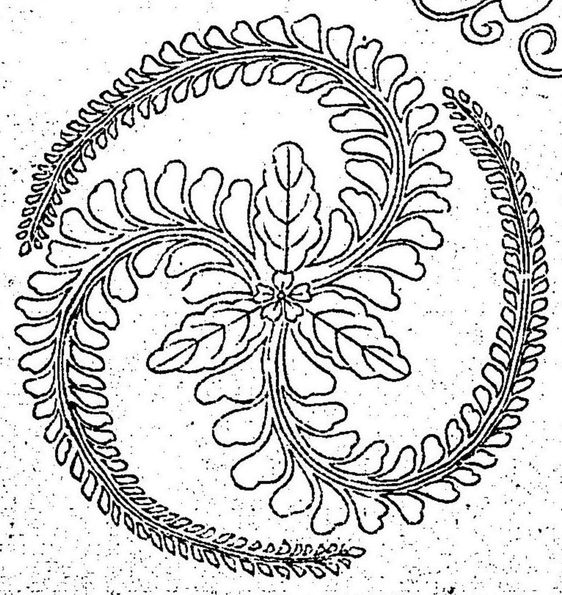
三ツ柏異文

画巻

一遍繪詞中



藤巴



手向山神社神宝壺鐙紋様

古色紙文

古画源氏繪衣紋

源氏繪古画襖文

岳阿宇儀

春日験記中

古綾文

錦譜

左右翳ノ文

嚴島神社神宝
沉枕蒔繪

左右翳
ヨセバリ錦

附言

○好古日録ニ徴物ト雖モ古ヘヲ考フベキ者ハ珎重スベシ東大寺南門及石獣ハ聖武天皇ノ御宇三ツ倉御物同帝ノ御宇云々トアリ又紋様トイヘル往昔ノ物ハ今ト異ナリ同書ニ一名刹ニ錦花鳥ヲ画キタル古器アリ其體絶妙錦花鳥ノ真面目ナリ今ニ百年許来諸家寫ス所ノ錦花鳥古法ニカナハズ又師傳ヲ得ズシテ猥リニ寫ス故ナリ錦花鳥ニハ聊ノ傳アルコトナリト見エタリ是而已ナラズ古代ノ紋様ノ古法ヲ失フモノ數多有ルベシ

○裝束ノ紋ニ浮線綾（フセンレウ）ト云アリ是ハ綾ノ名ナリ線（イトヅ）ヲ浮ムル綾ト云事ニテ織文ノイトスヂヲ浮メテ織タル綾ナリ即チ浮織ノ惣名ナリ古今著聞集ニ永正五年四月廿二日ノ繪合ノ条ニナデシコノフセンレウニ卯ノ花ヲ逢タリケルトアリ撫子ヲ浮織ニシタル綾ノコトナリ又二重織物ト云ハ織物ノ上ニ縫物ヲシタルナリ桃華蘂葉ニ地文亀甲上文浮線綾トモアリ是ハ綾ノ名ヨリ

起リテ織文ニモ通ハセ用フルナリ

○鞆繪ノ説ハ一ノ巻ニ記載シタレド西土ノ器物ヨリ寫シ出タル圖ハ此巻ニ粗畫キタレバ再ビ此所ニ言ベシ支那ニ雷文ト云フ者形狀數体アリ近来世俗ノ雷文ト唱フル物ヲ観ルニ多ク方形ノ旋紋ノミヲ云ヘ𪜈圓環異體ノモノハ雷文ト言ハズ渦巻蕨手蛇之目紗綾形等種〻異名ヲ俗称ス方形ハ稲妻形ト云フ是ヲ好事家ニテ雷文ト通称ス此方形ノ者ハ地文ニ用ヒテ位置成易シ故ニ風流ノ飾リニ必ズ此紋ヲ用フ是皆巴ノ旋紋ヨリ出タル紋様ナリ

○沉箱ト謂ルハ香ノ極上ヲ納ル器ナリ伽羅ノ極上ハ重ク沉ムモノ故沉香ノ名アリ之ニ用フル箱ハ梨子地蒔繪ナド多シ

○織文蒔繪金具ナドノ紋ニカラクサト言アリ是唐ノ草ト云事ニハ非ズカラミ草ト云畧語ナリ草ノ蔓アル体ニ画ク故カラミ草ナリト本字ハ蔓草ト云フベキナレ𪜈カラト云詞ニ付テ唐ノ字ヲ用ヒ来ルナリト貞丈雑記ニ見エタリ

○螺鈿ト云事螺ハ青貝鈿ハ切金ナリ又青貝バカリモ螺鈿ト云ナリ古書ニ貝ヲ摺ルト有モ螺鈿ノ事ナリ金貝ト云モ螺鈿ノ俗称ナリ金貝鞍ト太平記ニ見エタリ金貝トテ別ニハ有ラザルベシト是又貞丈雑記ニイヘリ

○名物類聚ナド二載テ名物裂ト称スル者ハ中世茶事ニ用フルモノ多ク千ヲ以テ算フベシ今紋様ヲ輯ルニ至リ中ニ就テ風韻アルト奇ナルトノ紋様ヲ聊カ出セリ又装束等ノ有職文モ淺シタルモノ多シ

○齋藤實盛ガ鬚髭ヲ墨ニ染メ錦ノ直垂ヲ着テ篠原ノ合戦ニ討死セシ事ハ普ク人ノ知ル處ナルガ平家物語源平盛衰記等ニ記セル趣ニテハ實盛ガ首ヲ義仲ノ前ニ出シ、

時木曽殿ノ詞ニ我為ニモ七日ノ父ニテ有シ者ヲトテ鎧ノ袖ヲ濡サレヌト有ルハ義仲ガ父帯刀
先生義賢ヲ悪源太ガ討ケル時義仲ハイマダ二歳ニ十リヌ尋出シテ失ヘト捜シケルヲ實盛
七日我家ニ匿シ竊カニ木曽ニ送リ遣リテ危フキヲ助ケシ恩義ヲ忘レズシテ斯言ル十リ
サル故モテカ賀國江沼郡多太八幡社ヘ實盛ガ遺物ニ義仲ガ添状マデ書テ納メラレシ十リ
今此巻ニ出ス直垂ノ紋様ハ扁額軌範ニ載ル圖ニ據リテ謄寫ス

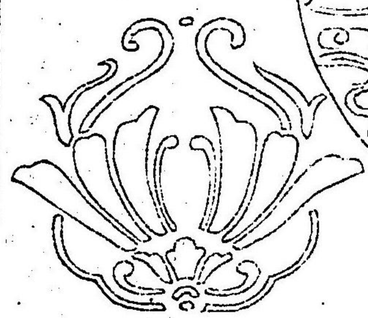
東京圖書館
類 一
屬 西
架 五
號 八五
冊 五

東大寺三ツ倉御物手箱蓋ノ文
但位置不同

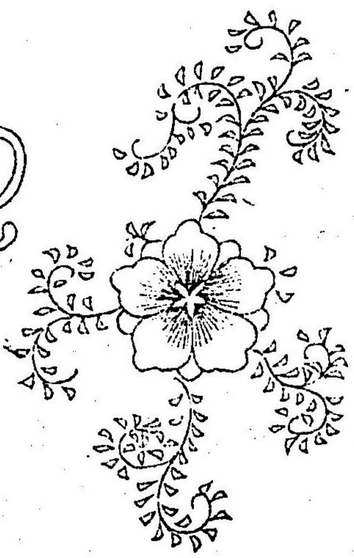
東大寺三少倉御物
手箱蓋文
位置同上

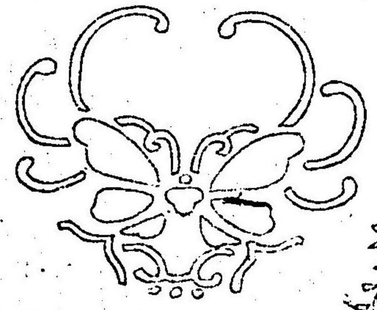
加茂神社競馬鉄腋
蠻繪文

流好浮線綾

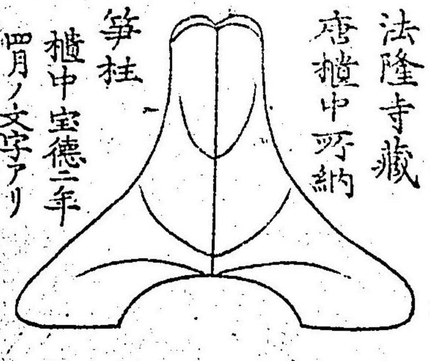


歌中山清閑寺藏箏龍尾蒔繪
小督局所愛云



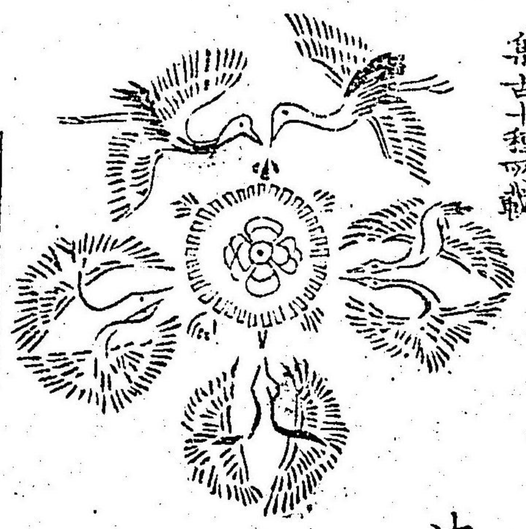


法隆寺藏
唐撥中呼納

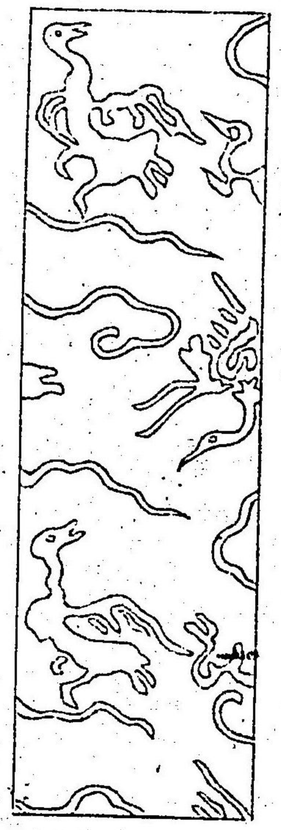


箏柱
撥中宝徳二年
四月ノ文字アリ

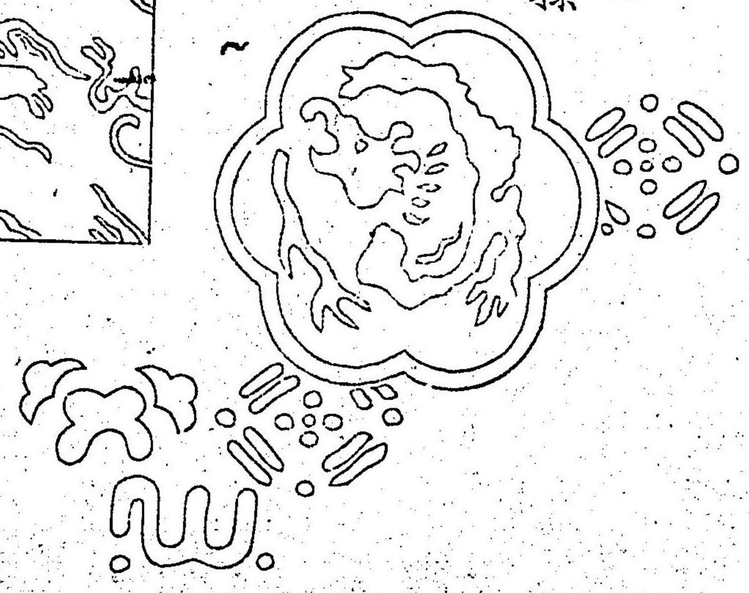
或家藏古鏡背面
集古十種所載



名物裂
雲鶴

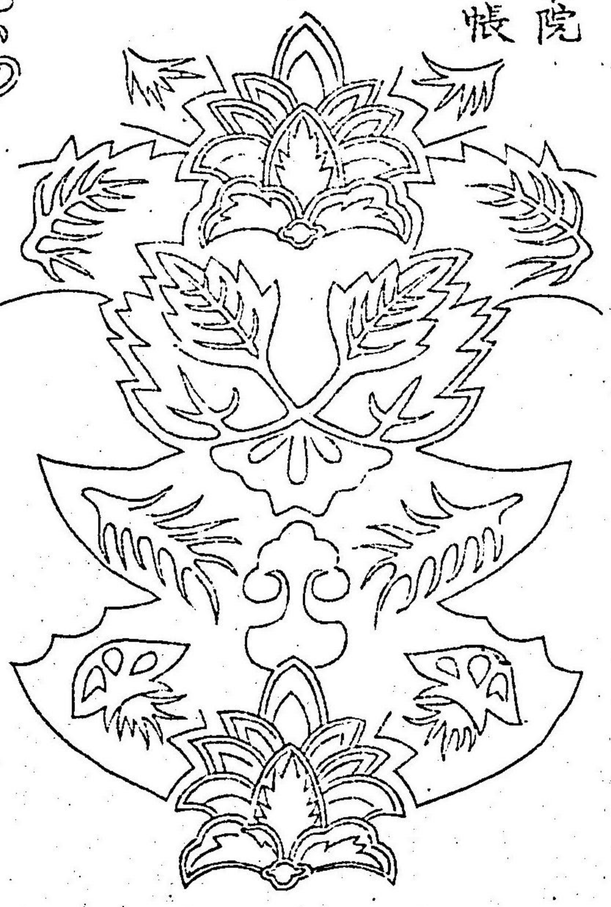


中古平絹
漆摸様



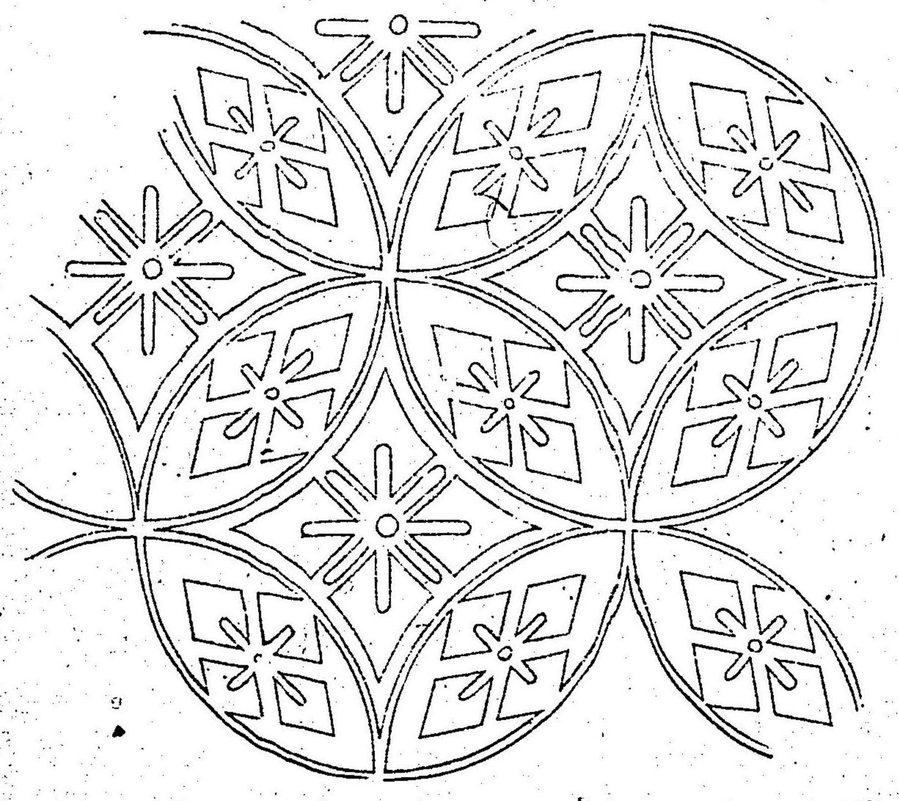
東大寺羅索院
執金剛神御厨帳
ノ文

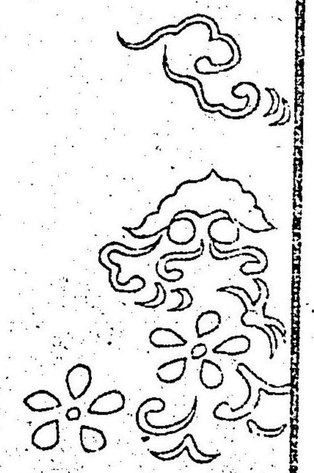
古織文



古絞文

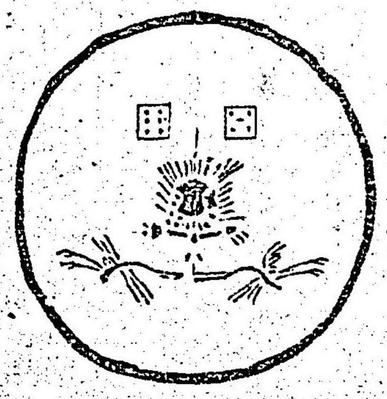
古画源氏繪裲文菱輪違





或宗藏鶴龜模様古鏡背面

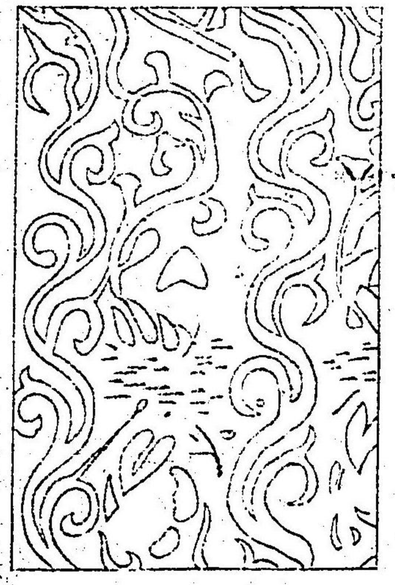
集古十種所載



多度神社神寶
古鏡背面

名物裂ノ中ニ有ル錢

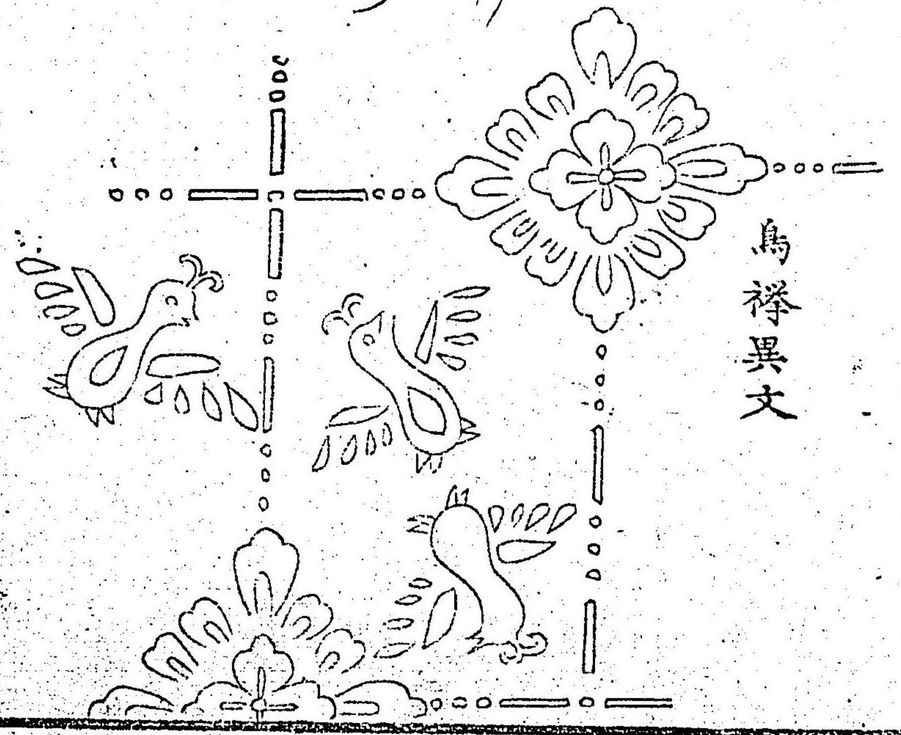
仝 表卷



九條家寶唐草

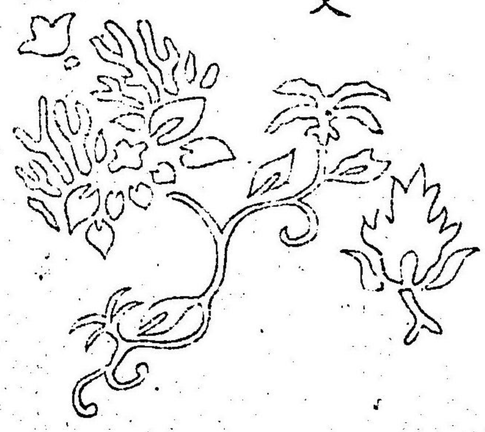
紋洞ニ列載出所不詳

鳥禊異文



伊勢國多度神社神宝
古鏡背面

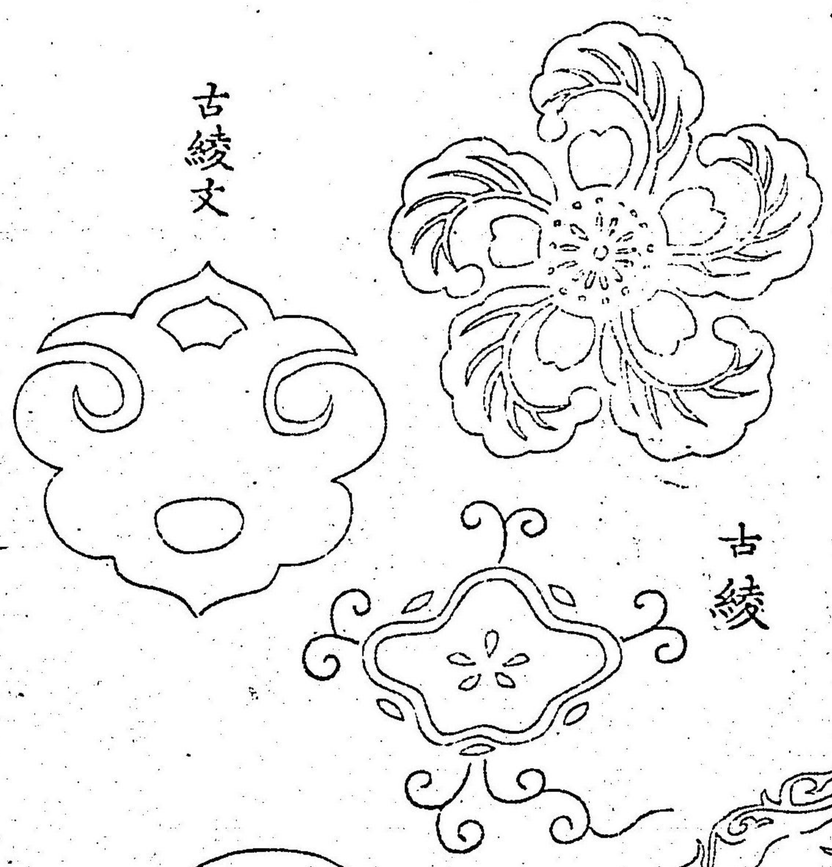
春日験記
衣文



古錦文

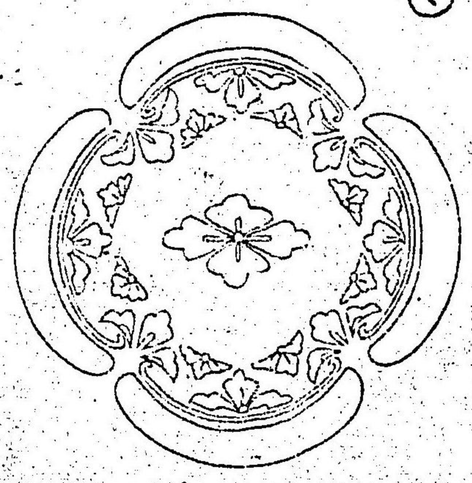
伴大納言繪卷中

古綾文



古綾

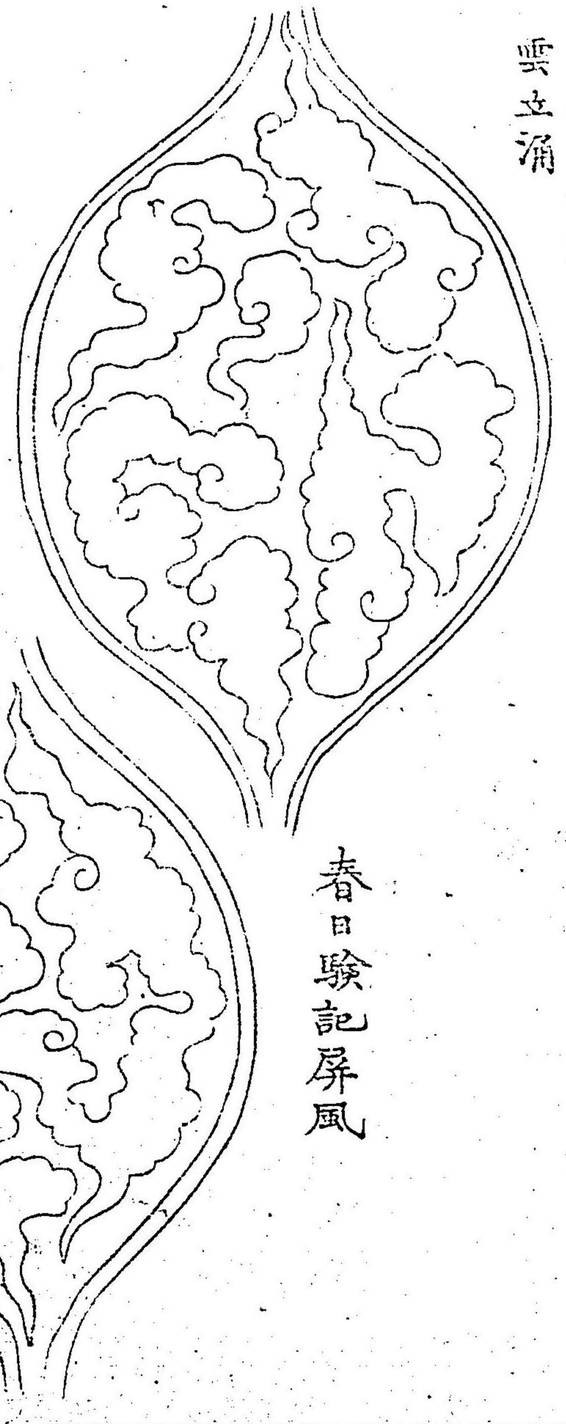
德大寺家窠



雲立涌

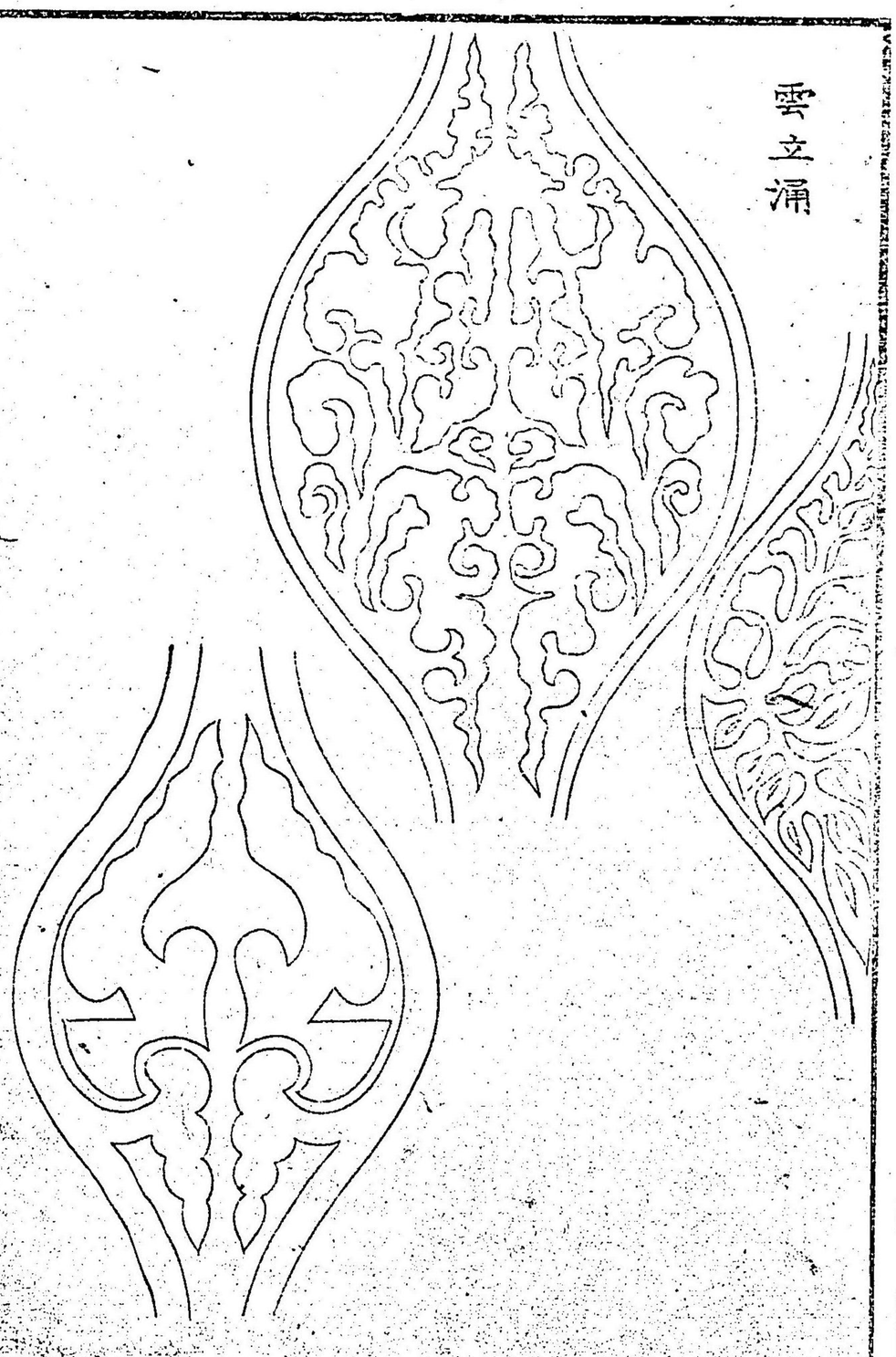
春日驗記巻ノ表紙

藤立涌

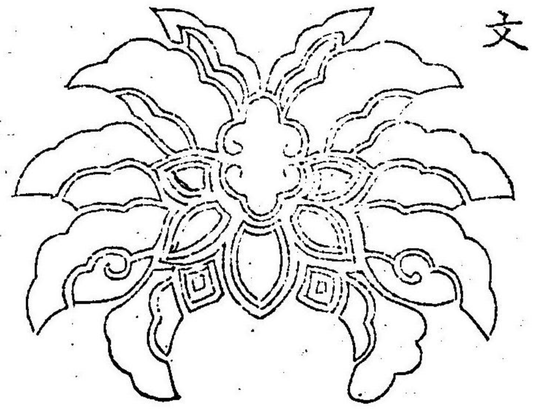


春日驗記屏風

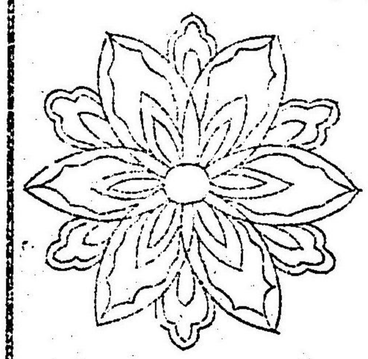
雲立涌



古綾文

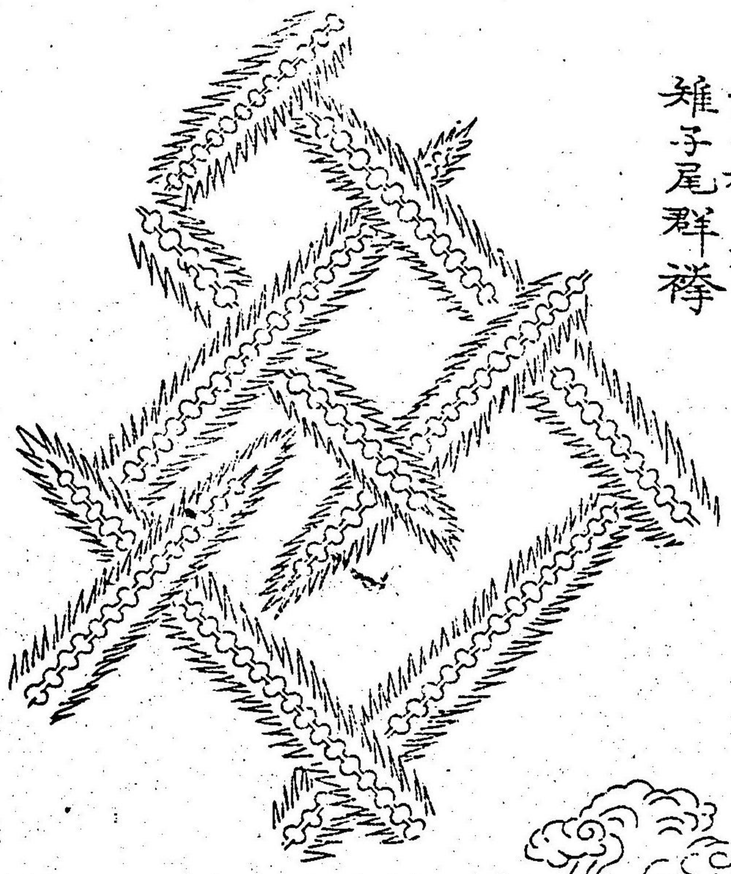


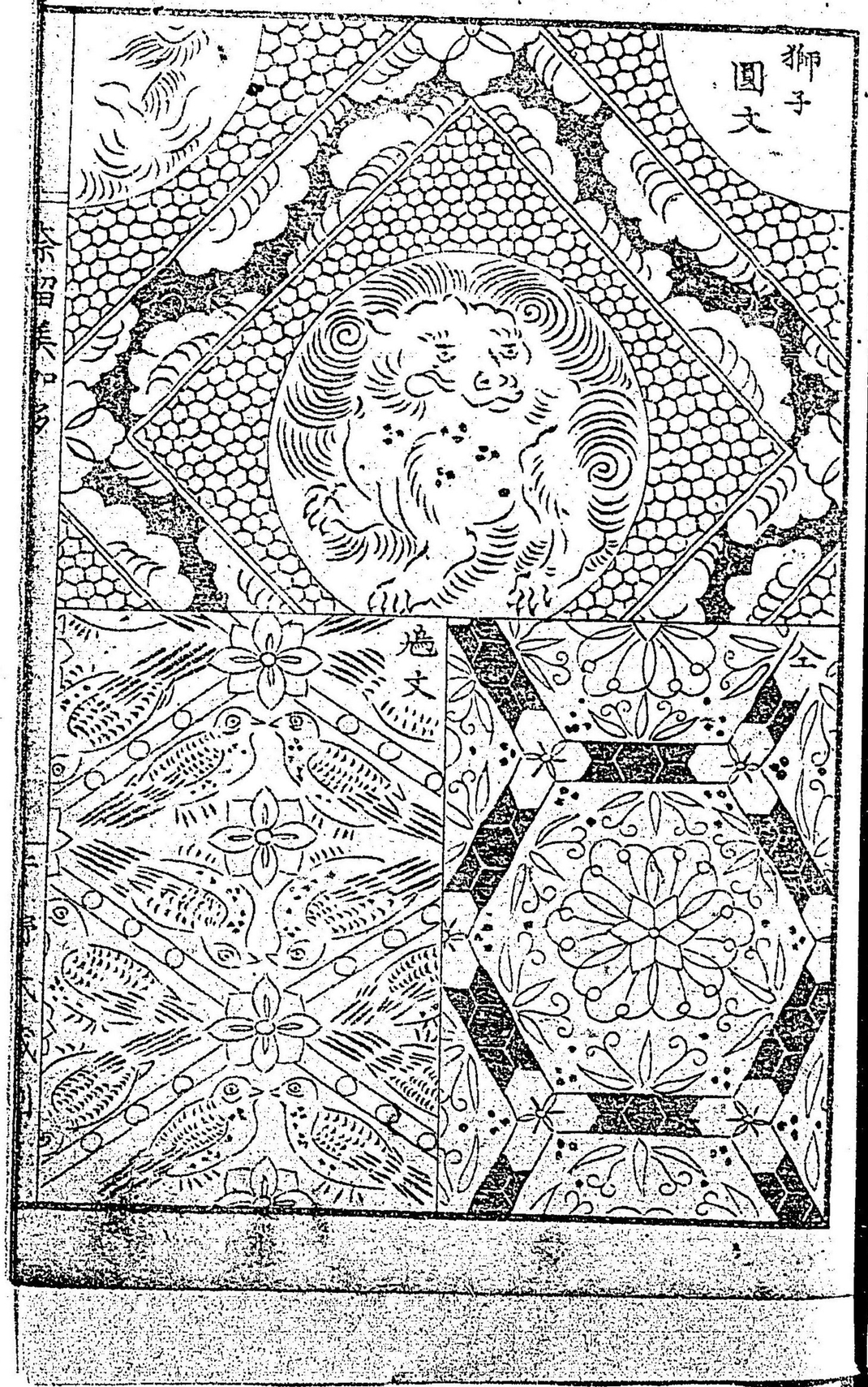
法隆寺什
尺度
甲ノ文
唐華

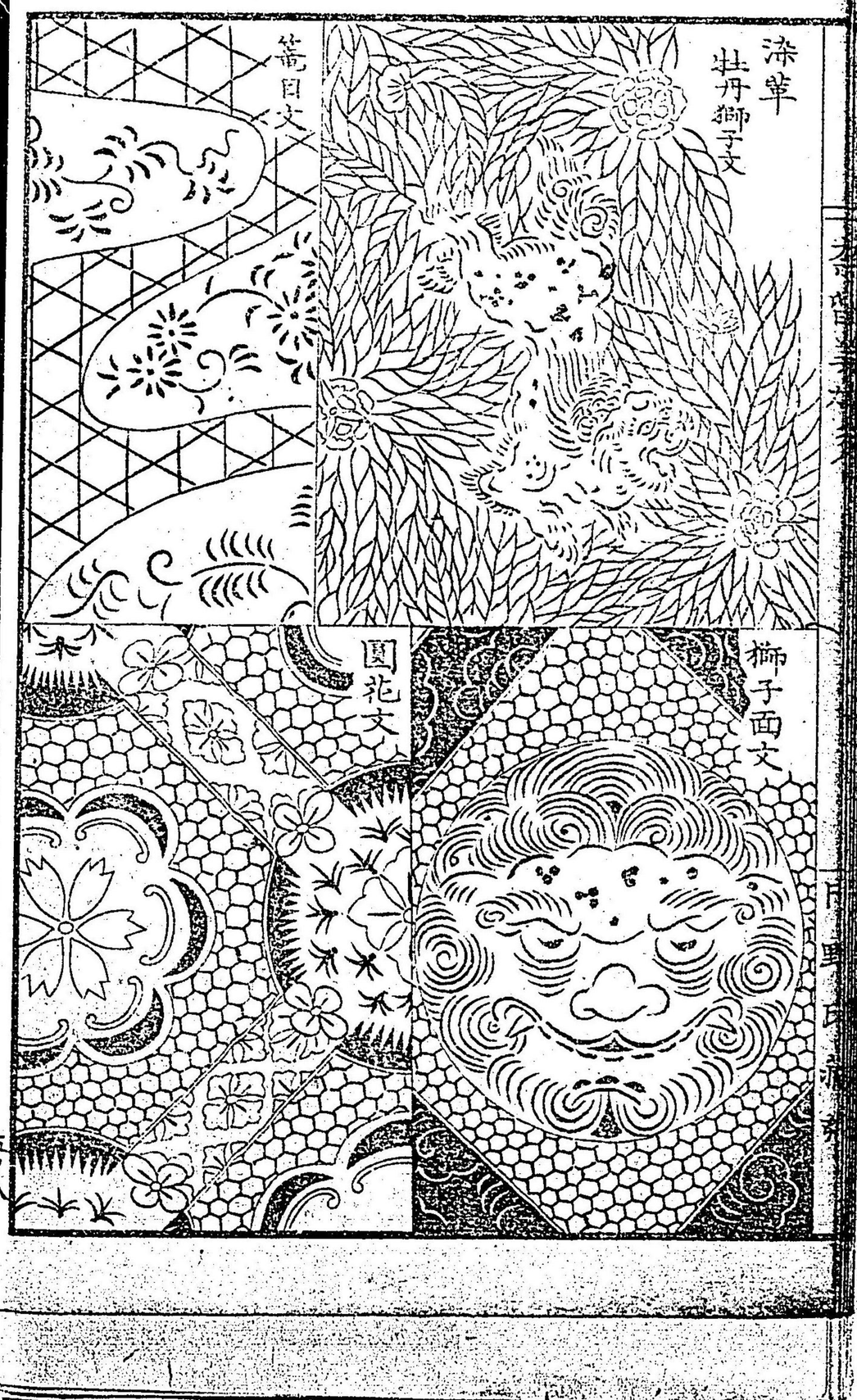


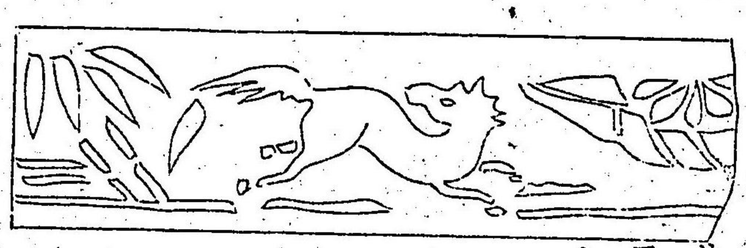
東大寺三ッ倉御物
投壺文様

伴大納言繪卷
童子袴ノ文
雉子尾群袴




獅子圓文
地文
全


筒曰文
染草
牡丹獅子文
圓花文
獅子西文

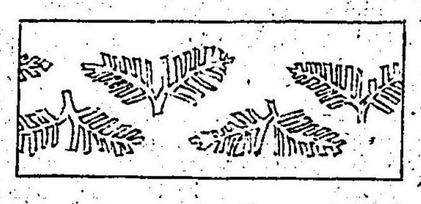


野馬文

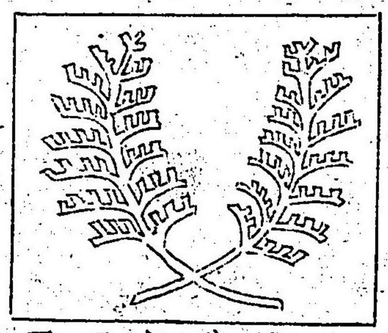
蓋鴈文

春日神社藏古鎧摸文

古鎧ニ用ユル所ノ品ナリ



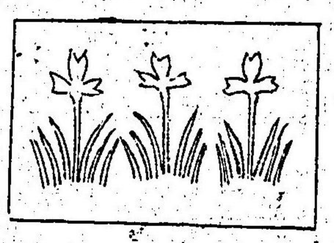
一

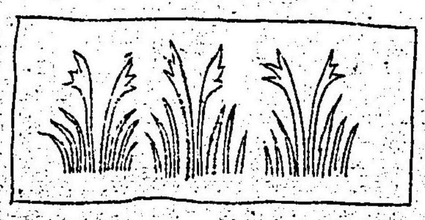


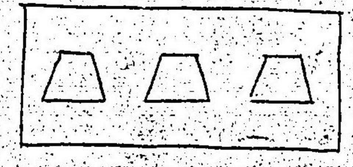
齒朶文

此文杉ノ最モ多ク遠望スルト如クナレバ杉立文ト異文ナシ

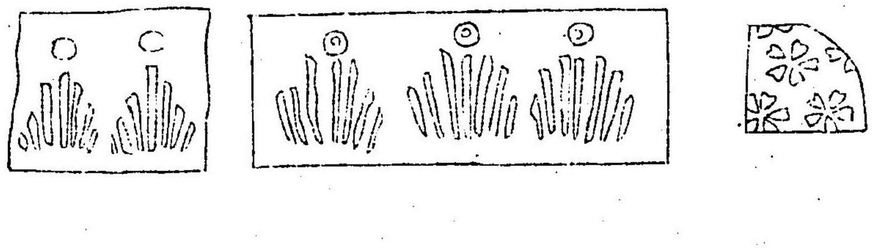
杉立文



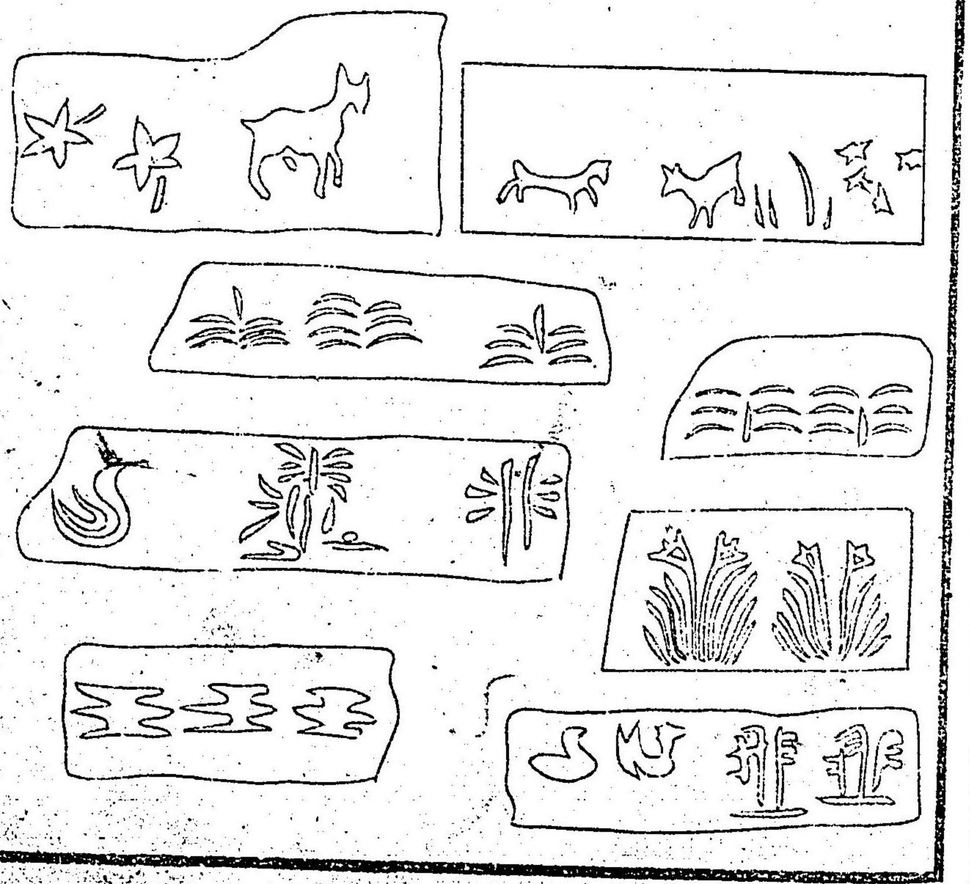




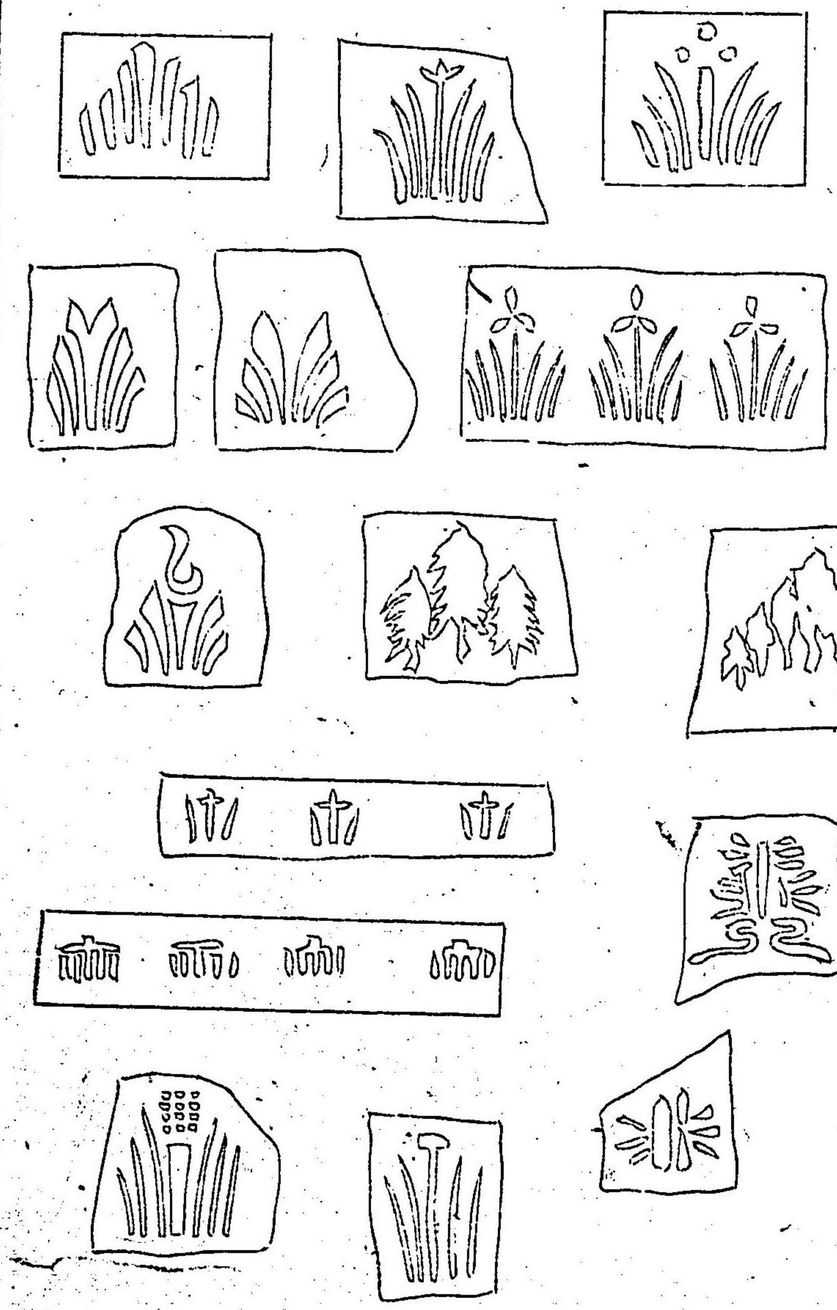
凡形文



鹿楓



其二



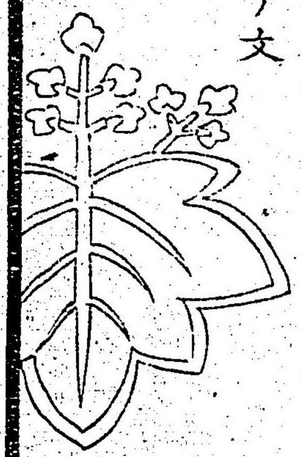
日光御宮陽明門天井
昇降ノ二龍狩野探幽筆
今悉取ヲ略ス

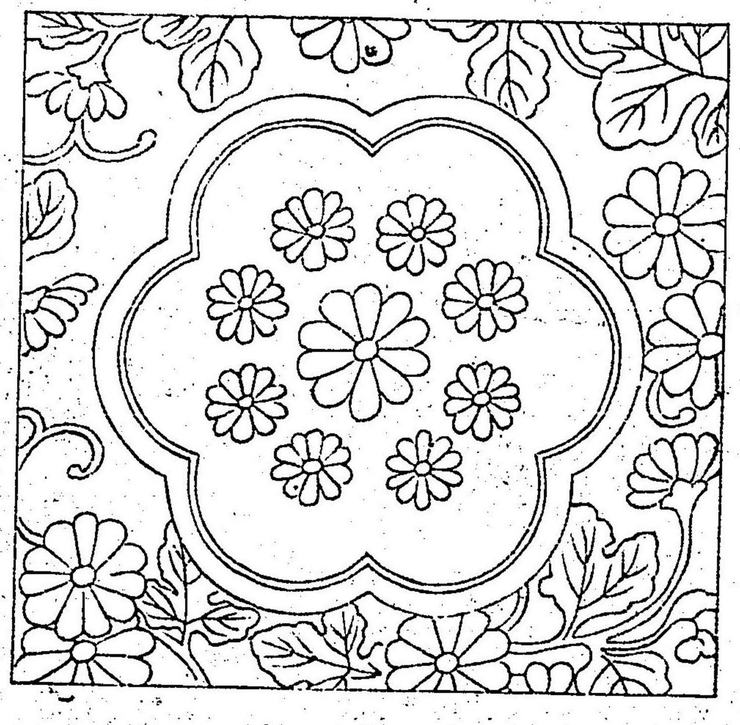
宇佐八幡繪詞中

六波羅行幸
重卷裙

伊勢國多度神社神宝
古鏡背面

豊臣秀吉公肖像
直垂ノ文





太上天皇御袍又伏見殿着用ノ
窠菊ト云

古錦文

笹蔓異文

七宝繋古綾文

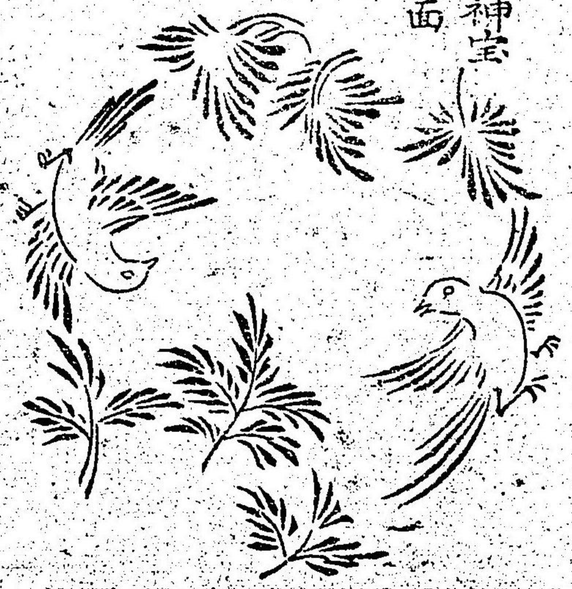
水玉朽木形 大徳寺蔵

花兎裂異文

中古繡箔模様

名物裂 花兎

多度神社神宝古鏡背面



紋淵呀載

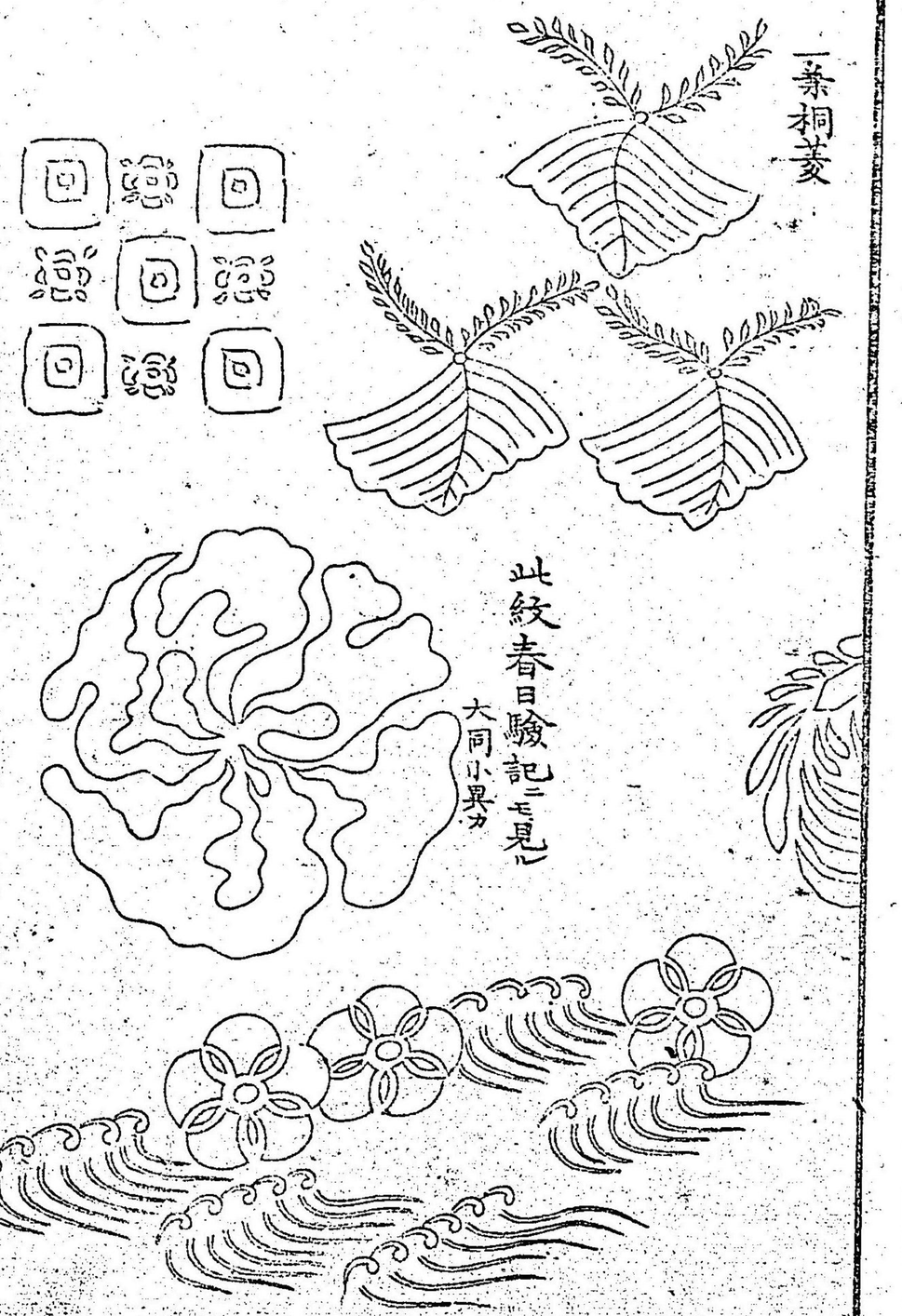
古模樣七種

出所不詳

蝶鳥

鳳凰丸

一葉桐菱



此紋春日驗記ニモ見ル大同小異カ

讃岐國陶村
岡田氏藏古鏡背面

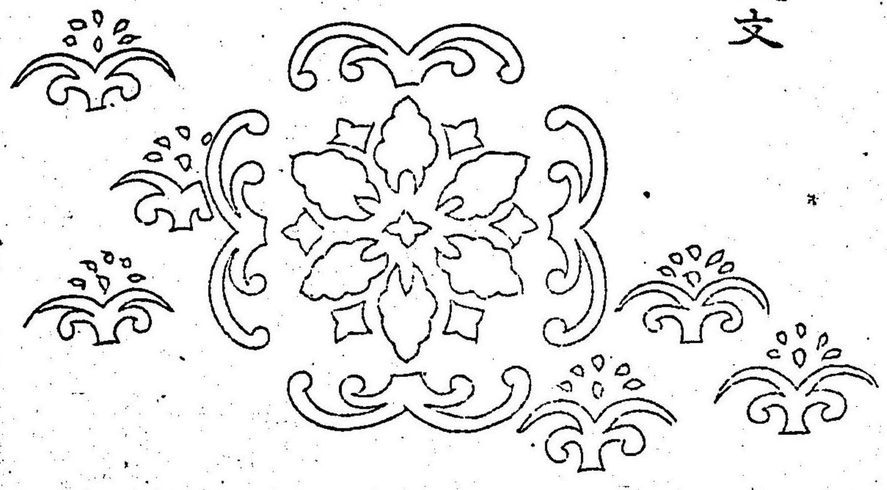
色紙下繪 水王

古綾文

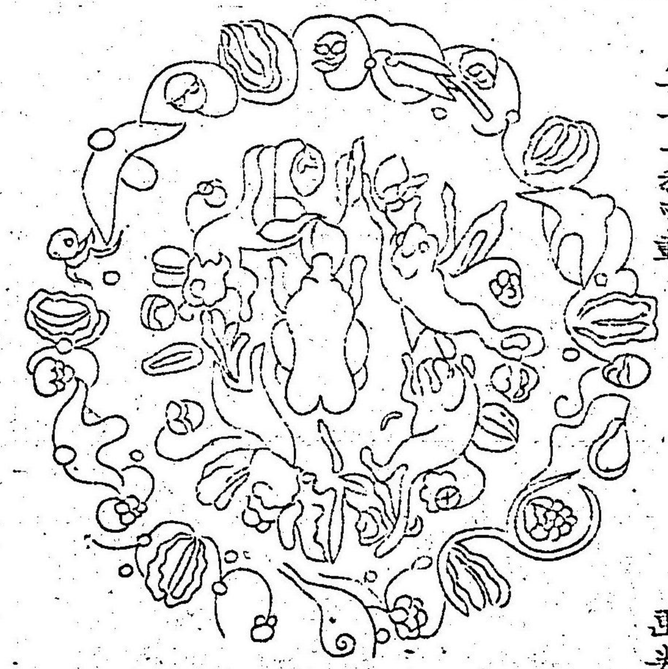
六孫王像文

安良比
祀繪詞
中文

古綾文

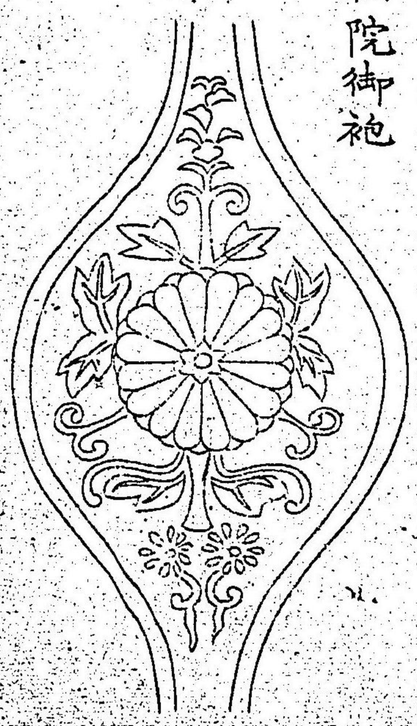


集古十種所載



年中行事畫卷中

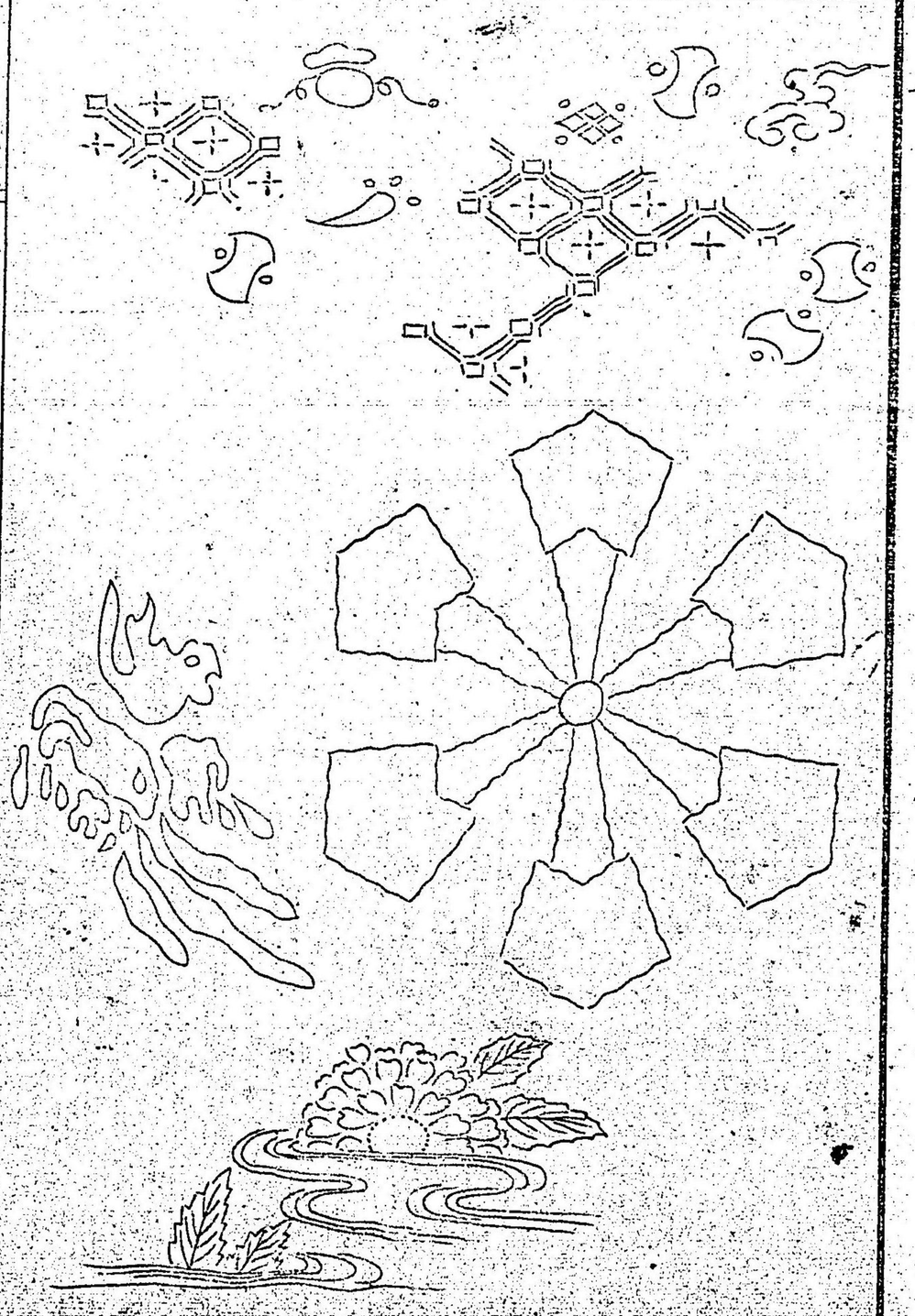
仙院御袍



紋淵呼載

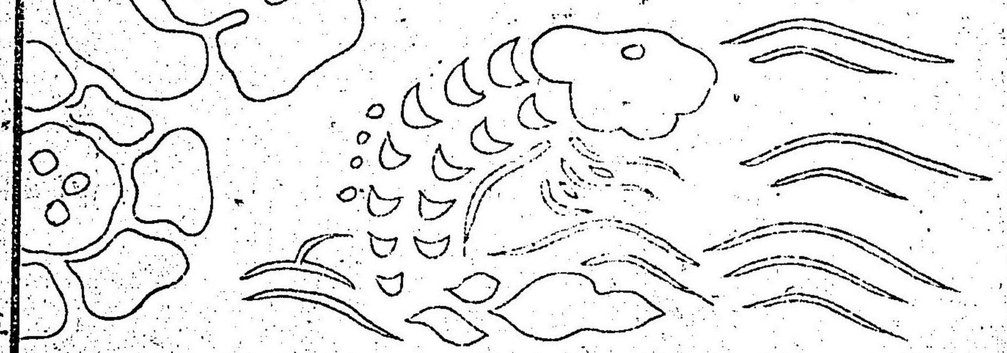
紋樣八種

出呼不詳



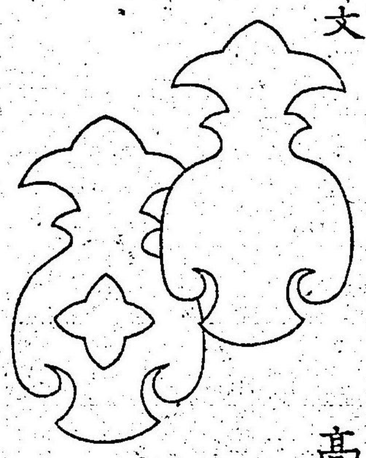
古色紙下重

太素牛祭繪詞 衣文

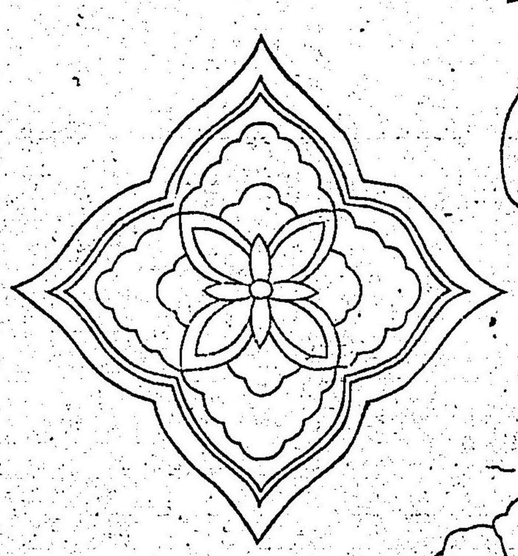


古綾文

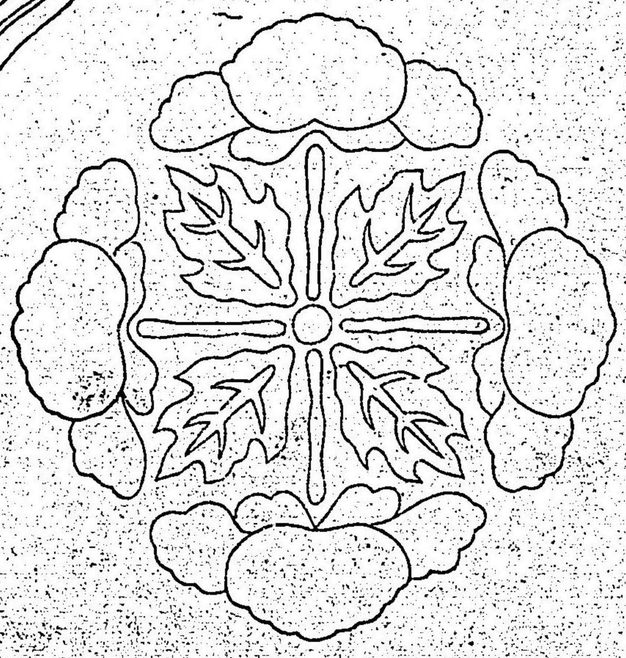
古錦文



古綾文

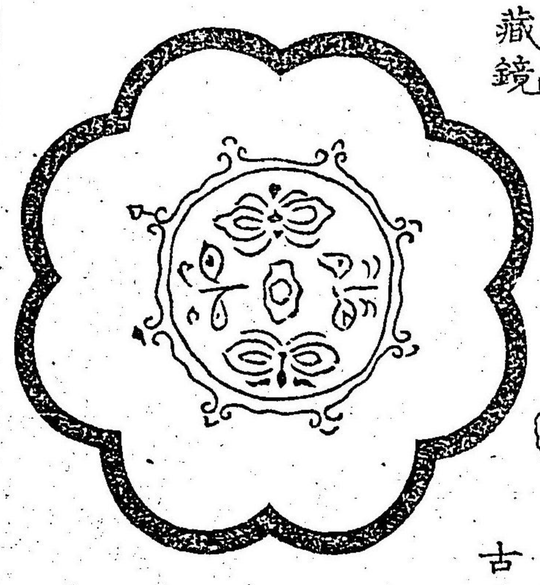


高雄山藏
源頼朝公
肖像文

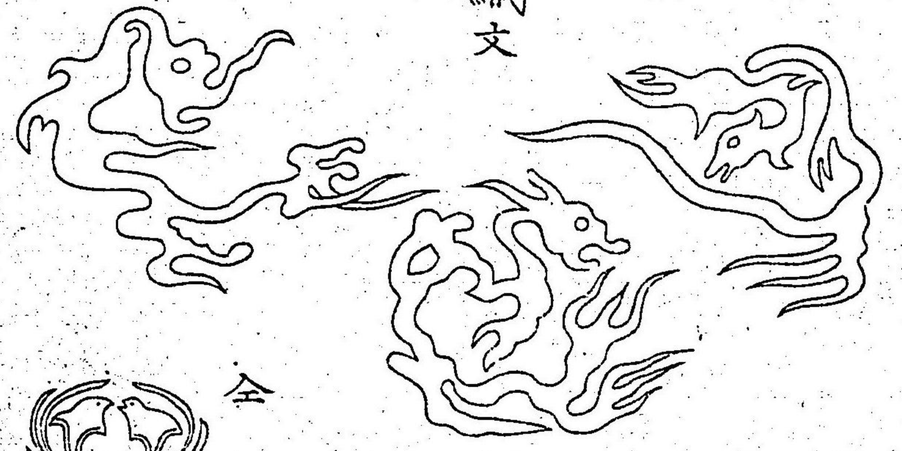


足利義政公
肖像文

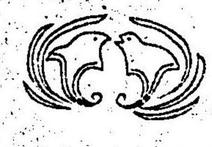
讃岐國陶村岡田氏
藏鏡



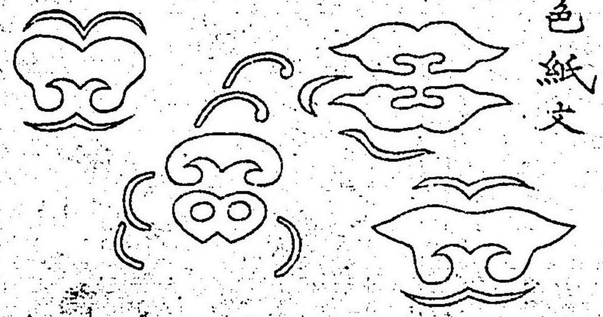
古織文

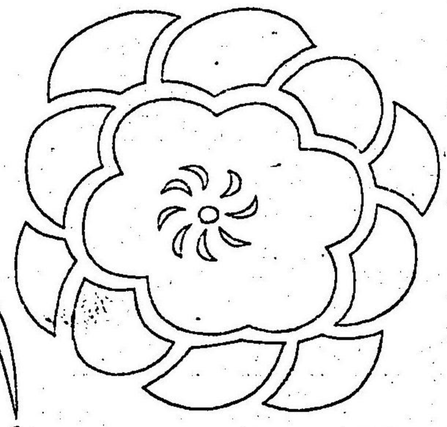


全



古色紙文

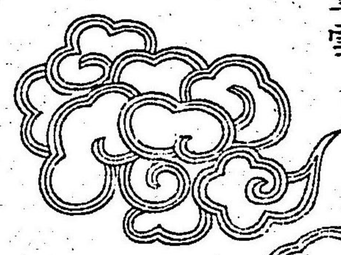




女御御表着ノ文

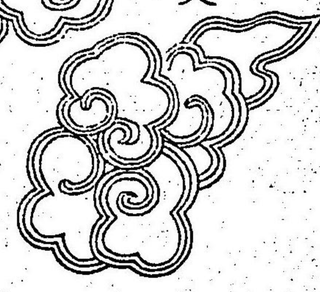
置物案表敷錦文

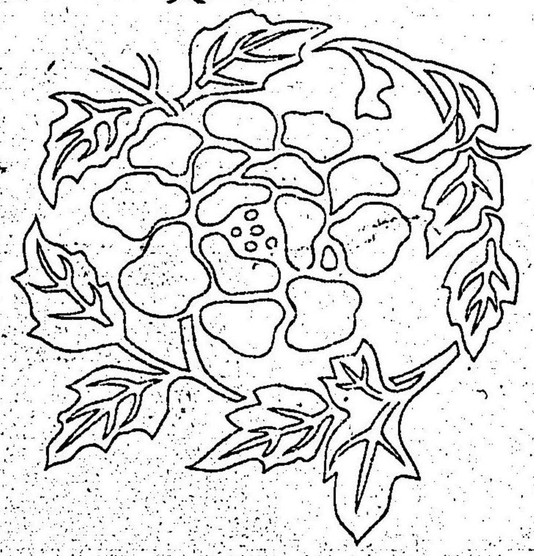
三重雲



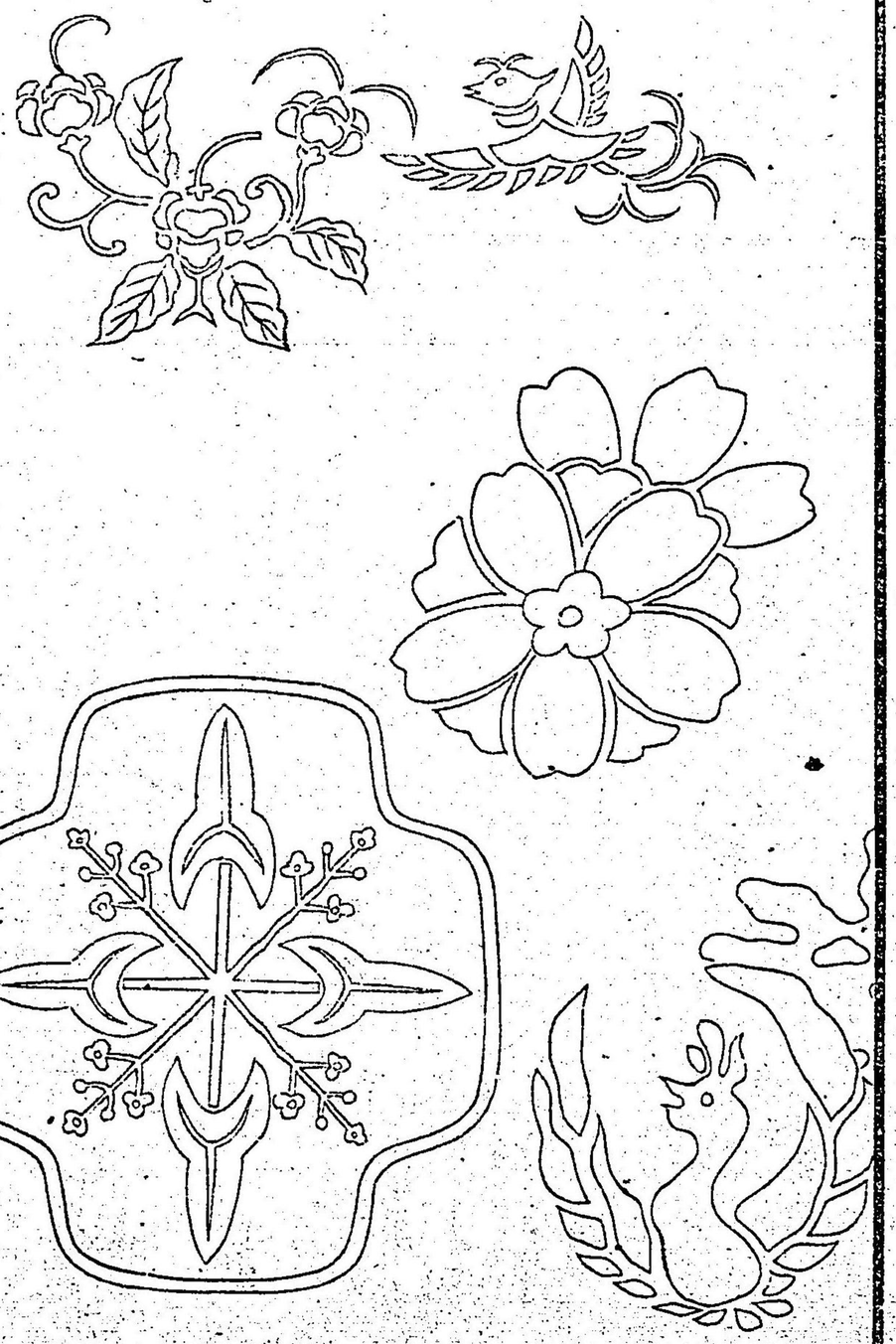
高御座

檻内敷錦ノ文





紋淵所載
八種
出所不詳



古唐織文

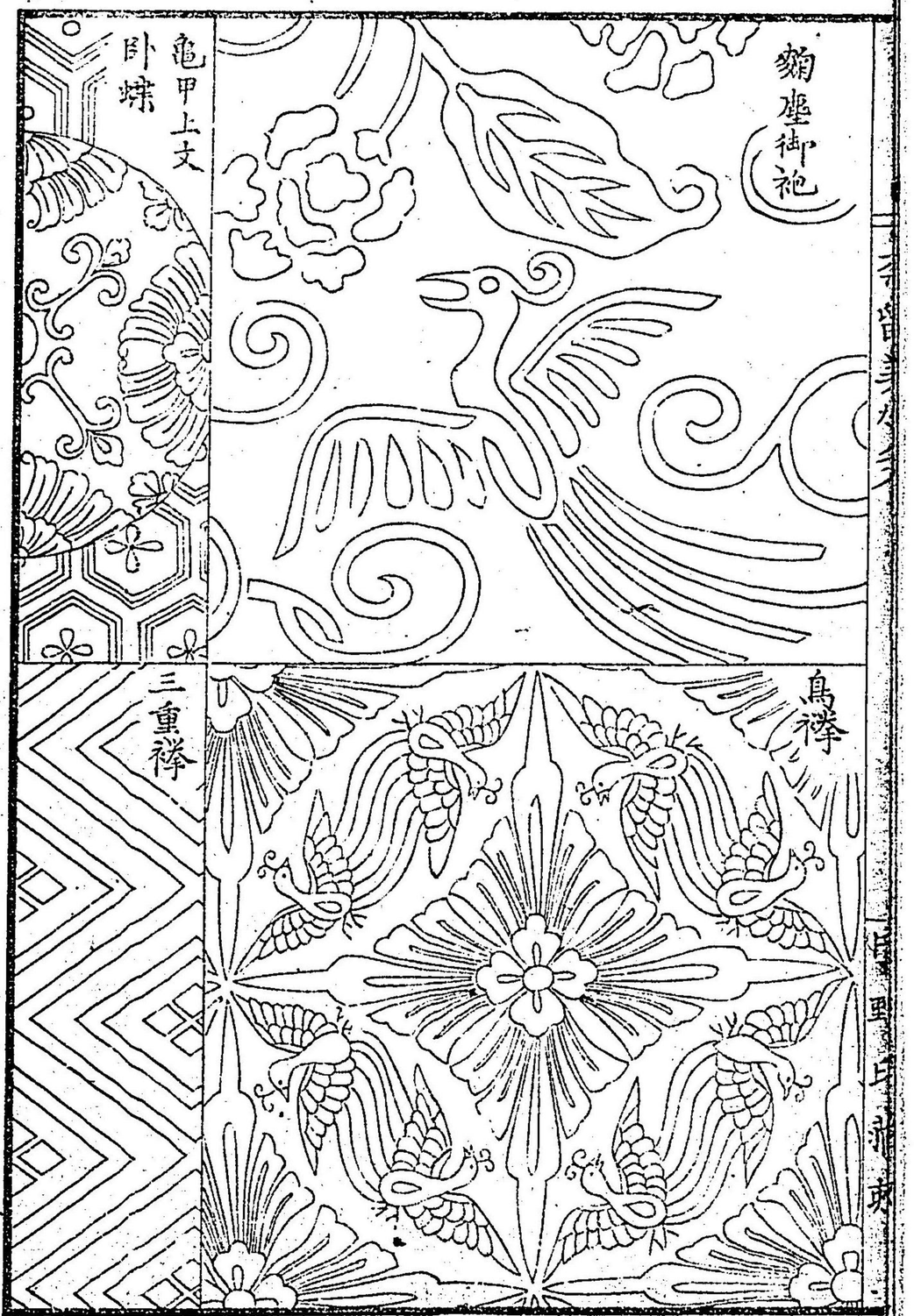
藤立涌二條家

古色紙下繪

蟹藤
出所不詳
但近世ノ製歟

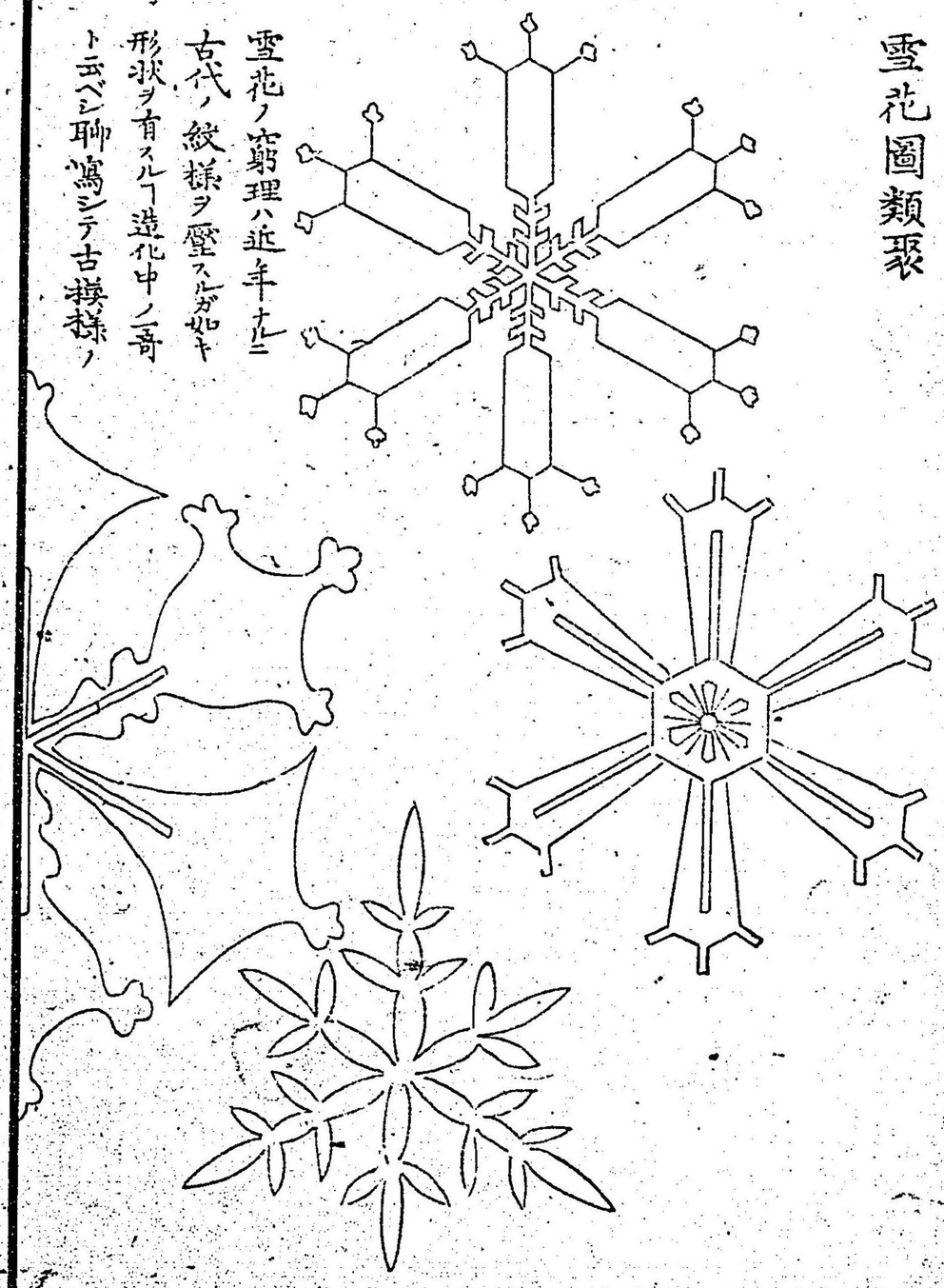
叉皮神社神宝古鏡背面

雲鶴異文

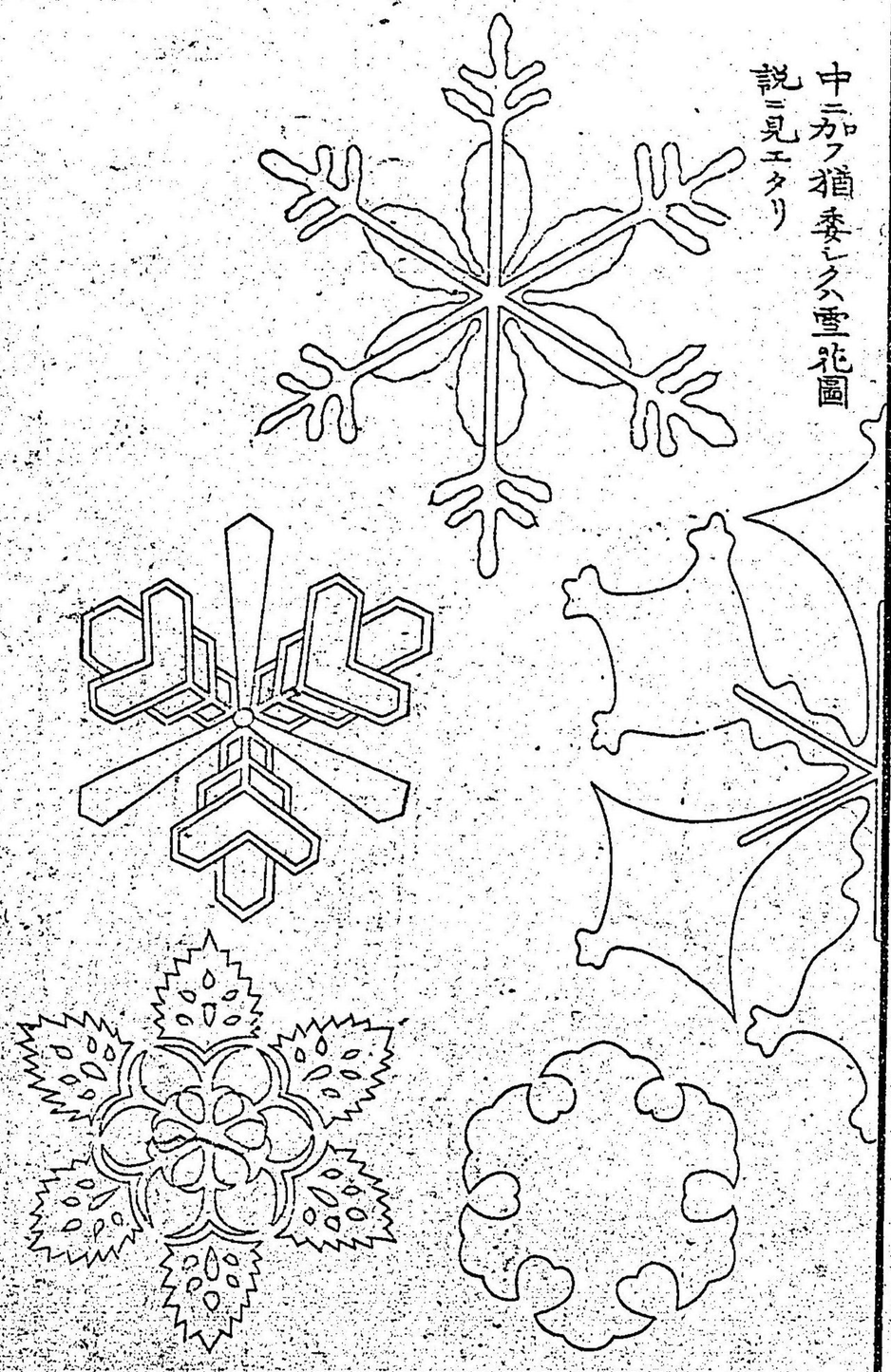

菊唐御袍
亀甲上文
卧蝶
三重襷
鳥襷

徳川家ニ用ヒ来ル
桂宮又京極宮
菊折枝

雪花圖類聚



雪花ノ窮理ハ延年九二古代ノ紋様ヲ壓スルガ如キ形狀ヲ有スルヿ造化中ノ奇トニ云ベシ聊寫シテ古様ノ



中ニ加ノ猶委シク雪花圖説ニ見エタリ

附言

○東大寺ニ納ル御物ノ手匣ハ地黒漆ナルニ金具ニテ花鳥ノ紋アリ其花菊花ニ似タリサレド奈良七代ノ御宇ニハ今家ゝノ庭ニ生フレタツル種ゝノ菊花アルコトナシ今ノ菊ハ平安城以後ニ唐國ヨリ渡リテ人民毎ニ愛ヅル者トナリタリサル故ニ六帖紀貫之古郷ヲワカレテ咲ル菊ノ花タヒラカニコソ匂フベラナレト詠レタリ此平カハ平安ノ都ヲ云ト齋藤彦麿ガ隨筆傍廂ニモ粗見エタリ其後大ニ行ナハレテ今菊トシ言ヘバ異国種ノ花ヲ愛スルナリ往昔ヨリ有来レル日本ノ菊ハ今モ野山ニ自ラ生出ル野菊ト云モノニテ花形大ニ異ナリ尤此花ハ神代イヨリ有シト覺シク菊理媛命ト云ヘル神ノ御名モ有レド何トナク賤シゲニテ愛ルニモ無カリシニヤ歌ナドニモ詠シ事十ク奈良ノ朝ニ選マレタル萬葉集ニモ菊ノ哥ナキハ其故ナリト云サルヲ此手匣ノ紋様ニ野菊トオボシキ花ヲ付シハ審カニト思ハレドカヽル物ニ用ヒシ事モ有シヤ猶識者

ノ開演ヲ俟ノミ

○鳥襷ノ紋ニ用ヒ或ハ屏風ノ裏形ニ付ル鳥ノ形千俗ニ雀形ト云或人ノ説ニ此鳥ハ風鳥ナリト云ヒ又此鳥ニ足無シ足ヲ画クハ誤リナリト云ヘリコハ風鳥ヲ見ザル頃ノ説ニテ取ニ足ラズ風鳥ハ亞米利加ノ産ニテ近年多ク的来セリ小鷹ノ如キ足アルモノナリ

○涙韋ハ有職ト云ニモ非ザレドモ天平韋ノ如キハ聖武天皇ノ御宇ニ製セシ物ニテ殊古ケレバ其紋ヲ聊カ出シテ参考ノ便リトセリ此天平韋ト言ヘルハ白韋ヲカキ色地ニシテ摸様ヲ白ク出シタルナリ地文カラ草ヤウノ物又不動明王ノ像ハ幡ノ二字或ハ梵字又天平十三年八月ノ七字ヲ付ルスベテ涙韋ハ甲冑ノ用ニ多シ肥後国ハ代郡ヨリ製シ出ス今明治ノ御代ニハ甲冑ノ用無ケレハ自ラ廃物ニ属スルニ至ル又正平韋ト云アリ正平ハ南朝ノ年號ニテ後村上天皇ノ御宇ナリ此韋ノ涙方モ上ニ同ジク掬色ノ地ニ白ク紋ヲ出ス摸様ハ唐草獅子ナドヲ付ク

正平六年六月一日ノ八字紋様ノ中所〻ニ在リ天平韋ニ似タル韋ナリ是モ肥後国ハ代郡ヨリ出ス又菖蒲韋ト云ヘルアリ地ヲ藍又ハ萌黄ニテ菖蒲ノ花様ヲイクラモ並ベテ涙ノ白ク摸様ヲ出スナリ又花無キモアリ駒形ト云モアリ馬ノ形チヲ小ク涙タルナリ其外ル形杉立等種〻ノ涙方有レモ菖蒲ト呼ベル事ハアヤメノ紋様ヨリ呼初シモノナリ又延喜式ニ見エタル纈韋ハ括リ涙ノ韋ナリ一ノ巻ニイヘル鍾(センダイ)代纈(ゾメ)涙ト同ジク韋ヲ括リ涙ニシタルナリ上云

○雪ノ異名ヲ支那ニテハ六出ト云ヒ和哥ニハ六ツノ花ト詠ミ又雪輪ト云物アルモ其形状ノ百千ニ分レテ何レモ六出ナルコトヲ窮理セシ人モ無カリシニ天保年ノ頃下総古河ノ領主土井許鹿大人雪花圖説ヲ著ハシ雪花ノ圖百九十五種ヲ寫シテ世ニ出サレシヨリ人民其形チノ異同ヲ知リ其頃万物ノ紋ニ付テ都鄙共ニモテハヤセシ(枚挙ニ遑アラズ今古摸様ヲ輯ムルニ及ビテ不圖彼圖説座右ニ在ルヲ閲スルニ其形状一ツモ有職ノ古摸様ニ劣レルハ無シ造物

者ノ妙千變万化不可思議ノ狀體ナレバ巻尾ニ聊カ記シ有職家ニ問フ若シ精シキヲ知ラントナラバ圖上ニモ記シ如ク雪花圖説ニ就テ観玉ヘカシ

○好古日録ニ今世知レザル古器ト云ヘル条ニ隠岐國若玉酢神社ニ傳フル所ノ驛路鈴ヲ載ス今縮圖シテ形狀ノ凡ヲ知ラシム

己上三十一條

撰者春江自識

妙なる風の吹きそよぐ。
のもとそよぐ人なきも。
この手の紙面の。
春のものの音。
まやもし春の夢。
聴こえ為風也。

ぬれ。こひそめ。
廣き。
そのも。
笑ひ。
他家大人。
春風。

於之家庭初めて、こまろます。
以外の事ども、て。本版にうつる事の
ゆゑなり。の誤ひのみをそのまゝ
あらはせり。
ものと以下、方針を
新の記事ども方等意

彫刻 豊原堂

明治十六年六月十五日版權免許
明治十六年七月廿五日刻成
定價金一圓七十五錢

著述者
愛知縣士族
小田切春江
名古屋區南久屋町五丁目七番地

出板人
愛知縣平民
庁野東四郎
名古屋區玉屋町三町目貳番地

1
2
85